

米先物取引の試験上場に関する シーズンレポート (Vol.6)

限月 ハナ枚数	東京 コメ					JPY		出来高
	FEB3	MAR3	APR3	MAY3	JUN3	JUL3		
前日終値	14760	14890	14910	15050	15000	15050		
前場1節	14760	14890	14910	15050	15000	15020	106	
前場2節	14760	14890	14910	15050	15000	15020	6	
前場3節	14760	14890	14910	15050	15000	15020	6	
後場1節	14760	14890	14910	15050	15000	15020	60	
後場2節	14760	14890	14910	15050	15000	15020	6	
後場3節	14760	14890	14910	15050	15000	15020	505	
前日比	0	0	0	0	0	-30		
出来高	15	15	15	15	15	614		

試験上場中

限月 ハナ枚数	大阪 コメ				
	MAR3	APR3	MAY3	JUN3	JUL3
前日終値	15750	15800	15830	15860	16130
前場1節	15750	15800	15830	15860	16130
前場2節	15750	15800	15830	15850	16140
前場3節	15750	15800	15830	15850	16140
後場1節	15750	15800	15830	15850	16140
後場2節	15750	15800	15830	15850	16140
後場3節	15750	15800	15830	15850	16140
前日比	0	0	0	0	0
出来高	10	12	12	12	12



前日比	0	0	0	0	0
出来高	10	12	12	12	12

平成 25 年 3 月

農林水産省

【本資料の目的】

「米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート」は、米先物取引の試験上場について、その価格動向、取引量の動向、取引参加者の状況、その他関連する情報を収集・整理し、これを原則として3か月ごとに公表することによって、米先物取引の試験上場の実施状況について各種情報の提供を行うことを目的としております。

今回のレポートは、平成24年12月から平成25年2月までを主な対象としております。

- 1 本レポートは、今後、必要に応じて追加・削除など内容を変更することがあります。
- 2 本レポートは、情報提供を目的としたもので、商品先物取引その他の取引の推奨、助言等を目的としたものではありません。
- 3 なお、平成25年2月8日に東京穀物商品取引所は取引を停止し、国内の商品取引所が再編されております。また、取引所の再編にあわせ、平成25年2月12日に関西商品取引所は大阪堂島商品取引所に、東京工業品取引所は東京商品取引所に改称されております。本レポートにおいては、従来東京穀物商品取引所（平成25年2月12日以降は大阪堂島商品取引所）で取引されている米穀（東京において受渡しが行われる米穀）を東京コメ、関西商品取引所（平成25年2月12日以降は大阪堂島商品取引所）で取引されている米穀（大阪において受渡しが行われる米穀）を大阪コメと表記しております。
- 4 このほか、本レポートの利用上の注意、用語解説については、巻末に記載しております。

目次

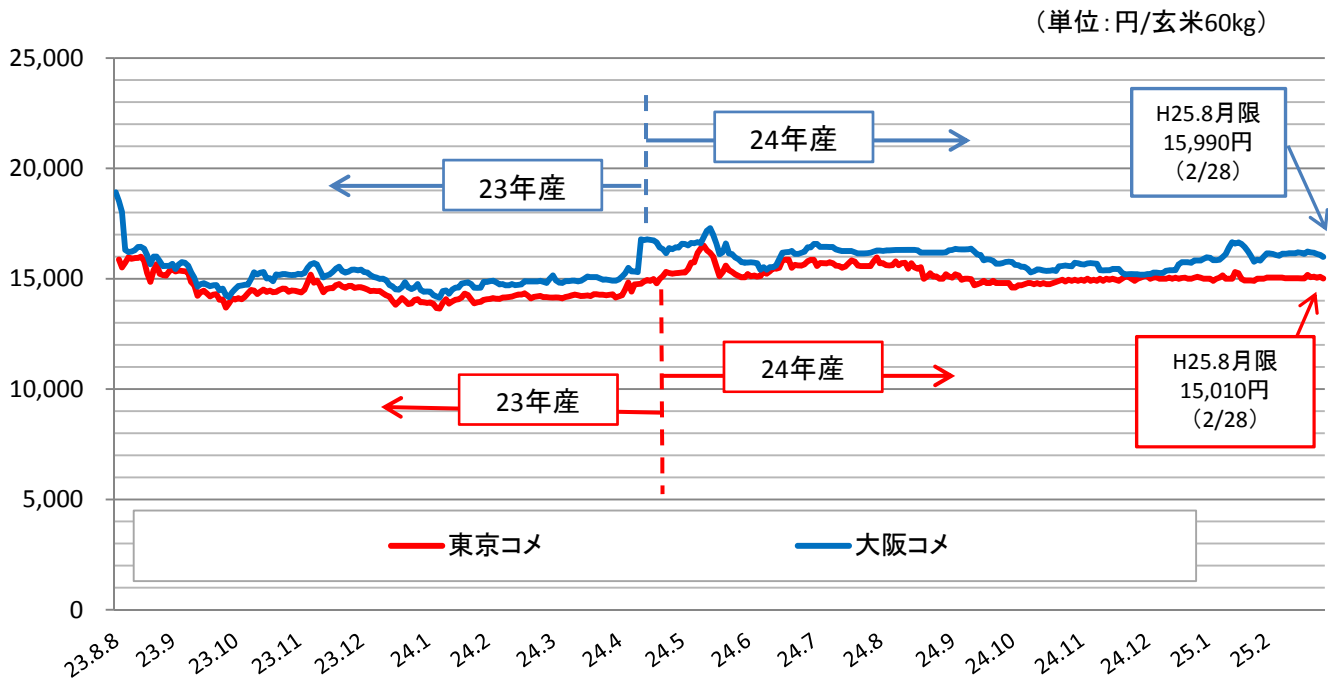
1. 米の先物取引の試験上場の動向（概要）	
（1） 価格の推移（期先限月の終値）	2
（2） 1日の平均出来高の推移	3
（3） 取組高の推移（各月末時点）	4
（4） 現物受渡り量	5
（5） 取引参加者の割合（各月末時点の割合の平均値）	6
（6） 相対取引価格の推移	7
2. 米先物取引の試験上場の現状	
（1） 取引価格の動向	
① 取引価格の推移	10
② 始値、高値、安値、終値の推移（毎週、毎日）	12
③ 値幅制限等の発動状況	15
④ 限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び納会値段又は2月末値段	16
（2） 取引量の動向	
① 出来高の推移	18
② 1日の平均出来高の推移	20
③ 限月別の出来高状況	20
④ 米穀と他の商品（東商取）の出来高合計の比較	21
（3） 取組高、取引参加者の動向	
① 取組高（東京コメ、大阪コメ合計）の推移	24
② 取組高の推移	24
③ 限月別の取組高の状況	26
④ 米穀と他の商品（東商取）の取組高の推移	28
（4） 現物受渡りの状況	
① 限月別の現物受渡りの状況	29
② 産地品種銘柄の割合	31
（5） 取引参加者の構成	
① 当業者・非当業者の割合	32
② 自己取引、委託取引の割合	33
③ 建玉報告対象者の割合	33
3. 関連情報	
（1） 米の取引価格及び数量	
① 相対取引価格・数量	36
② 小売物価統計による推移	40
（2） 期近限月の終値と自由米価格（スポット価格）の値動き	41
（3） 平成24年産水稻の作柄概況	
① 全国・都道府県別作況指数	42
② 平成24年産水陸稲の収穫量（全国農業地域別）	42
③ 水陸稲（子実用）の年次別推移（全国）	43
（4） 農産物以外の上場商品及び金融商品等の動向	
① 工業品の動向（東京商品取引所）	44
② 株価の動向（日経平均株価（225種））	47
③ 為替の動向（対米ドル、T T S）	47
4. データ集	
（1） 東京コメの取引価格データ	50
（2） 大阪コメ取引価格データ	53
5. 参考資料	

米の試験上場に係るこれまでの主な経過

- 平成23年3月8日 ・東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が米の試験上場の認可申請
- 平成23年7月1日 ・米の試験上場の認可
- 平成23年8月8日 ・取引開始
- 〔 上場期間は取引を開始した日から2年を経過した日まで。ただし、2年経過前に取引を開始している限月に限り取引を継続することができる。(参考資料P58) 〕
- 平成23年11月10日 ・関西商品取引所で初の納会日(11月限)を迎え、14枚(42t)の現物受渡し
- 平成23年11月18日 ・東京穀物商品取引所で初の納会日(11月限)を迎え、16枚(96t)の現物受渡し
- 平成23年12月13日 ・米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート(第1号)公表
- 平成24年1月4日 ・東京穀物商品取引所が値幅制限(サーキット・ブレーカー)の運用方法を変更(1日に許容する値動き幅を縮小等)
- 平成24年3月19日 ・米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート(第2号)公表
- 平成24年3月30日 ・関西商品取引所が平成24年10月～12月限(24年産)の価格調整表を制定
- 平成24年4月1日 ・東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が米の受渡しに係る放射性物質の基準値を4月1日以降、100bq/kgとすることを決定(参考資料P59)
- ・東京穀物商品取引所が米の先物取引における受渡地を拡大(参考資料P61)
- ・東京穀物商品取引所が米の先物取引の現物受渡し方法の柔軟化として、合意早受渡し制度を導入(参考資料P62)
- 平成24年4月9日 ・東京穀物商品取引所が平成24年10月～12月限(24年産)の価格調整表を制定
- 平成24年5月29日 ・東京穀物商品取引所が農産物市場の移管の方針を公表(参考資料P65)
- 〔 平成25年2月を目途に、大豆等を東京工業品取引所に、米を関西商品取引所に移管。関連取引所規則も整備(参考資料P66)。なお、日本商品先物振興協会からも、委託者保護の観点から円滑な建玉移管の要請(7月19日、参考資料P68) 〕
- 平成24年6月20日 ・関西商品取引所が平成25年1月限～3月限の価格調整表を制定
- ・米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート(第3号)公表
- 平成24年7月6日 ・東京穀物商品取引所が平成25年1月～3月限の価格調整表を制定
- 平成24年9月20日 ・関西商品取引所が平成25年4月～6月限の価格調整表を制定
- 平成24年9月21日 ・米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート(第4号)公表
- 平成24年10月2日 ・東京穀物商品取引所が平成25年4月～6月限の価格調整表を制定
- 平成24年12月13日 ・米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート(第5号)公表
- 平成24年12月14日 ・関西商品取引所から大阪堂島商品取引所への名称変更の認可(平成25年2月12日に変更)
- 平成24年12月18日 ・関西商品取引所が平成25年7月～9月限の価格調整表を制定(参考資料P69)
- 平成25年1月15日 ・東京穀物商品取引所が平成25年7月～9月限の価格調整表を制定(参考資料P69)
- 平成25年2月12日 ・国内の3つの商品取引所を2つの商品取引所に再編。
- 〔 東京穀物商品取引所は2月8日に農産物市場の立会を停止し、平成24年5月公表の再編方針に基づき、大豆等を東京商品取引所(旧東京工業品取引所)に、米穀を大阪堂島商品取引所(旧関西商品取引所)に移管。(参考資料P70) 〕

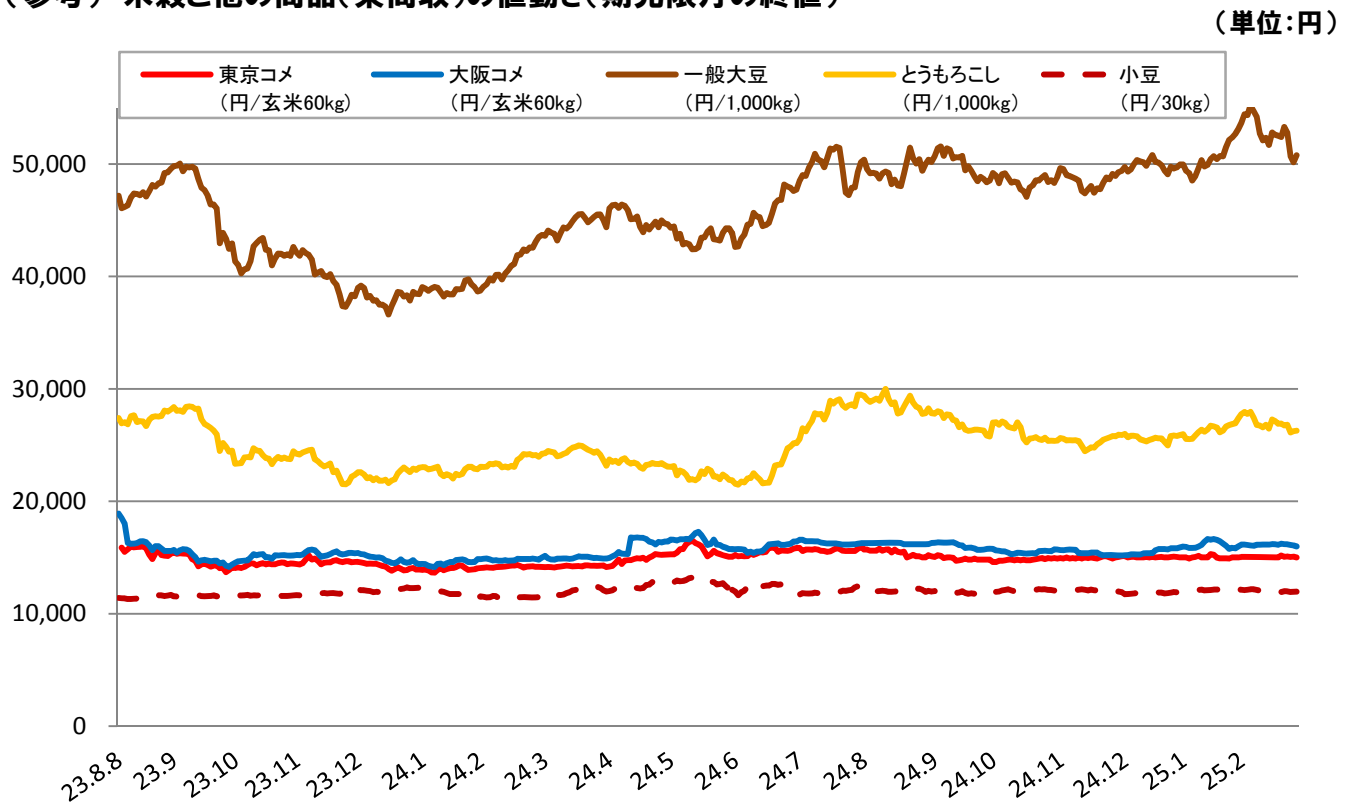
1. 米の先物取引の試験上場の動向(概要)

(1) 価格の推移(期先限月の終値)



注: 各月末時点の価格については、P16を参照。

(参考) 米穀と他の商品(東商取)の値動き(期先限月の終値)



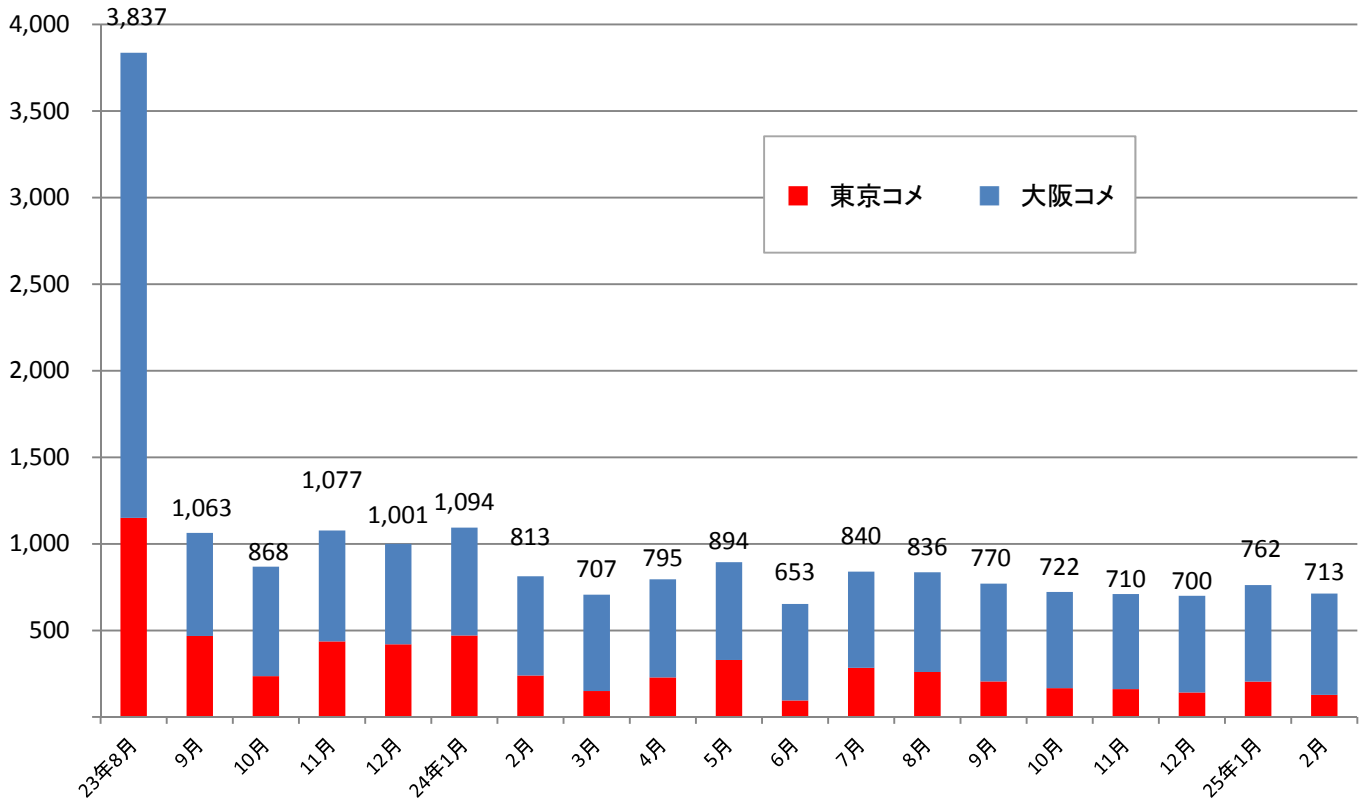
注1: 東京コメは東京で受渡しが行われる関東産(茨城、栃木、千葉)コシヒカリ、大阪コメは大阪で受渡しが行われる北陸産(石川、福井)コシヒカリの価格。いずれも1等、消費税抜き、運賃及び包装代を含む。

注2: 期先限月とは、現物受渡しや売買取引の期限が、その時点から最も先となる月。

注3: 平成25年2月12日に、東京穀物商品取引所の農産物市場は、大阪堂島商品取引所(米穀)及び東京商品取引所(一般大豆、とうもろこし、小豆及び粗糖)に移管されている。

(2) 1日の平均出来高の推移

(単位:枚)



(参考) 米穀と他の商品(東商取)の1日平均出来高

(単位:枚)

	米穀		とうもろこし	大豆	小豆	粗糖	
	東京コメ	大阪コメ					
23年8月	3,837	1,150	2,687	3,061	3,231	393	234
9月	1,063	468	595	3,026	3,493	365	166
10月	868	236	632	2,602	3,193	309	150
11月	1,077	437	640	2,303	2,722	467	244
12月	1,001	420	581	1,978	2,080	337	140
24年1月	1,094	471	623	1,824	1,748	443	188
2月	813	240	573	2,599	2,107	547	65
3月	707	150	557	1,921	1,992	585	150
4月	795	229	566	1,816	2,076	599	51
5月	894	329	565	1,545	1,686	592	74
6月	653	96	557	2,970	3,247	488	53
7月	840	284	556	7,626	7,611	240	86
8月	836	260	576	6,122	3,277	141	36
9月	770	206	564	4,119	2,514	198	63
10月	722	167	555	3,485	1,630	134	73
11月	710	161	549	1,940	1,233	169	145
12月	700	142	558	1,937	1,406	131	284
25年1月	762	205	557	2,196	1,259	123	202
2月	713	128	585	2,375	2,077	135	17

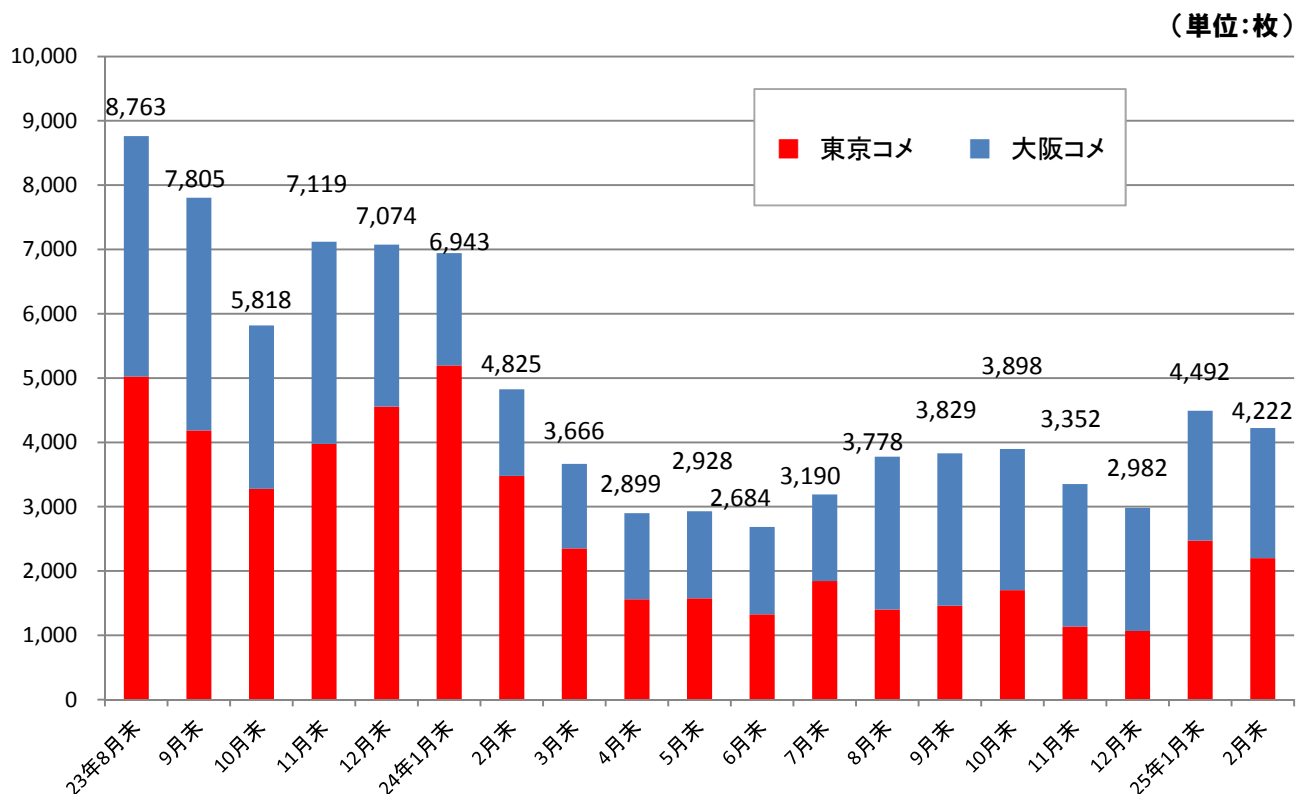
注1: 出来高とは、市場において成立した売買契約の数。

注2: 米については、東京コメは1枚6トン、大阪コメは1枚3トン。他の商品について1枚はとうもろこしは50トン、大豆は10トン、小豆は2.4トン、粗糖は10トン。ただし、粗糖は平成25年11月限以降は50トン。

注3: 平成23年8月については、8月8日～31日の1日平均出来高。

注4: 平成25年2月12日に、東京穀物商品取引所の農産物市場は、大阪堂島商品取引所(米穀)及び東京商品取引所(一般大豆、とうもろこし、小豆及び粗糖)に移管されている。

(3) 取組高の推移(各月末時点)



(参考) 米穀と他の商品(東商取)の月末取組高

(単位:枚)

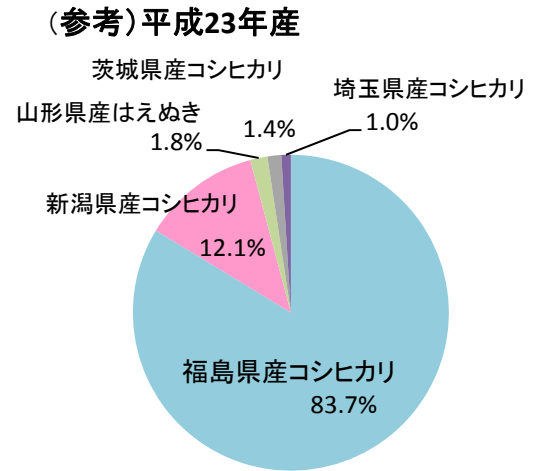
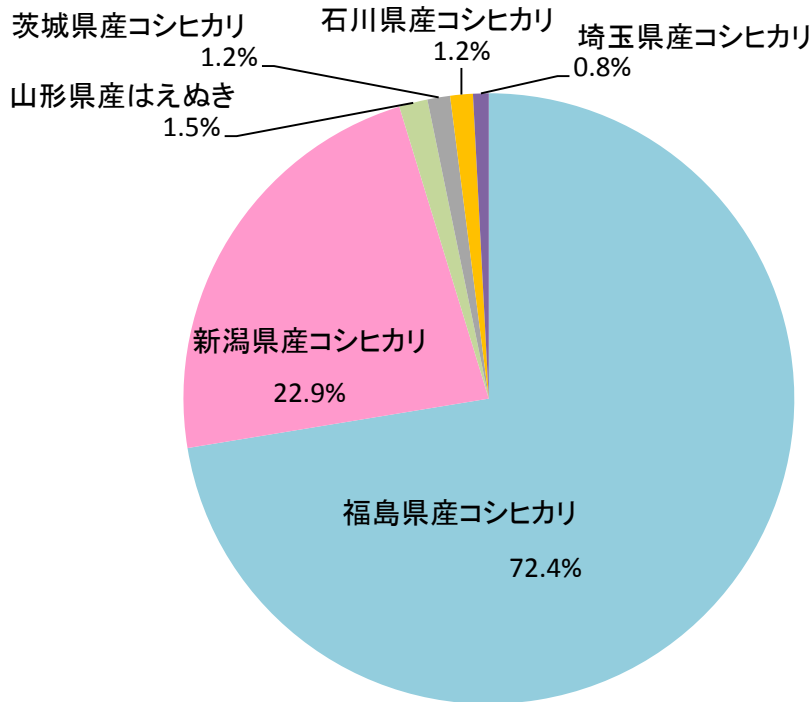
	米穀		とうもろこし	大豆	小豆	粗糖	
	東京コメ	大阪コメ					
平成23年8月末	8,763	5,025	3,738	30,991	31,975	3,785	7,503
9月末	7,805	4,185	3,620	25,853	26,034	3,641	6,392
10月末	5,818	3,278	2,540	25,033	24,752	3,097	5,840
11月末	7,119	3,977	3,142	25,486	26,983	2,799	4,839
12月末	7,074	4,556	2,518	24,695	25,580	2,719	4,822
平成24年1月末	6,943	5,195	1,748	25,041	21,279	3,408	2,123
2月末	4,825	3,479	1,346	24,535	18,851	3,634	1,877
3月末	3,666	2,352	1,314	23,320	18,783	3,278	3,090
4月末	2,899	1,561	1,338	24,209	19,592	4,303	3,009
5月末	2,928	1,575	1,353	24,431	18,243	5,167	2,978
6月末	2,684	1,326	1,358	20,206	22,226	4,148	3,046
7月末	3,190	1,843	1,347	26,438	35,337	3,229	2,442
8月末	3,778	1,400	2,378	28,723	33,246	2,346	2,462
9月末	3,829	1,461	2,368	28,159	24,855	1,376	2,287
10月末	3,898	1,703	2,195	27,373	25,123	1,521	2,721
11月末	3,352	1,137	2,215	24,755	23,602	1,052	2,351
12月末	2,982	1,067	1,915	22,290	19,495	1,304	3,942
平成25年1月末	4,492	2,473	2,019	21,928	16,178	1,493	393
2月末	4,222	2,201	2,021	16,746	15,934	1,730	463

注1:取組高とは、市場において成立した売買契約(将来売買する約束)のうち、まだ現物受渡や売り(買い)戻しが行われず、市場に残っている売買契約の数(売りと買いセットで1枚とカウント)。

注2:米については、東京コメは1枚6トン、大阪コメは1枚3トン。他の商品について1枚はとうもろこしは50トン、大豆は10トン、小豆は2.4トン、粗糖は10トン。ただし、粗糖は平成25年11月限以降は50トン。

注3:平成25年2月12日に、東京穀物商品取引所の農産物市場は、大阪堂島商品取引所(米穀)及び東京商品取引所(一般大豆、とうもろこし、小豆及び粗糖)に移管されている。

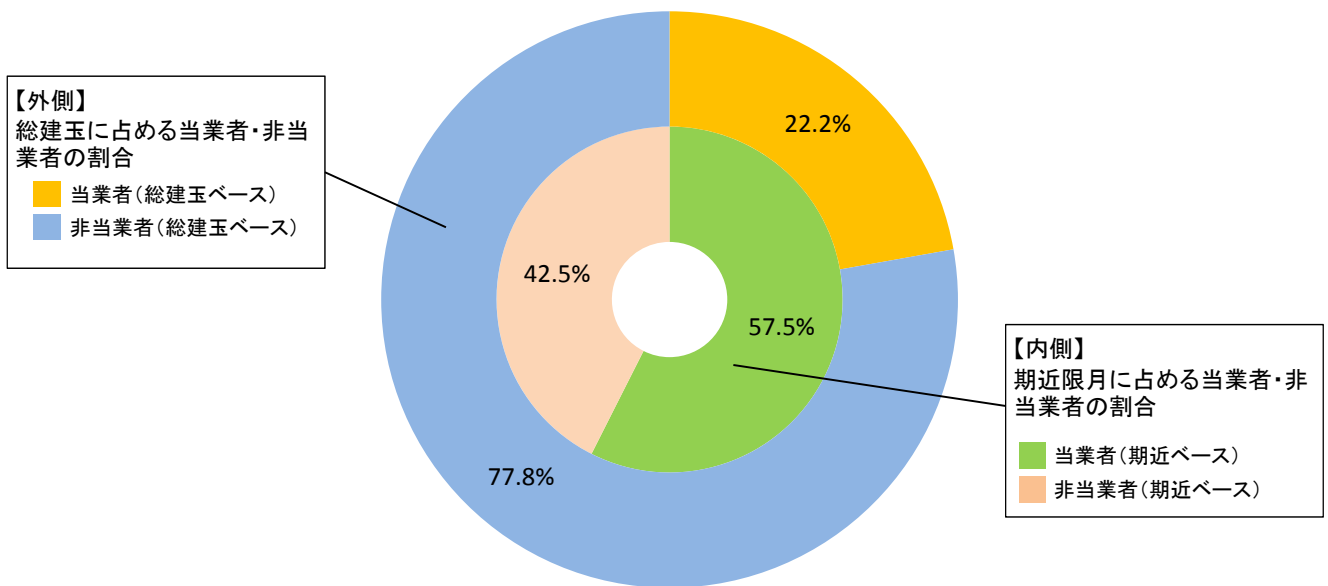
(4) 現物受渡量(平成23年8月8日～平成25年2月28日までの累積)



銘柄	取引枚数(玄米重量)		
	東京コメ	大阪コメ	合計
コシヒカリ(福島県産)	334枚 (2,004トン)	295枚 (885トン)	629枚 (2,889トン)
コシヒカリ(新潟県産)	116枚 (696トン)	72枚 (216トン)	188枚 (912トン)
はえぬき(山形県産)	10枚 (60トン)	-	10枚 (60トン)
コシヒカリ(茨城県産)	8枚 (48トン)	-	8枚 (48トン)
コシヒカリ(石川県産)	-	16枚 (48トン)	16枚 (48トン)
コシヒカリ(埼玉県産)	-	11枚 (33トン)	11枚 (33トン)
平成23年8月8日以降の累積値	468枚 (2,808トン)	394枚 (1,182トン)	862枚 (3,990トン)

注:平成25年2月28日までの累積値。

(5) 取引参加者の割合(各月末時点の割合の平均値(平成25年2月まで))



		東京コメ		大阪コメ		合計	
		当業者	非当業者	当業者	非当業者	当業者	非当業者
各月末時点の割合の平均値 (平成25年2月まで)	総建玉に占める割合	32.9%	67.1%	14.3%	85.7%	22.2%	77.8%
	期近限月に占める割合	56.8%	43.2%	43.8%	56.2%	57.5%	42.5%
平成24年12月末	総建玉に占める割合	73.6%	26.4%	13.3%	86.7%	34.9%	65.1%
	期近限月に占める割合	96.8%	3.2%	28.6%	71.4%	94.7%	5.3%
平成25年1月末	総建玉に占める割合	41.9%	58.1%	14.8%	85.2%	29.7%	70.3%
	期近限月に占める割合	90.3%	9.7%	80.6%	19.4%	85.5%	14.5%
2月末	総建玉に占める割合	15.5%	84.5%	15.1%	84.9%	15.3%	84.7%
	期近限月に占める割合	79.2%	20.8%	83.3%	16.7%	81.0%	19.0%

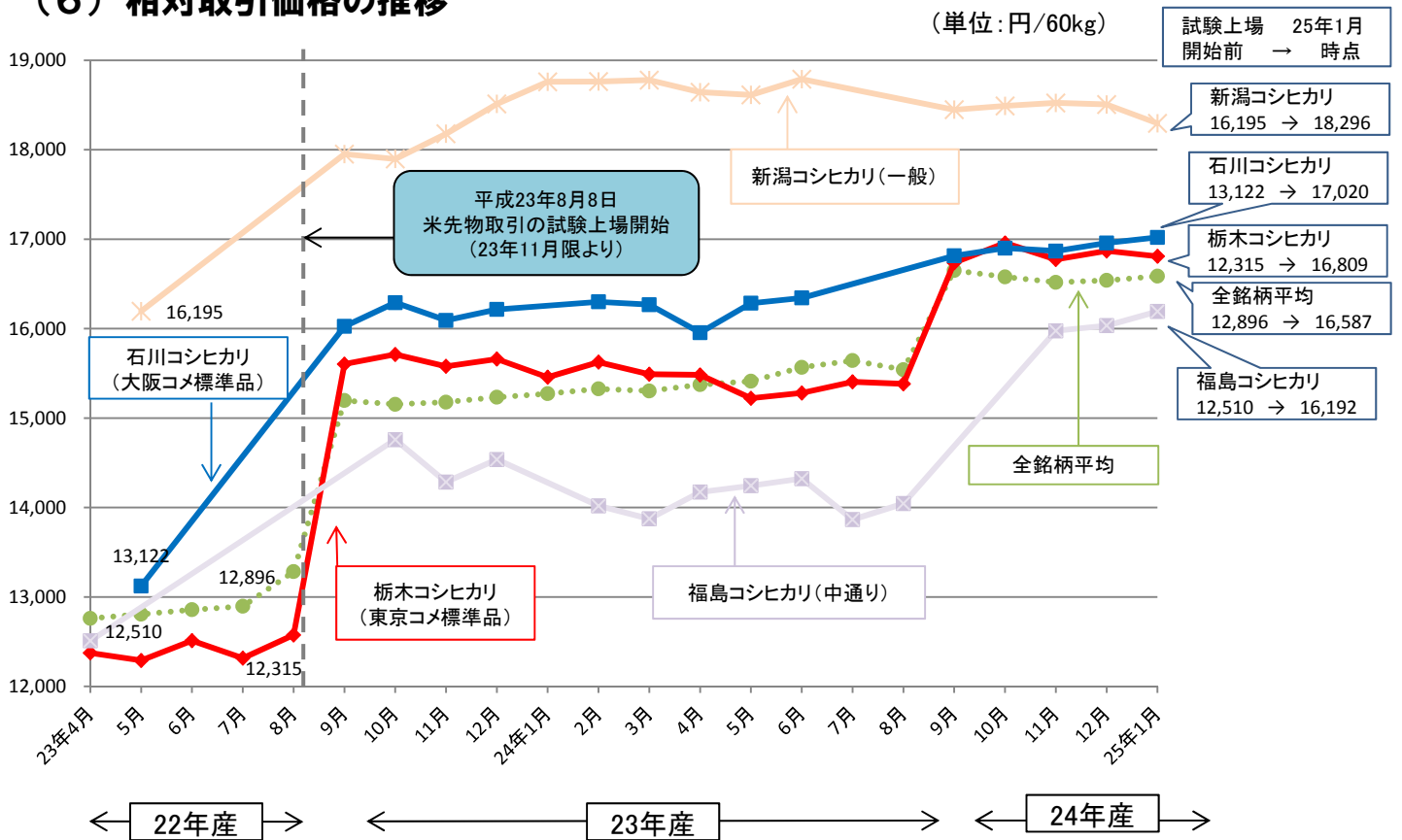
注1:取引所において把握している当業者・非当業者の割合。

注2:総建玉とは、市場において成立した売買契約のうち、まだ現物受渡や売り(買い)戻しが行われず、市場に残っている売買契約の総数(売りと買いそれぞれ1枚とカウント)。また期近限月とは、現物受渡や売買取引の期限がその時点から最も近い月。

注3:当業者とは、米の売買、売買の媒介、取次ぎ若しくは代理、生産、加工又は使用を業として行っている者(生産者、卸・小売業者、米加工品製造業者、外食事業者等)。

注4:総建玉に占める当業者・非当業者の割合は、平成23年8月以降の各月末平均値。期近限月に占める当業者・非当業者の割合は、平成23年12月以降の各月末平均値。

(6) 相対取引価格の推移



(単位: 円/60kg)

		全銘柄平均	栃木コシヒカリ	石川コシヒカリ	福島コシヒカリ (中通り)	新潟コシヒカリ (一般)
22年産	平成23年4月	12,760	12,374	-	12,510	-
	平成23年5月	12,807	12,290	13,122	-	16,195
	平成23年6月	12,857	12,512	-	-	-
	平成23年7月	12,896	12,315	-	-	-
	平成23年8月	13,283	12,575	-	-	-
23年産	平成23年9月	15,196	15,604	16,025	-	17,952
	平成23年10月	15,154	15,712	16,290	14,759	17,897
	平成23年11月	15,178	15,579	16,092	14,285	18,178
	平成23年12月	15,233	15,660	16,215	14,537	18,512
	平成24年1月	15,273	15,457	-	-	18,760
	平成24年2月	15,327	15,626	16,300	14,019	18,762
	平成24年3月	15,303	15,490	16,268	13,874	18,779
	平成24年4月	15,374	15,482	15,955	14,173	18,643
	平成24年5月	15,412	15,222	16,284	14,244	18,613
	平成24年6月	15,567	15,281	16,343	14,323	18,789
24年産	平成24年7月	15,643	15,405	-	13,865	-
	平成24年8月	15,541	15,382	-	14,044	-
	平成24年9月	16,650	16,737	16,814	-	18,448
	平成24年10月	16,579	16,958	16,900	-	18,490
	平成24年11月	16,518	16,773	16,867	15,976	18,523
平成24年12月	16,540	16,869	16,958	16,034	18,506	
平成25年1月	16,587	16,809	17,020	16,192	18,296	

注1: 相対取引価格は、ア. 全国出荷団体、イ. 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ. 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

注2: 相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引が適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

注3: 全銘柄平均価格は、報告対象産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

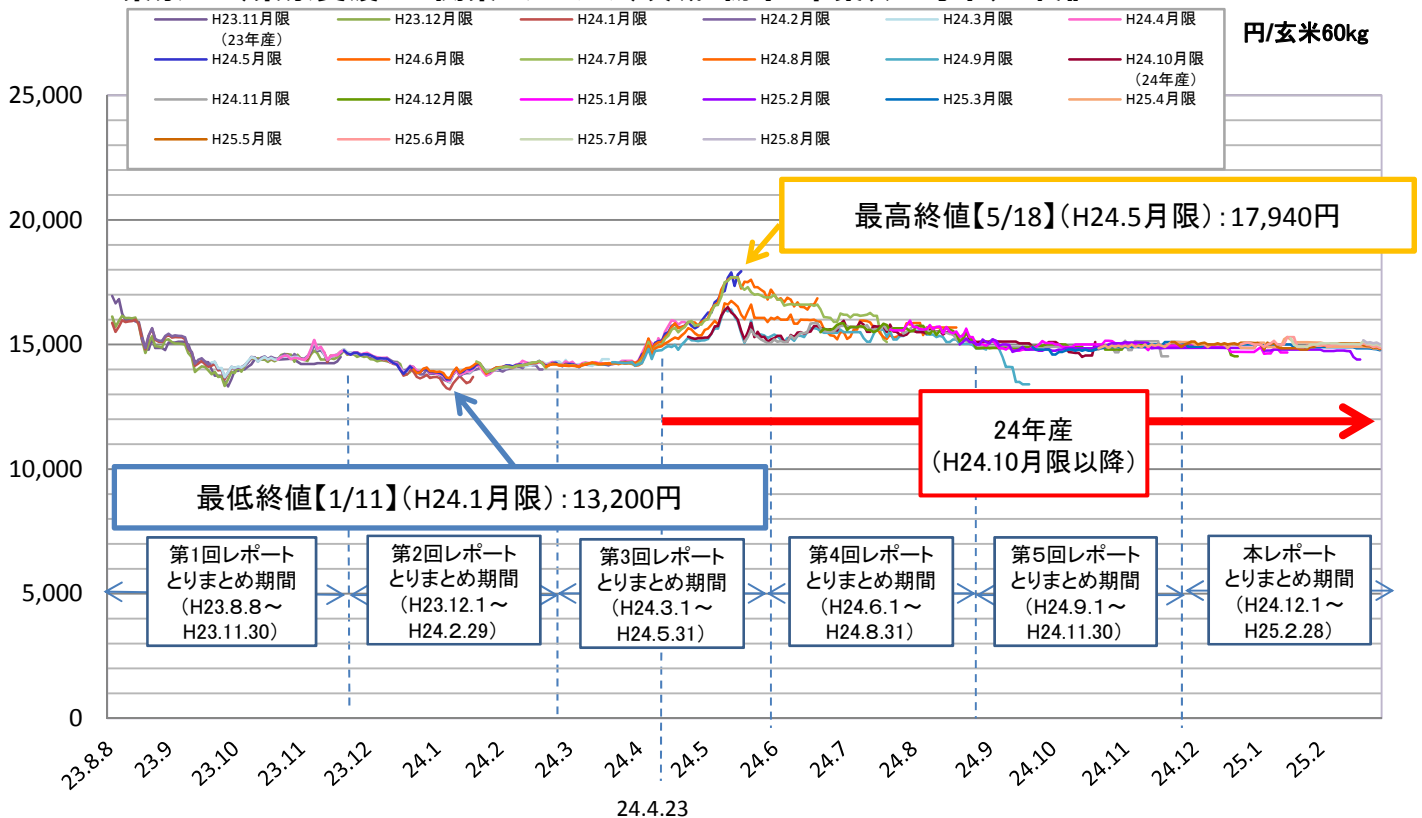
資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

2. 米先物取引の試験上場の現状

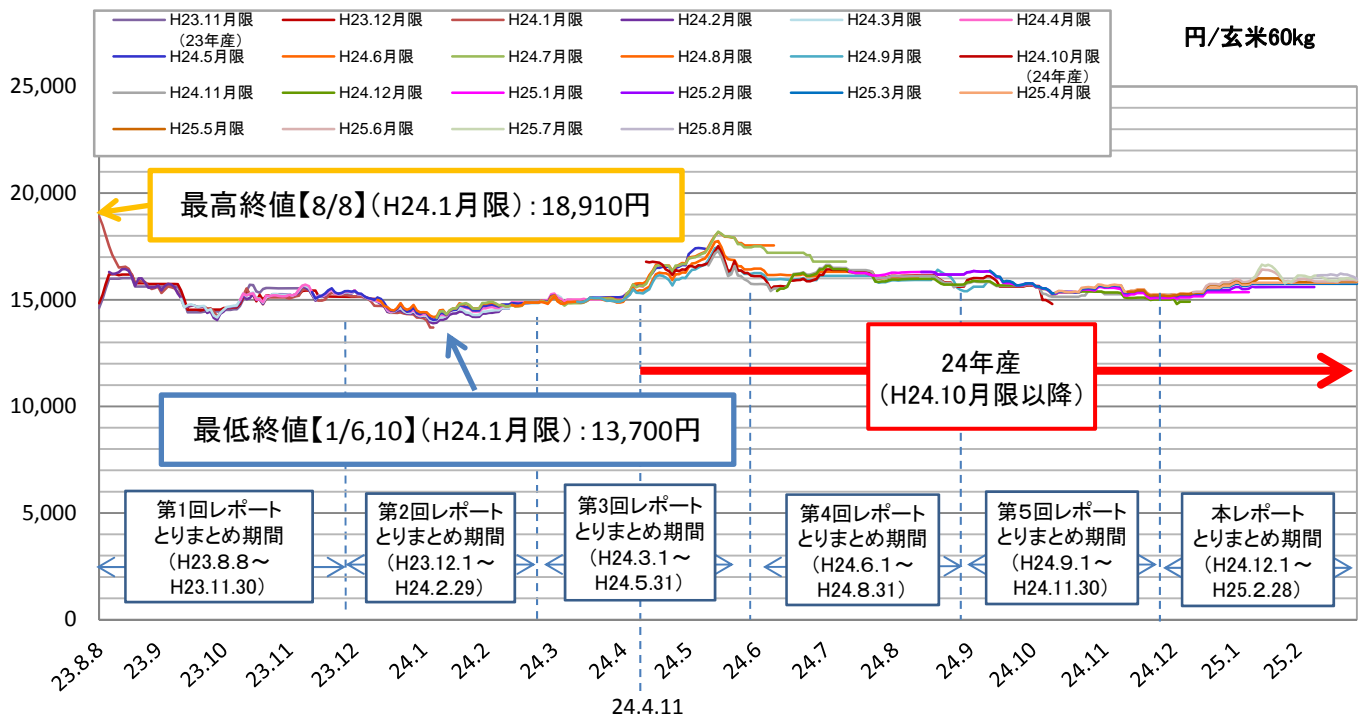
(1) 取引価格の動向

①-1 取引価格の推移【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

ア 東京コメ(東京受渡しの関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)の終値



イ 大阪コメ(大阪受渡しの北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)の終値



注1：価格は、平成23年8月8日から平成25年2月28日までの終値。ただし、東京コメの場合、平成25年2月8日までは終値又は取引終了までの一定時間内に成立した取引価格により一定の方法で算出した価格（帳入値）。

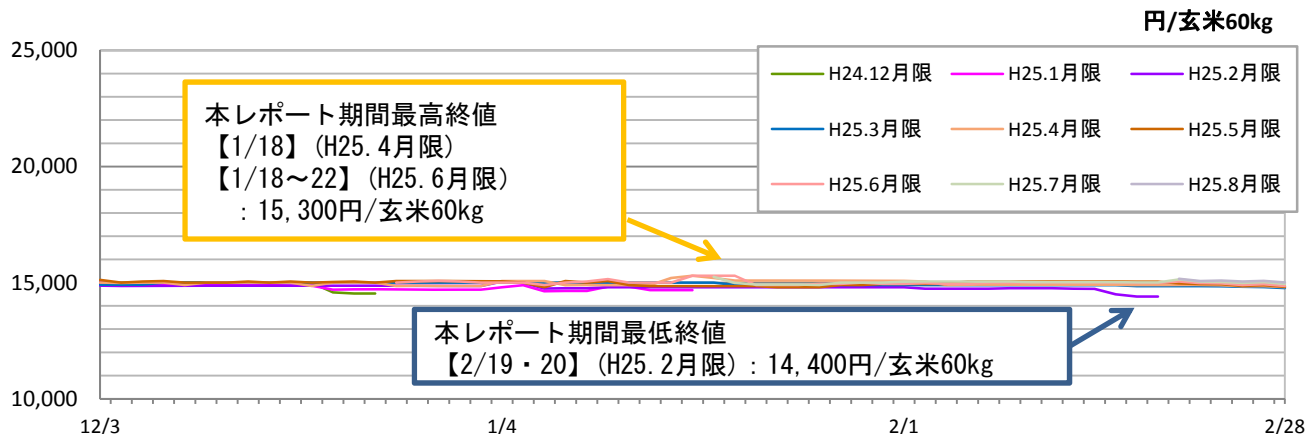
注2：取引所が指定する倉庫の置き場渡し価格（包装代込み、消費税抜き。以下、米穀の先物取引の価格について同じ。）。

注3：月限とは、売買契約を決済しなければならない期限の月。

注4：H23.11月限～H24.9月限までは23年産米、H24.10月限以降は24年産米を標準品として取引。

①-2 取引価格の推移【平成24年12月1日～平成25年2月28日】

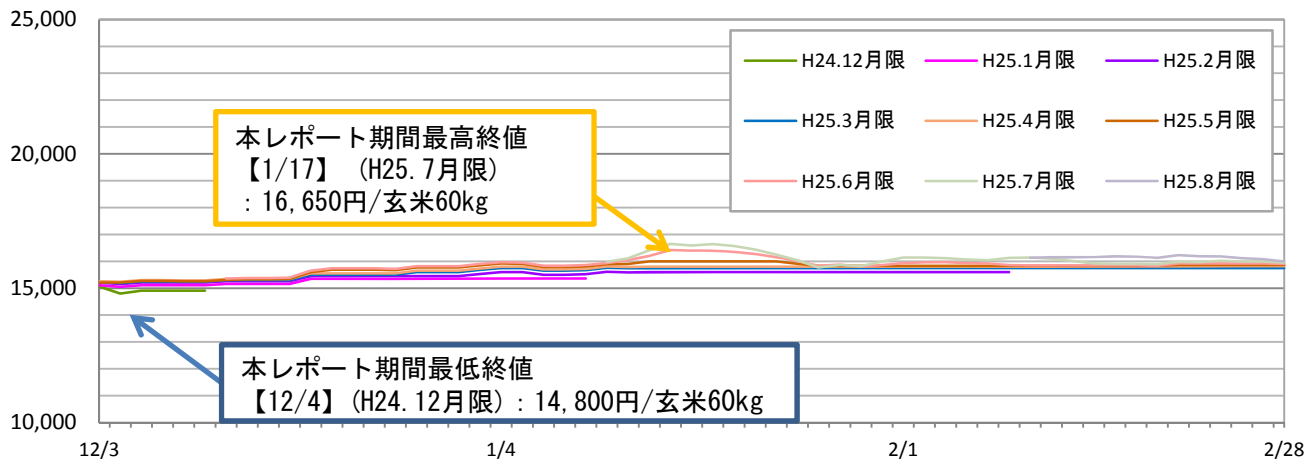
ア 東京コメ(東京受渡しの関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)の終値



	12月3日	12月28日	1月31日	2月28日	最高(年月日)	最低(年月日)
H24.12月限	15,000				15,000(24.12.3～11)	14,530(24.12.19・20)
H25.1月限	15,000	14,700			15,000(24.12.3)	14,630(25.1.8)
H25.2月限	14,870	14,860	14,800		15,050(25.1.4)	14,400(25.2.19・20)
H25.3月限	14,910	15,000	14,900	14,770	15,000 (24.12.6～25.1.21)	14,770(25.2.28)
H25.4月限	15,000	14,860	15,080	14,810	15,300(25.1.18)	14,810(25.2.28)
H25.5月限	15,120	15,060	14,950	14,820	15,120(24.12.3)	14,800(25.1.8・24～28)
H25.6月限		15,000	14,950	14,860	15,300(25.1.18～22)	14,860(25.2.28)
H25.7月限			15,000	14,950	15,250(25.1.21)	14,900(25.1.28)
H25.8月限				15,010	15,170(25.2.21)	15,010(25.2.28)

イ 大阪コメ(大阪受渡しの北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)の終値

円/玄米60kg



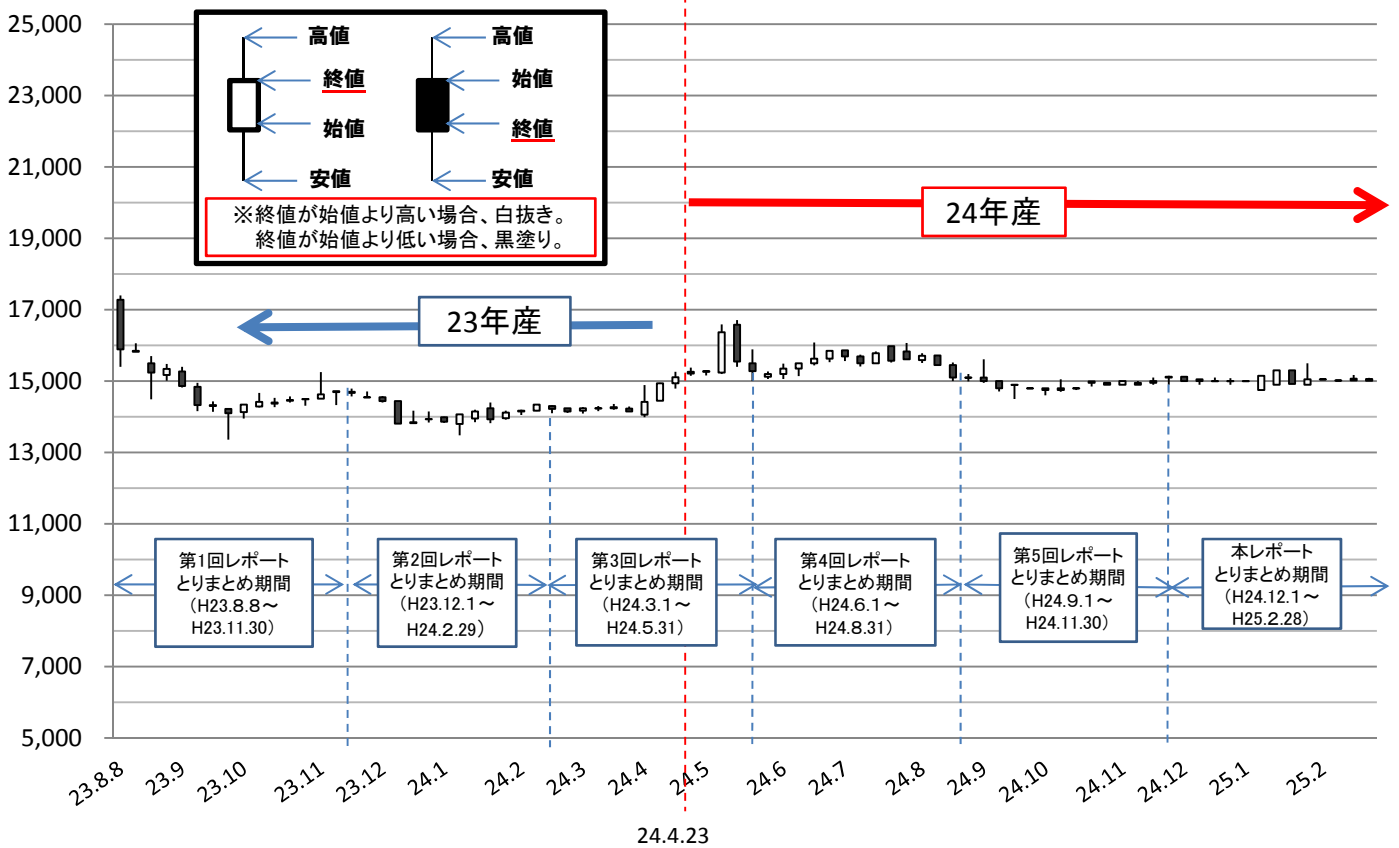
	12月3日	12月28日	1月31日	2月28日	最高(年月日)	最低(年月日)
H24.12月限	15,060				15,060(24.12.3)	14,800(24.12.4)
H25.1月限	15,110	15,360			15,360 (24.12.28～25.1.10)	15,050(24.12.4)
H25.2月限	15,210	15,530	15,600		15,610(25.1.11)	15,150(24.12.4)
H25.3月限	15,250	15,680	15,750	15,750	15,760(25.1.11)	15,190(24.12.4)
H25.4月限	15,260	15,730	15,800	15,820	15,820(25.2.21～28)	15,240(24.12.4)
H25.5月限	15,210	15,850	15,830	15,870	16,000(25.1.16～24)	15,210(24.12.3・4)
H25.6月限		15,900	15,860	15,900	16,420(25.1.17)	15,360(24.12.11)
H25.7月限			15,990	15,950	16,650(25.1.17)	15,770(25.1.28)
H25.8月限				15,990	16,230(25.2.21)	15,990(25.2.28)

注：価格は、平成24年12月1日から平成25年2月28日までの終値。ただし、東京コメの場合、平成25年2月8日までは終値又は取引終了までの一定時間内に成立した取引価格により一定の方法で算出した価格（帳入値）。

②-1 毎週の始値、高値、安値、終値の推移【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

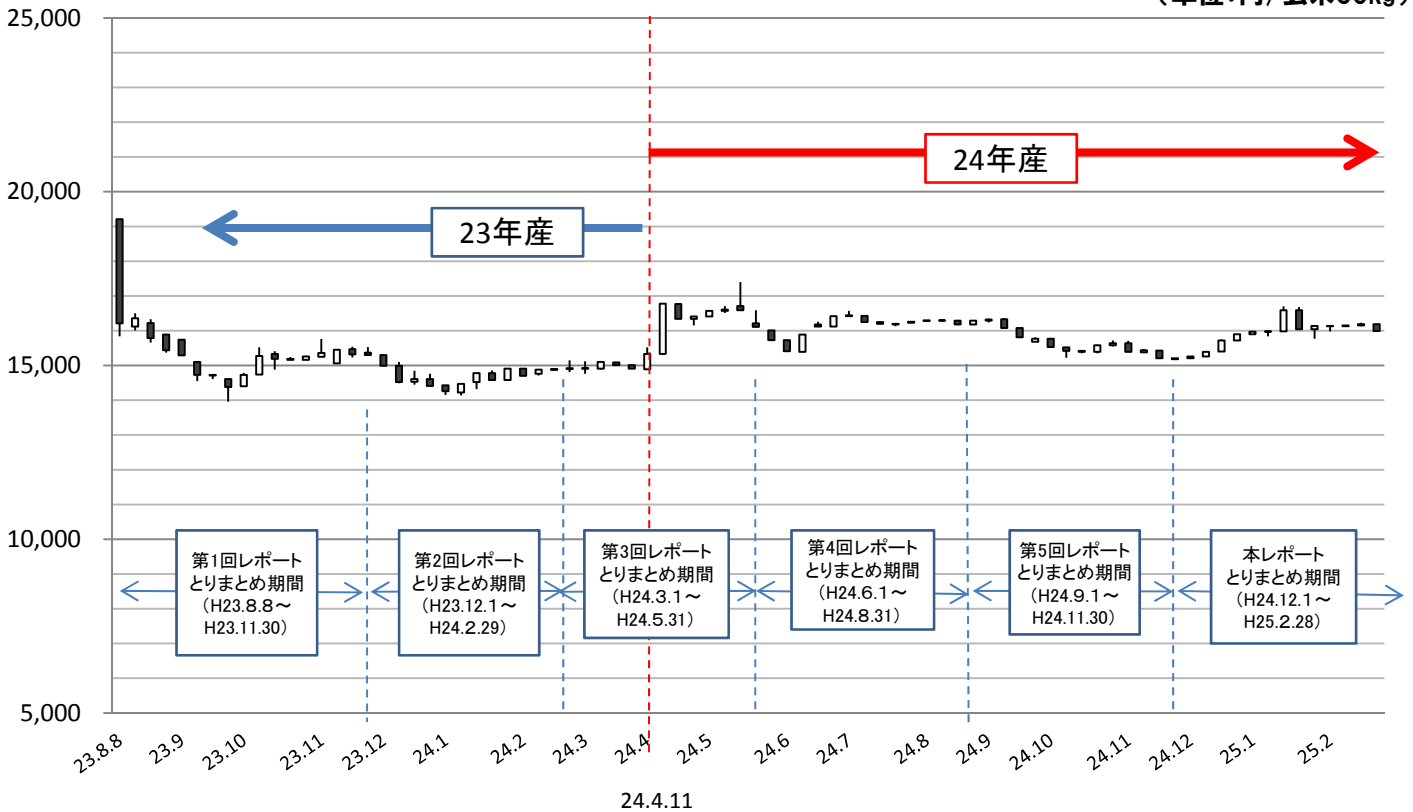
ア 東京コメ(東京受渡しの関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)



イ 大阪コメ(大阪受渡しの北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)

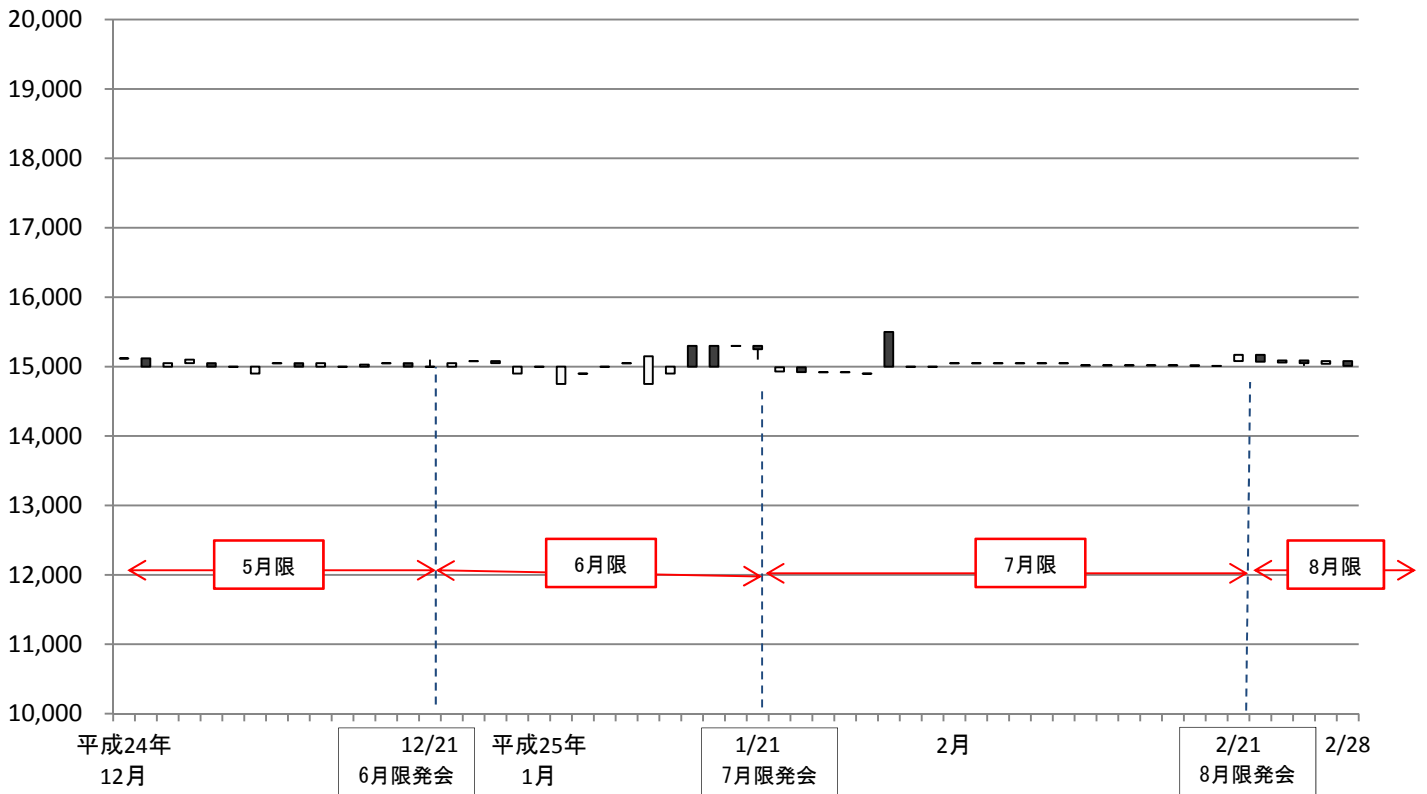


注:最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月(期先限月)の1週間の始値(東京コメの場合、平成25年2月8日までは、1日の計算区域が、前営業日の夜間取引+当日の日中取引であり、夜間取引・日中取引を通じて最初に成立した値段。大阪堂島商品取引所の場合、前場1節において成立した値段。)、高値、安値、終値(東京コメの場合、終値又は帳入値)の推移を表している(新たな期先限月の取引開始後は当該限月の値段に切り替え。)

②-2 毎日の始値、高値、安値、終値の推移【平成24年12月1日～平成25年2月28日】

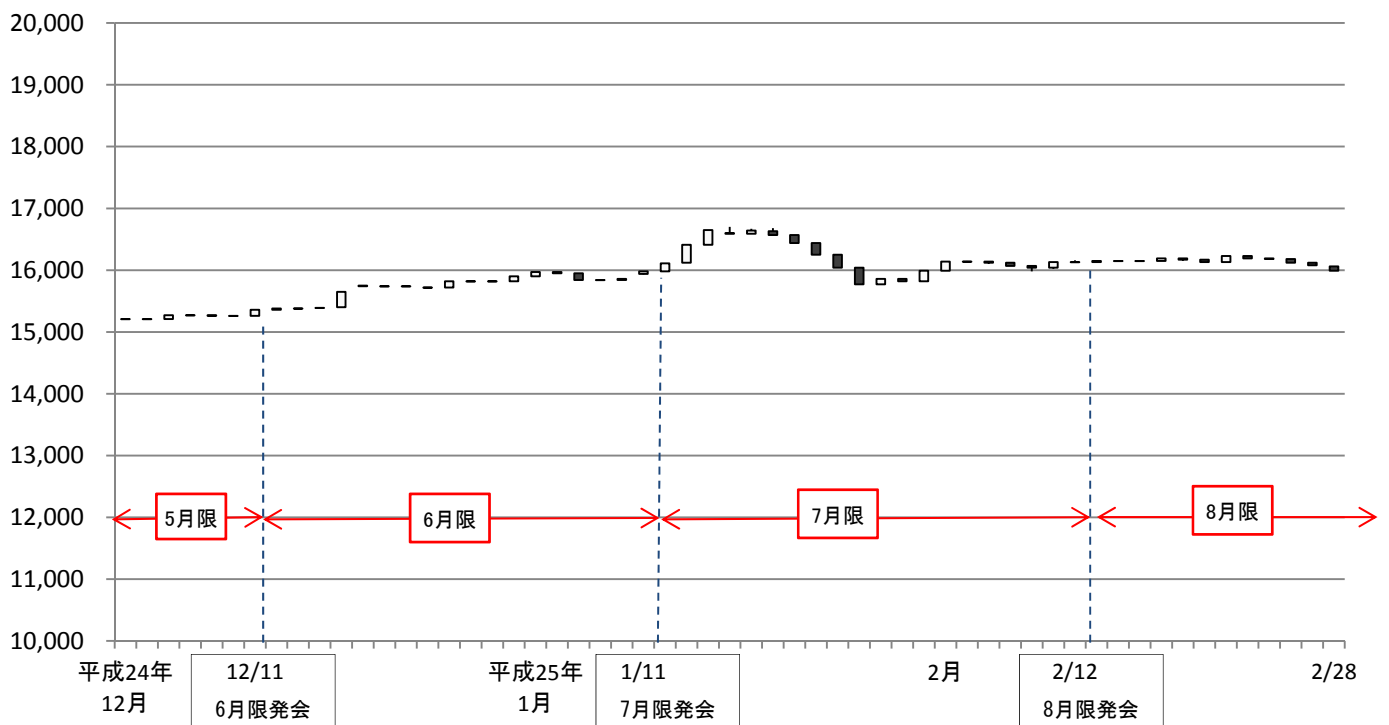
ア 東京コメ(東京受渡しの関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)



イ 大阪コメ(大阪受渡しの北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)

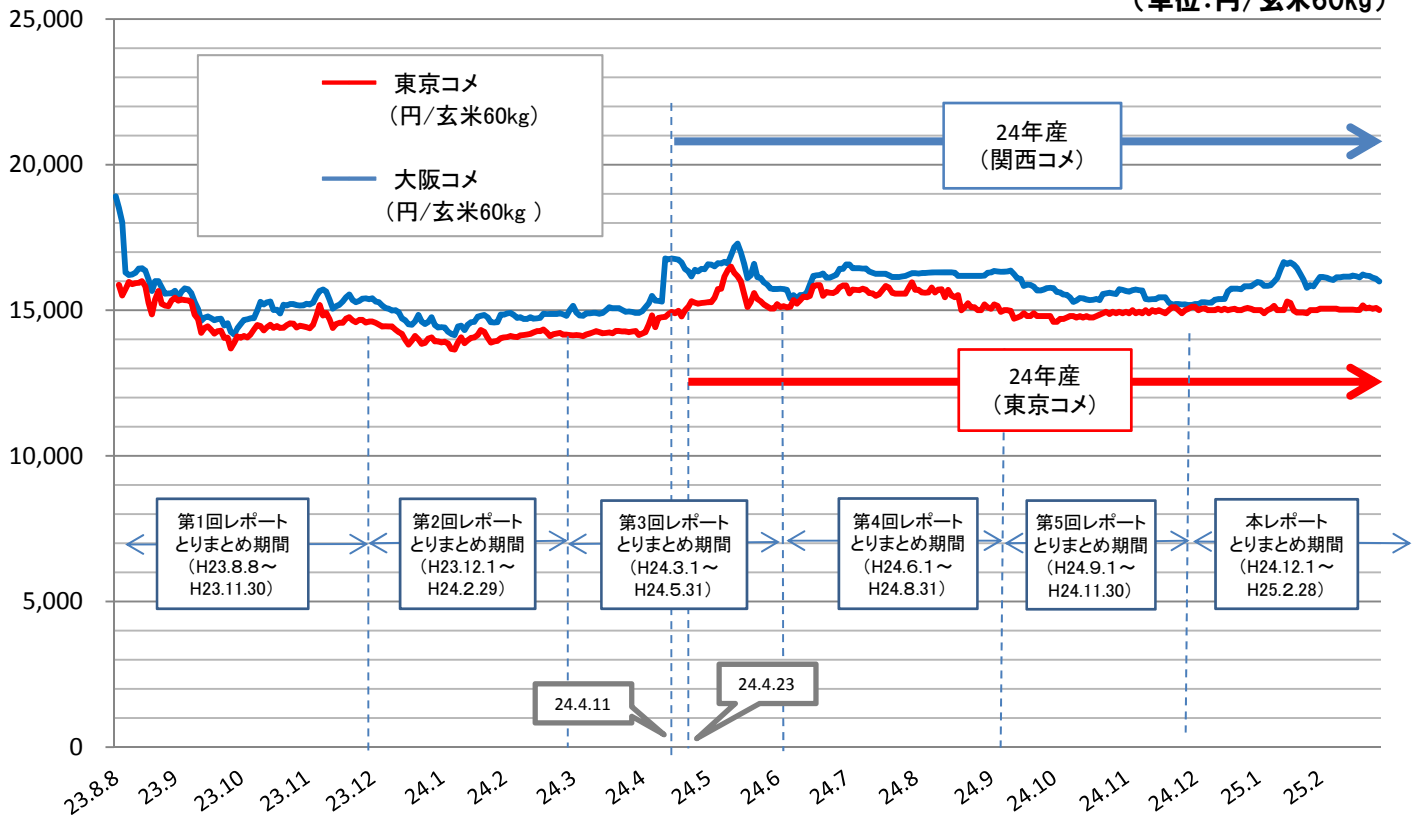


注:最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月(期先限月)の1日の始値(東京コメの場合、平成25年2月8日までは、1日の計算区域が、前営業日の夜間取引+当日の日中取引であり、夜間取引・日中取引を通じて最初に成立した値段。大阪堂島商品取引所の場合、前場1節において成立した値段。)、高値、安値、終値(東京コメの場合、終値又は帳入値)の推移を表している(新たな期先限月の取引開始後は当該限月の値段に切り替え。)

(参考) 東京コメ・大阪コメの値動き(期先限月の終値)

【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

(単位:円/玄米60kg)



(参考) 各月末時点での期先限月の終値

(単位:円/玄米60Kg)

		東京コメ	大阪コメ
23年産	平成23年8月	15,340	15,580
	9月	14,100	14,380
	10月	14,450	15,170
	11月	14,610	15,380
	12月	13,930	14,410
	平成24年1月	14,040	14,850
	2月	14,150	15,000
24年産	3月	14,150	14,910
	4月	15,260	16,410
	5月	15,060	15,730
	6月	15,850	16,420
	7月	15,960	16,270
	8月	15,100	16,290
	9月	14,800	15,770
	10月	14,900	15,700
	11月	15,120	15,180
	12月	15,000	15,900
平成25年1月	15,000	15,990	
2月	15,010	15,990	

注:最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月(期先限月)の終値又は帳入値。

③ 値幅制限等の発動状況【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

ア 東京コメ(平成25年2月8日までサーキットブレーカー(CB)、2月12日以降は値幅制限)

年月(営業日数)	発動数	発動日数	1日平均発動回数
平成23年8月(18日)	68回	13日	3.78
9月(20日)	8回	8日	0.40
10月(20日)	2回	2日	0.10
11月(20日)	5回	5日	0.25
12月(21日)	1回	1日	0.05
平成24年1月(19日)	7回	2日	0.37
2月(21日)	0回	0日	0.00
3月(21日)	0回	0日	0.00
4月(20日)	27回	10日	1.35
5月(21日)	41回	15日	1.95
6月(21日)	10回	9日	0.48
7月(21日)	11回	10日	0.52
8月(23日)	7回	7日	0.30
9月(19日)	8回	7日	0.42
10月(22日)	2回	2日	0.09
11月(21日)	6回	4日	0.19
12月(19日)	1回	1日	0.05
平成25年1月(19日)	6回	5日	0.32
2月(6日)	1回	1日	0.17

年月(営業日数)	制限到達回数	制限到達日数	1日平均到達回数
2月(13日)	0回	0日	0.00

(注)平成24年1月4日より、CB運用方法を変更。

(注)平成25年2月12日以降、値幅制限。

イ 大阪コメ(値幅制限)

年月(営業日数)	制限到達回数	制限到達日数	1日平均到達回数
平成23年8月(18日)	19回	9日	1.06
9月(20日)	12回	6日	0.60
10月(20日)	10回	5日	0.50
11月(20日)	2回	2日	0.10
12月(21日)	0回	0日	0.00
平成24年1月(19日)	0回	0日	0.00
2月(21日)	0回	0日	0.00
3月(21日)	0回	0日	0.00
4月(20日)	8回	3日	0.40
5月(21日)	10回	5日	0.48
6月(21日)	4回	4日	0.19
7月(21日)	0回	0日	0.00
8月(23日)	1回	1日	0.04
9月(19日)	0回	0日	0.00
10月(22日)	1回	1日	0.05
11月(21日)	0回	0日	0.00
12月(19日)	0回	0日	0.00
平成25年1月(19日)	1回	1日	0.05
2月(19日)	0回	0日	0.00

注1:東京コメは、平成23年12月30日まではサーキットブレーカー(CB)発動回数。平成24年1月4日から平成25年2月8日までは、CBが発動した限月数。平成25年2月12日以降は、それまでのザラバ式(複数約定値段方式)から板寄せ式(単一約定値段方式)に変更されたことに伴い、終値が値幅制限に達した限月数。

注2:大阪コメは、終値が値幅制限に達した限月数。

注3:CBとは、値動きが一定幅に達した場合に、取引を一時停止し、市場の過熱を抑える仕組み。

注4:東京コメでは、平成23年12月30日までは、1つの限月でCBが発動された場合、自動的に全ての限月でCBが発動されていたが、平成24年1月4日からは、値段が±600円(ただし、1回目は±300円)上昇又は下降した限月に限定してCBが発動する方式に変更。併せて、取引の停止時間を10分間から5分間に短縮。

注5:値幅制限とは、値動きが一定幅に達した場合に、その上限を超える又は下限を下回る価格で取引を成立させない仕組み。平成25年2月28日現在では、大阪堂島商品取引所の1日の値幅は、最大で±500円/60kg以内(通常、±300円/60kg。その後、順次±400円/60kg、±500円/60kgに拡大。)

注6:CB・値幅制限の幅、適用・解除時期は商品ごとに異なり、CB・値幅制限の幅については、商品の値動き等を勘案し、取引所が変更することがあり得る。また、異常な価格変動が生じた場合等は、商品先物取引法第118条第2号の規定に基づく主務大臣の命令により取引所が制限幅を変更。

④ 限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び納会値段又は2月末値段

ア 東京コメ(東京受渡しの関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)

【限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び納会値段又は2月末値段】

(単位:円/玄米60kg)

限月	発会値段 (年月日)	最高値段 (年月日)	最低値段 (年月日)	納会値段 (年月日)	2月末現在値段 (年月日)
23年11月限	17,400 (23.08.09)	17,730 (23.08.10)	13,320 (23.09.29)	14,500 (23.11.18)	取引終了
23年12月限	17,400 (23.08.09)	17,400 (23.08.09)	13,200 (23.09.29)	13,900 (23.12.20)	取引終了
24年1月限	17,280 (23.08.09)	17,400 (23.08.09)	13,120 (24.01.11)	13,700 (24.01.20)	取引終了
24年2月限	15,500 (23.08.22)	15,700 (23.08.26)	13,350 (23.09.29)	14,000 (24.02.20)	取引終了
24年3月限	14,200 (23.09.21)	15,240 (23.11.09)	13,360 (23.09.29)	14,410 (24.03.19)	取引終了
24年4月限	14,330 (23.10.21)	15,980 (24.04.16・17)	13,380 (24.01.11)	15,900 (24.04.20)	取引終了
24年5月限	14,700 (23.11.21)	17,940 (24.05.17・18)	13,440 (24.01.11)	17,940 (24.05.18)	取引終了
24年6月限	14,170 (23.12.21)	17,900 (24.05.15)	13,480 (24.01.11)	16,850 (24.06.20)	取引終了
24年7月限	14,240 (24.01.23)	17,700 (24.05.16,17)	13,820 (24.01.26)	15,100 (24.07.20)	取引終了
24年8月限	14,200 (24.02.21)	16,940 (24.05.16)	14,090 (24.03.07,24.04.02)	15,680 (24.08.20)	取引終了
24年9月限	14,200 (24.03.21)	16,690 (24.05.14)	13,400 (24.09.18・19)	13,400 (24.09.20)	取引終了
24年10月限	15,210 (24.04.23)	16,710 (24.05.15)	14,460 (24.10.17)	15,100 (24.10.19)	取引終了
24年11月限	15,500 (24.05.21)	16,080 (24.06.19)	14,530 (24.11.16)	14,530 (24.11.20)	取引終了
24年12月限	15,900 (24.06.21)	15,900 (24.06.21)	14,500 (24.12.18)	14,530 (24.12.20)	取引終了
25年1月限	15,980 (24.07.23)	16,070 (24.07.31)	14,630 (25.01.08)	14,680 (25.01.18)	取引終了
25年2月限	15,000 (24.08.21)	15,610 (24.09.04)	14,390 (25.02.19)	14,400 (25.02.20)	取引終了
25年3月限	14,500 (24.09.21)	15,100 (24.11.19~26)	14,500 (24.09.21)	取引継続中	14,770 (25.02.28)
25年4月限	14,990 (24.10.22)	15,300 (25.01.17~21)	14,810 (25.02.28)	取引継続中	14,810 (25.02.28)
25年5月限	15,100 (24.11.21)	15,150 (24.11.30)	14,800 (25.01.08・24~28)	取引継続中	14,820 (25.02.28)
25年6月限	15,000 (24.12.21)	15,300 (25.01.16~22)	14,750 (25.01.07・11)	取引継続中	14,860 (25.02.28)
25年7月限	15,300 (25.01.21)	15,500 (25.01.29)	14,900 (25.01.28)	取引継続中	14,950 (25.02.28)
25年8月限	15,080 (25.02.21)	15,170 (25.02.21・22)	15,010 (25.02.26・28)	取引継続中	15,010 (25.02.28)
全期間		17,940 (24.05.17・18)	13,120 (24.01.11)		

 : 全レポート期間最高値

 : 全レポート期間最安値

注1:発会値段とは、発会日(東京コメは毎月21日、大阪コメは11日(休業日の場合は繰り下げ。))において取引が成立した最初の値段である。また、最高値段及び最低値段は各期間中に成立した最高及び最低の値段であり、P11に記載した終値の最高及び最低とは異なる。

注2:また、納会・2月末値段は、平成25年2月28日現在において、取引が終了している平成23年11月限~平成25年2月限については納会日(東京コメは毎月20日、大阪コメは毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))の終値であり、取引が継続中である平成25年3月限~平成25年8月限(青塗り)については平成25年2月28日現在の終値(ただし、東京コメの場合は、終値又は帳入値。)

イ 大阪コメ(大阪受渡しの北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)

【限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び納会値段又は2月末値段】 (単位:円/玄米60kg)

限月	発会値段 (年月日)	最高値段 (年月日)	最低値段 (年月日)	納会値段 (年月日)	2月末現在値段 (年月日)
23年11月限	14,320 (23.08.08)	16,060 (23.08.17)	14,320 (23.08.08)	15,540 (23.11.10)	取引終了
23年12月限	14,540 (23.08.08)	16,240 (23.08.11)	14,500 (23.09.21・22)	15,040 (23.12.09)	取引終了
24年1月限	19,210 (23.08.08)	19,210 (23.08.08)	13,700 (24.01.06・10)	13,700 (24.01.10)	取引終了
24年2月限	15,840 (23.08.11)	16,500 (23.08.17)	13,860 (23.09.29)	14,580 (24.02.10)	取引終了
24年3月限	15,100 (23.09.12)	15,740 (23.11.08)	13,960 (23.09.29)	14,930 (24.03.09)	取引終了
24年4月限	14,740 (23.10.11)	15,760 (23.11.08・09)	14,070 (24.01.10・11)	15,610 (24.04.10)	取引終了
24年5月限	15,640 (23.11.11)	17,440 (24.05.08)	14,060 (24.01.10・11)	17,390 (24.05.10)	取引終了
24年6月限	14,990 (23.12.12)	18,460 (24.05.17)	14,150 (24.01.06)	17,550 (24.6.08)	取引終了
24年7月限	14,190 (24.01.11)	18,480 (24.05.17)	14,140 (24.01.11)	16,790 (24.7.10)	取引終了
24年8月限	14,760 (24.02.13)	17,800 (24.05.17)	14,710 (24.02.14・15)	16,050 (24.8.10)	取引終了
24年9月限	14,910 (24.03.12)	17,500 (24.05.17)	14,880 (24.03.13)	15,810 (24.09.10)	取引終了
24年10月限	16,790 (24.04.11)	17,550 (24.05.17)	14,800 (24.10.10)	14,800 (24.10.10)	取引終了
24年11月限	16,710 (24.05.11)	17,400 (24.05.16)	15,140 (24.10.10~23)	15,190 (24.11.09)	取引終了
24年12月限	15,390 (24.06.11)	16,570 (24.07.02・03)	14,800 (24.12.04・05)	14,910 (24.12.10)	取引終了
25年1月限	16,430 (24.07.11)	16,430 (24.07.11)	15,050 (24.12.04・05)	15,360 (25.01.10)	取引終了
25年2月限	16,300 (24.08.13)	16,350 (24.09.04・05)	15,150 (24.12.04・05)	15,600 (25.02.08)	取引終了
25年3月限	16,350 (24.09.11)	16,360 (24.09.11・12)	15,190 (24.12.04・05)	取引継続中	15,750 (25.02.28)
25年4月限	15,290 (24.10.11)	15,820 (25.02.21~28)	15,230 (24.11.29・30)	取引継続中	15,820 (25.02.28)
25年5月限	15,380 (24.11.12)	16,000 (25.01.16~25)	15,180 (24.11.29・30)	取引継続中	15,870 (25.02.28)
25年6月限	15,260 (24.12.11)	16,520 (25.01.18)	15,260 (24.12.11)	取引継続中	15,900 (25.02.28)
25年7月限	15,940 (25.01.11)	16,700 (25.01.18)	15,770 (25.01.28・29)	取引継続中	15,950 (25.02.28)
25年8月限	16,130 (25.02.12)	16,230 (25.02.21・22)	15,990 (25.02.28)	取引継続中	15,990 (25.02.28)
全期間		19,210 (23.08.08)	13,700 (24.01.06・10)		

 : 全レポート期間最高値

 : 全レポート期間最安値

注1:発会値段とは、発会日(東京コメは毎月21日、大阪コメは11日(休業日の場合は繰り下げ。))において取引が成立した最初の値段である。また、最高値段及び最低値段は各期間中に成立した最高及び最低の値段であり、P11に記載した終値の最高及び最低とは異なる。

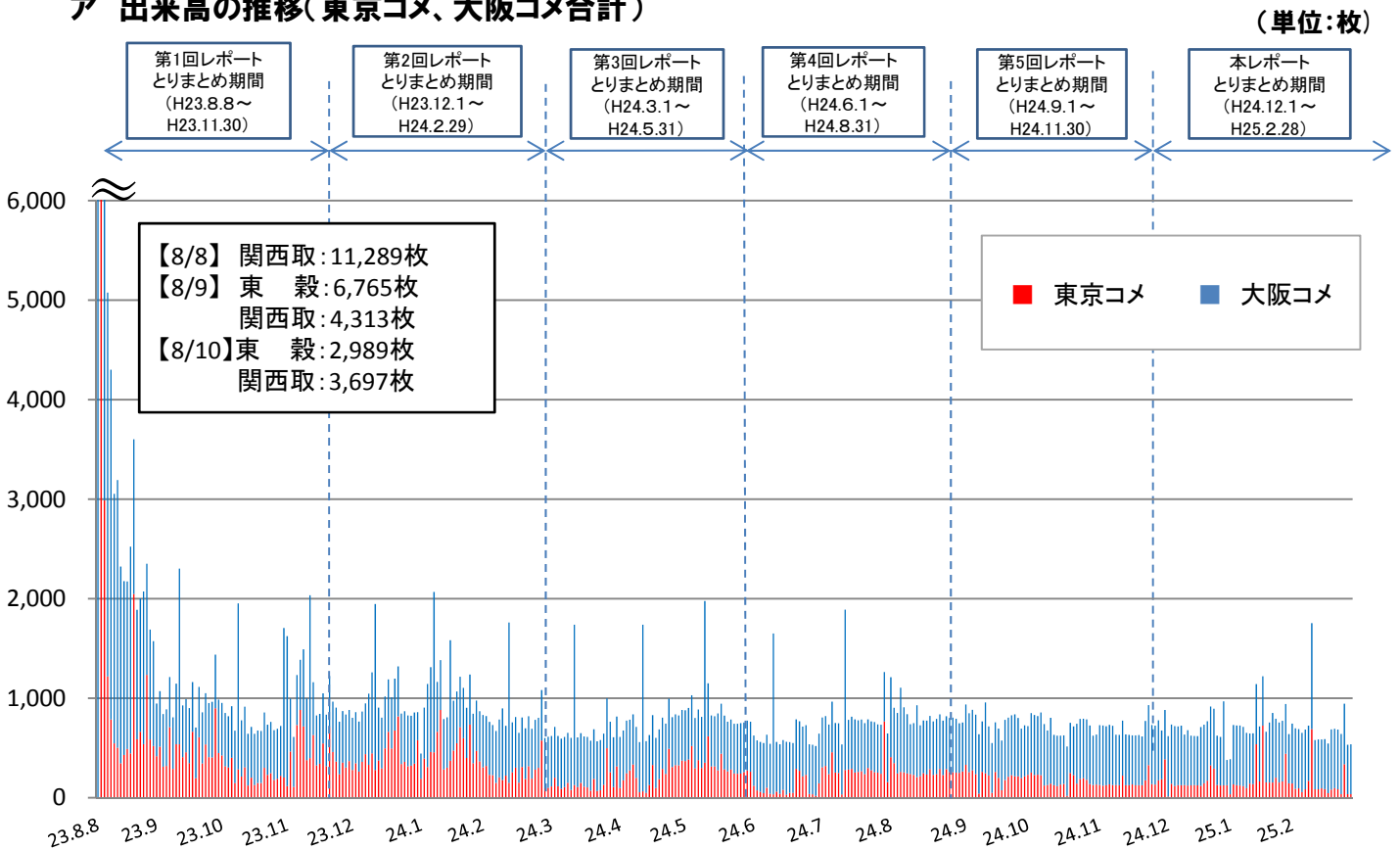
注2:また、納会・2月末値段は、平成25年2月28日現在において、取引が終了している平成23年11月限~平成25年2月限については納会日(東京コメは毎月20日、大阪コメは毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))の終値であり、取引が継続中である平成25年3月限~平成25年8月限(青塗り)については平成25年2月28日現在の終値(ただし、東京コメの場合は、終値又は帳入値。)

(2) 取引量の動向

①-1 出来高の推移

【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

ア 出来高の推移(東京コメ、大阪コメ合計)

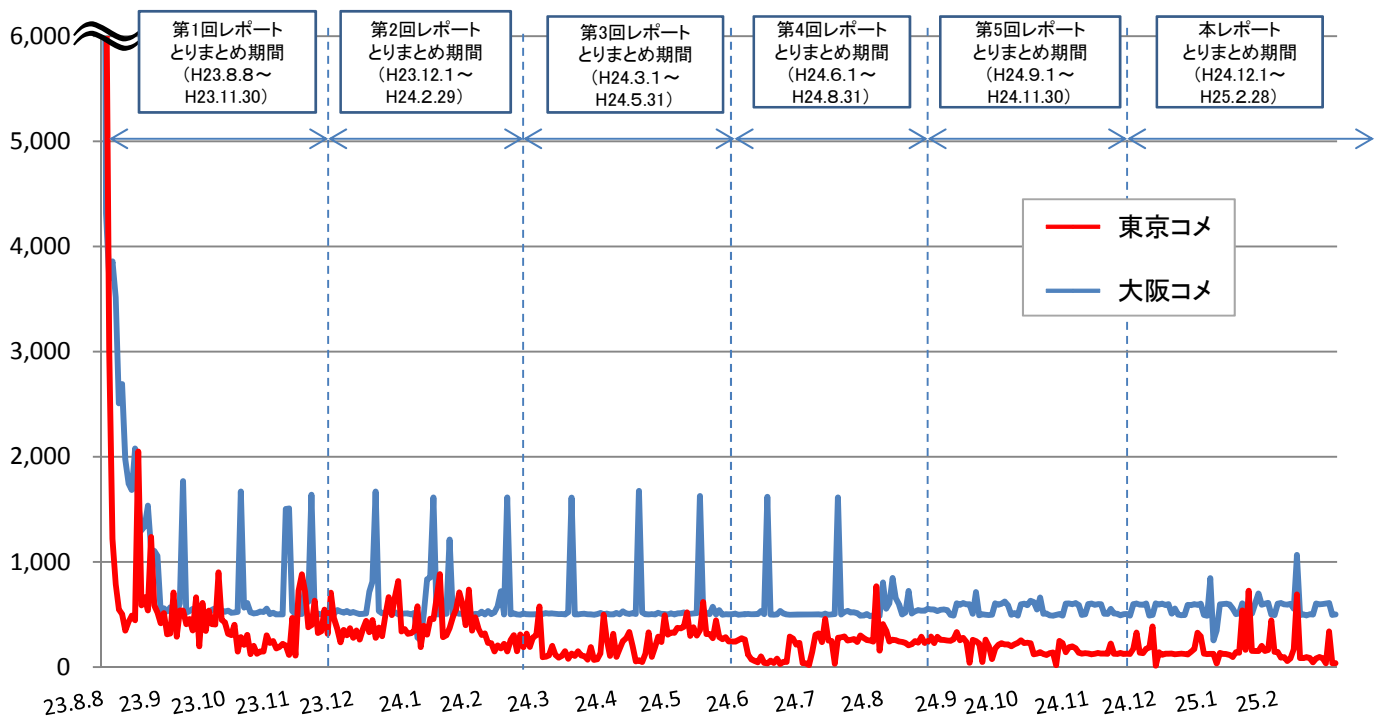


イ 出来高の推移

【8/8】関西取: 11,289枚

【8/9】東穀: 6,765枚

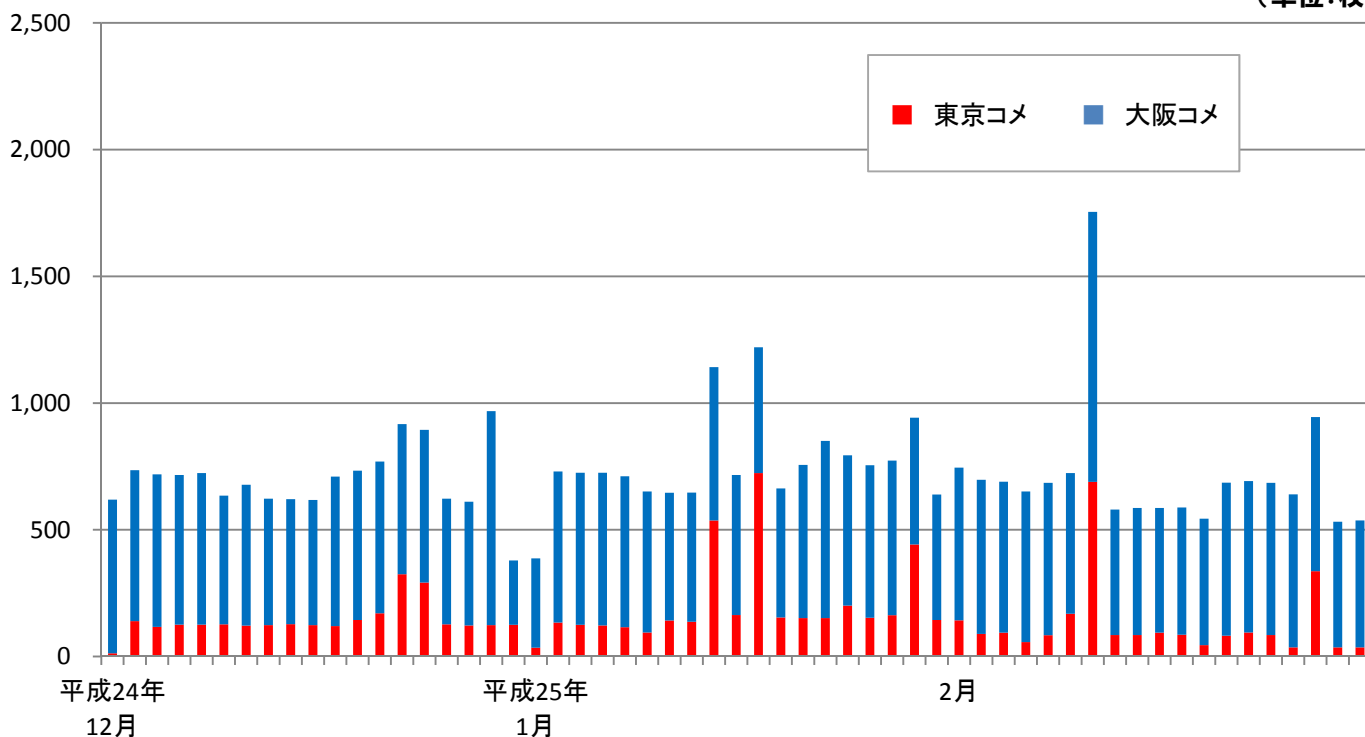
(単位:枚)



①-2 出来高の推移【平成24年12月1日～平成25年2月28日】

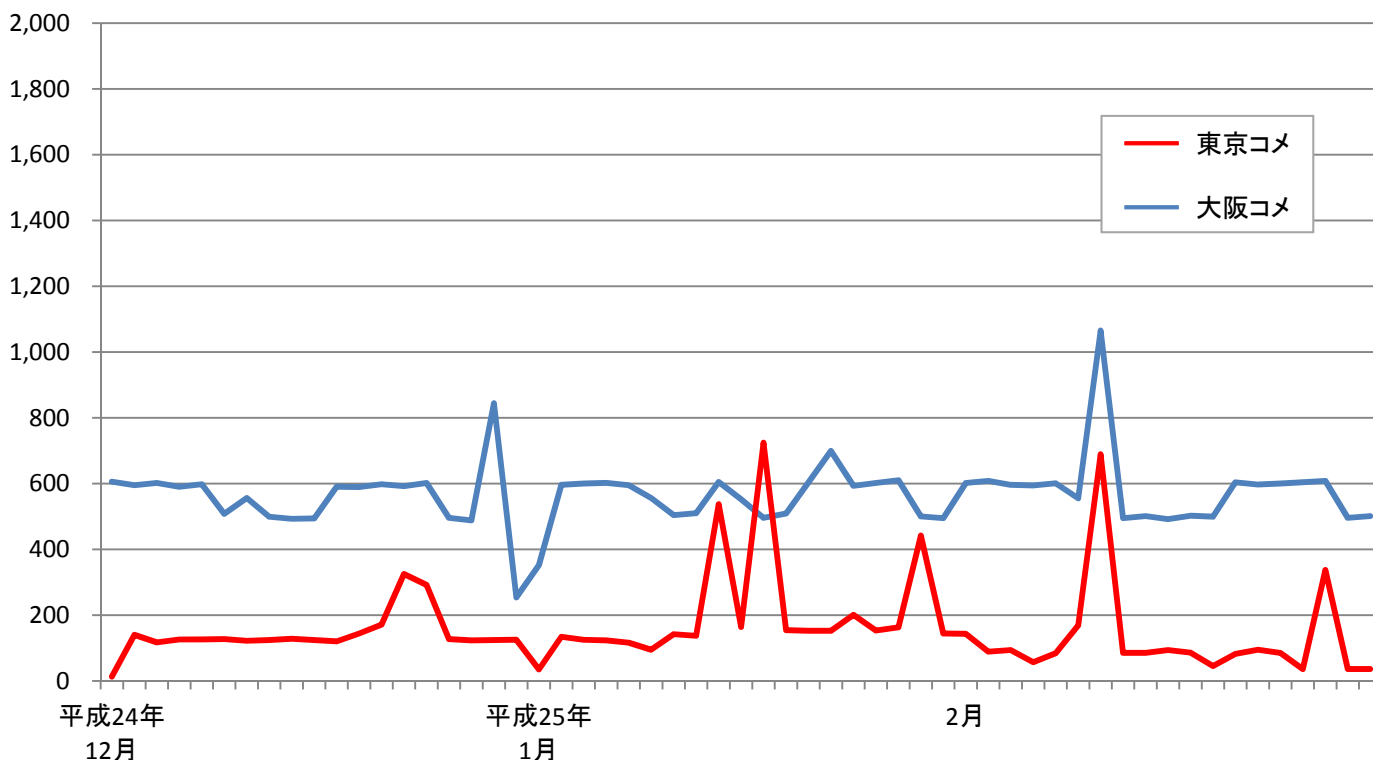
ア 出来高の推移(東京コメ、大阪コメ合計)

(単位:枚)



イ 出来高の推移

(単位:枚)



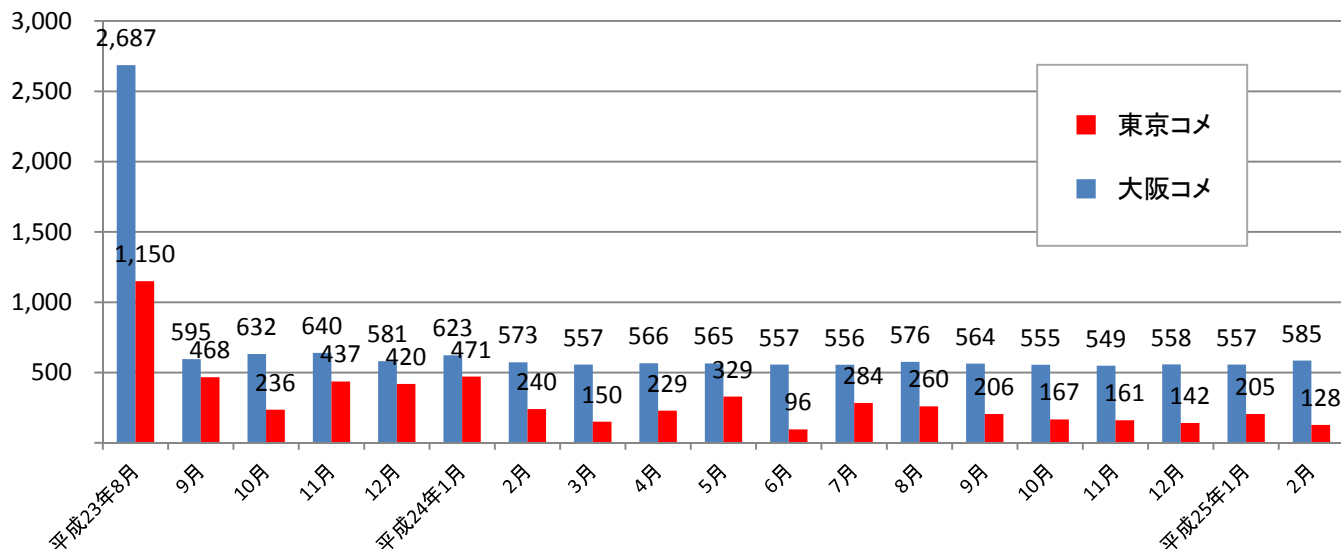
(参考)

標準品：東京コメは、茨城、栃木及び千葉のコシヒカリを標準品として取引を実施。大阪コメは、石川及び福井のコシヒカリを標準品として取引を実施（東京コメ・大阪コメともに玄米1等合格品。）。

限月：受渡月の異なる6限月（例えば、12月に決済期限が到来するものを12月限といい、1の限月と数える。）の米穀を取引。最長6か月先（平成25年2月28日現在では、3月限、4月限、5月限、6月限、7月限、8月限が上場。）の限月の米穀を取引。

② 1日の平均出来高の推移【平成23年8月～平成25年2月】

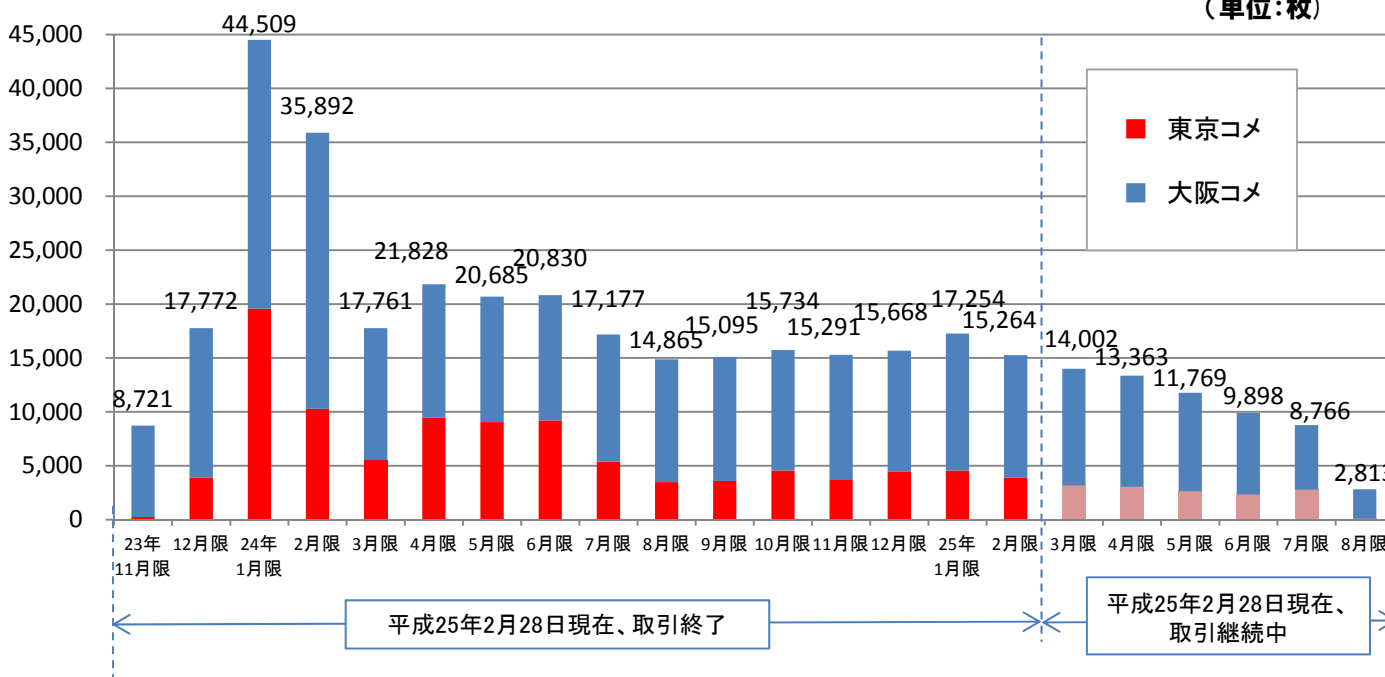
(単位:枚)



注:取引枚数1枚は、東京コメは6トン(玄米)、大阪コメは3トン(玄米)。

③ 限月別の出来高状況(東京コメ、大阪コメ合計)

(単位:枚)



注1:平成25年3月限～平成25年8月限については、平成25年2月28日現在、取引中であるため、各限月の発会日(東京コメは毎月21日、大阪コメは毎月11日(休業日の場合は繰り下げ。))から平成25年2月28日までの各限月の出来高の累積値を表しており、各限月で実際に取引された日数が異なる。

注2:平成23年11月限～平成25年2月限については、すでに取引が終了しているため、各限月の発会日から納会日(東京コメは毎月20日、大阪コメは毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))までの出来高の累積値。

(参考) 海外からの取引参加状況(平成23年8月8日以降の累積値)

(単位:枚)

	米国	シンガポール	合計
売	137	128	265
買	138	128	266

注1:東京穀物商品取引所において取引を行った海外の商品先物取引業者(外国において商品先物取引法第190条第1項の規定による許可に相当する許可を受けている者又はこれに準ずる者)のうち、取引所において把握している者の出来高である。

注2:大阪堂島商品取引所においては、平成25年2月28日現在、海外の商品先物取引業者のうち、取引所において把握している者の取引実績はない。

④ 米穀と他の商品(東商取)の出来高合計の比較
【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

【平成23年8月8日～平成25年2月28日(385営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	374,957	973	11,289	379
東京コメ	114,894	298	6,765	0
大阪コメ	260,063	675	11,289	254
とうもろこし	1,136,241	2,951	12,738	603
一般大豆	989,172	2,569	14,641	336
小豆	129,779	337	1,839	22
粗糖	48,187	125	2,121	0

【平成24年12月(19営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	13,292	700	968	379
東京コメ	2,698	142	325	13
大阪コメ	10,594	558	844	254
とうもろこし	36,805	1,937	3,946	603
一般大豆	26,705	1,406	2,827	336
小豆	2,484	131	489	48
粗糖	5,401	284	2,043	4

【平成25年1月(19営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	14,473	762	1,220	387
東京コメ	3,893	205	724	35
大阪コメ	10,580	557	699	352
とうもろこし	41,727	2,196	4,348	1,110
一般大豆	23,926	1,259	2,946	483
小豆	2,340	123	316	43
粗糖	3,831	202	2,121	0

【2月(19営業日)】

(単位:枚)

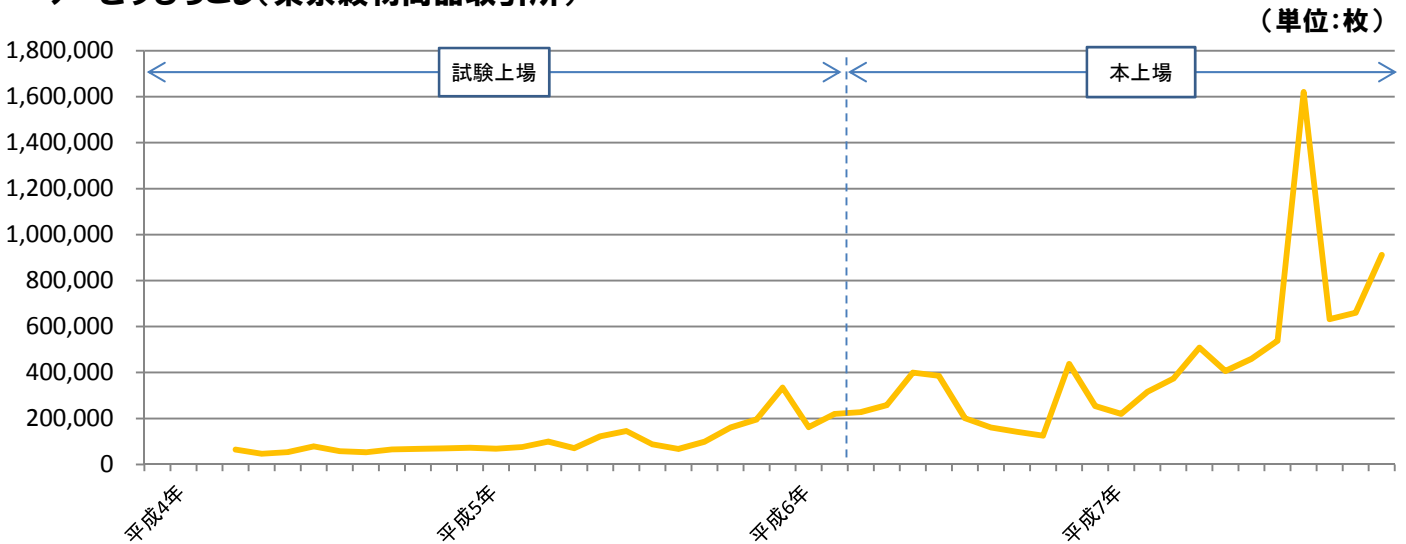
	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	13,547	713	1,754	532
東京コメ	2,427	128	689	36
大阪コメ	11,120	585	1,065	492
とうもろこし	45,119	2,375	3,230	853
一般大豆	39,467	2,077	3,215	754
小豆	2,565	135	366	22
粗糖	332	17	69	0

注1:出来高合計、1日平均(小数点以下は四捨五入)、最高、最低出来高は、出来高の状況を平成23年8月8日～平成25年2月28日までの期間及び平成24年12月～平成25年2月までの各1か月間ごとに取りまとめたものである。最高又は最低出来高は、各期間中の1日の出来高のうち最高又は最低のもの。

注2:平成25年2月12日に、東京穀物商品取引所の農産物市場は、大阪堂島商品取引所(米穀)及び東京商品取引所(一般大豆、とうもろこし、小豆及び粗糖)に移管されている。

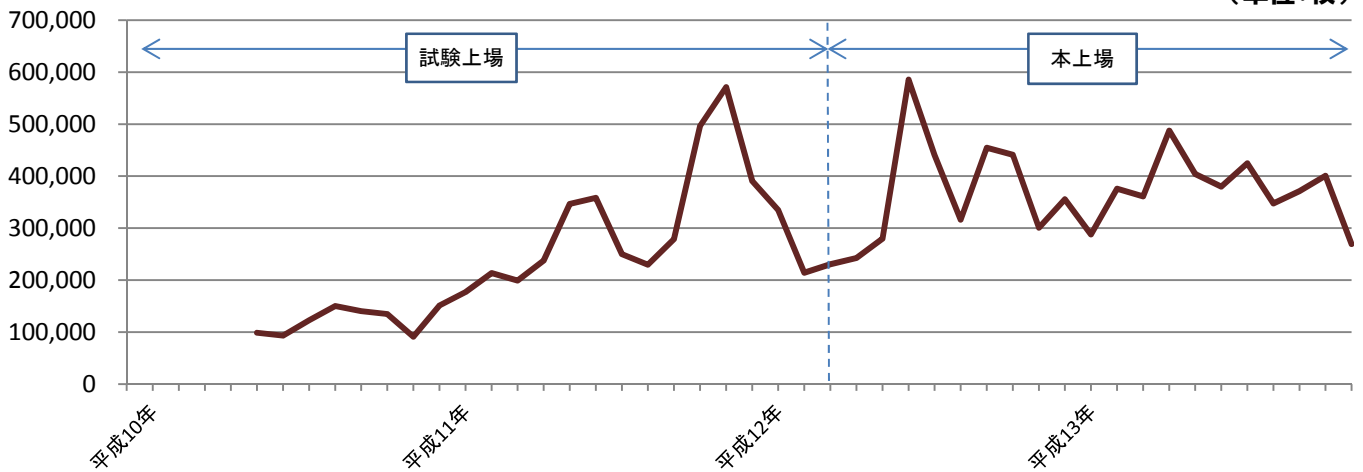
(参考) 過去の新規上場後の出来高推移の例

ア どうもろこし(東京穀物商品取引所)



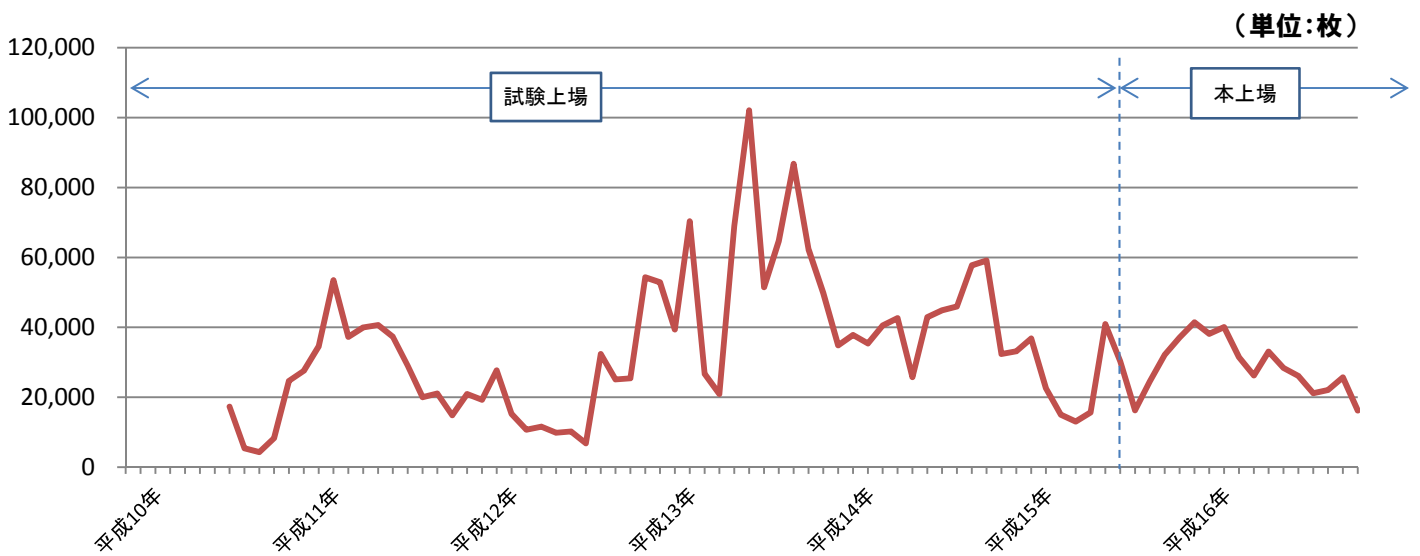
注:平成4年4月に東京穀物商品取引所で試験上場し、平成6年4月に本上場。

イ アラビカコーヒー生豆(東京穀物商品取引所)



注:平成10年6月に東京穀物商品取引所で試験上場し、平成12年4月に本上場。

ウ 国際穀物等指数(関西商品取引所)

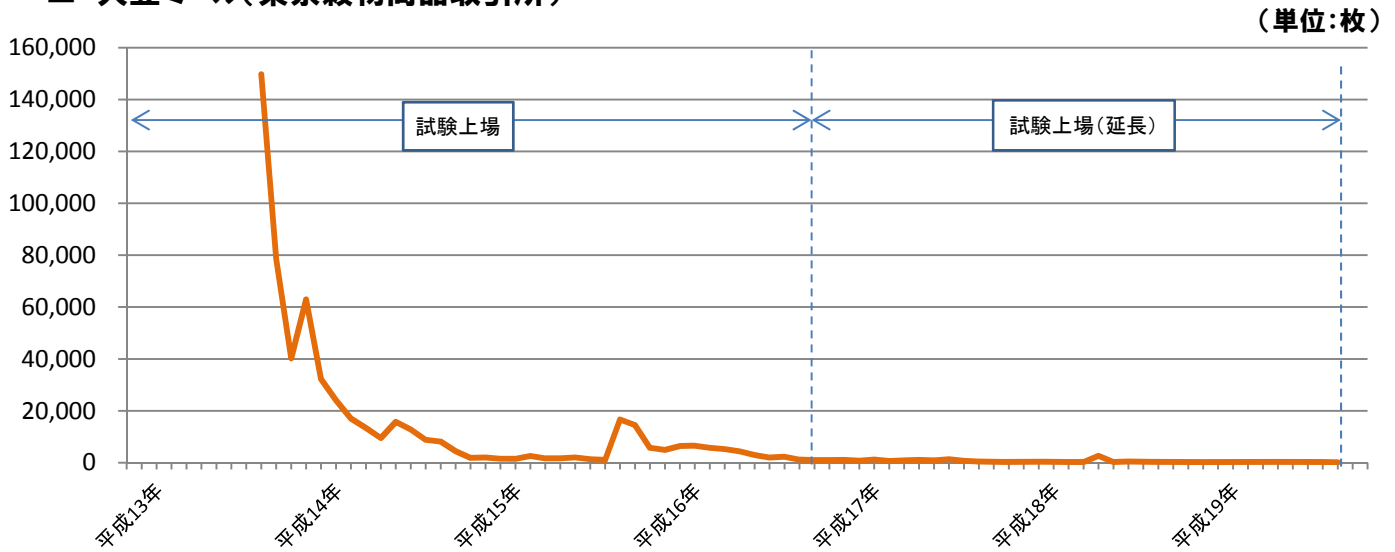


注:平成10年8月に関西商品取引所で試験上場し、平成15年8月に本上場。

資料:社団法人全国商品取引所連合会「商品取引所年報」

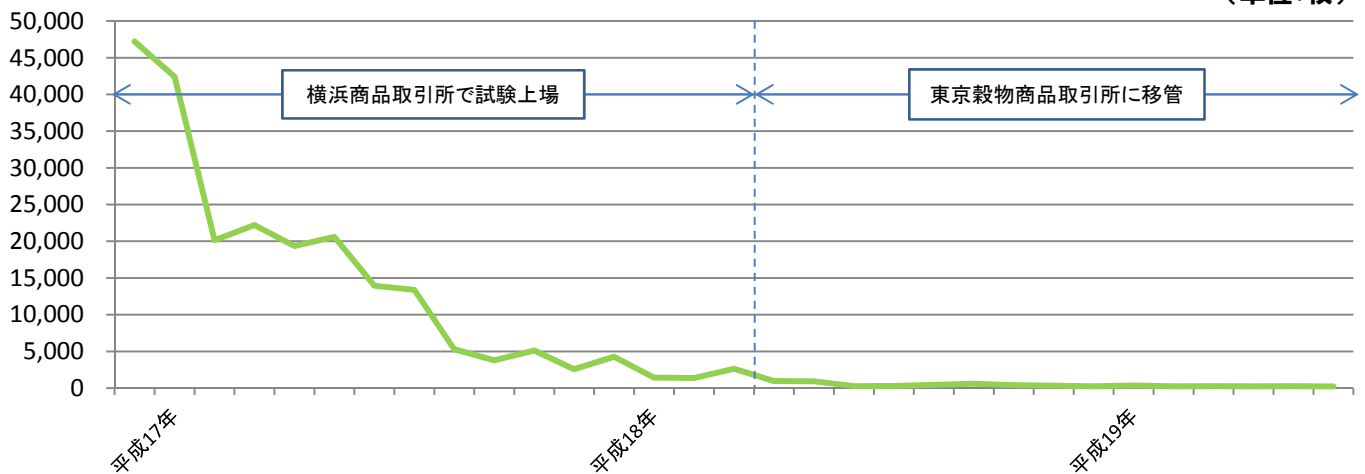
(参考) 過去の新規上場後の出来高推移の例

エ 大豆ミール(東京穀物商品取引所)



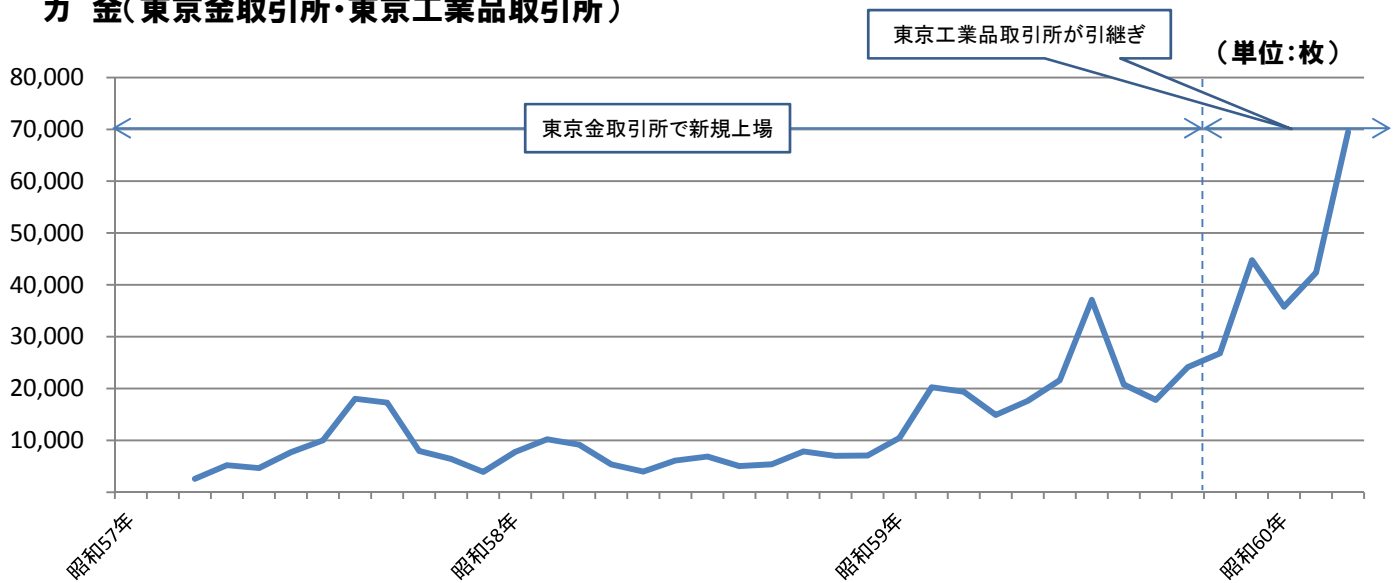
注:平成13年10月に東京穀物商品取引所で試験上場し、平成16年10月に試験上場を延長。

オ 野菜指数(横浜商品取引所・東京穀物商品取引所)



注:平成16年12月に横浜商品取引所で試験上場し、平成18年4月に東京穀物商品取引所に移管。

カ 金(東京金取引所・東京工業品取引所)



注:昭和57年3月に東京金取引所で新規上場し、昭和59年11月に東京繊維商品取引所・東京ゴム取引所・東京金取引所の統合により設立された東京工業品取引所(現・東京商品取引所)に引き継がれている。

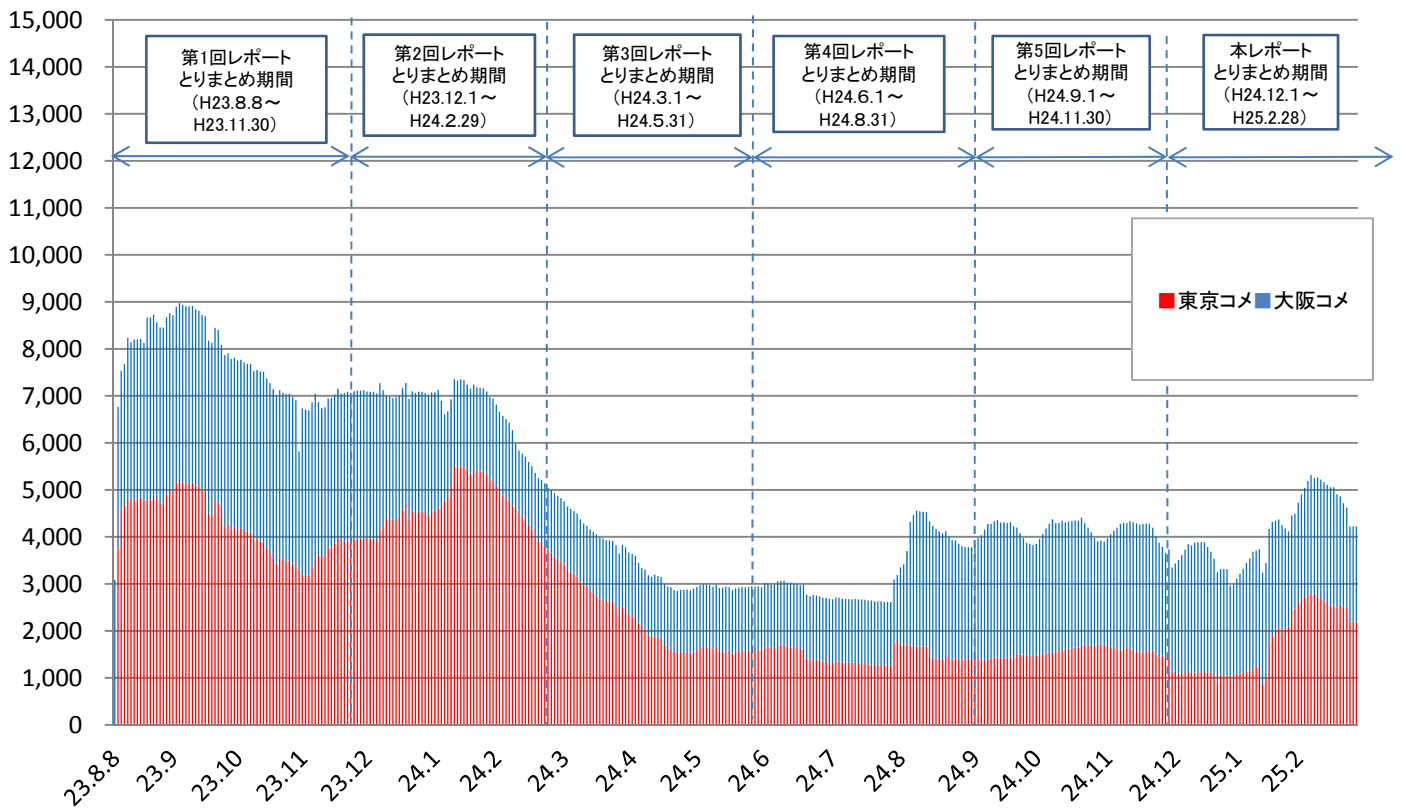
資料: 社団法人全国商品取引所連合会「商品取引所年報」

(3) 取組高、取引参加者の動向

取組高：商品市場で成立した売買契約のうち、まだ、決済されず、市場に残っている売買契約数量(売り・買いセットで1枚とカウント)。

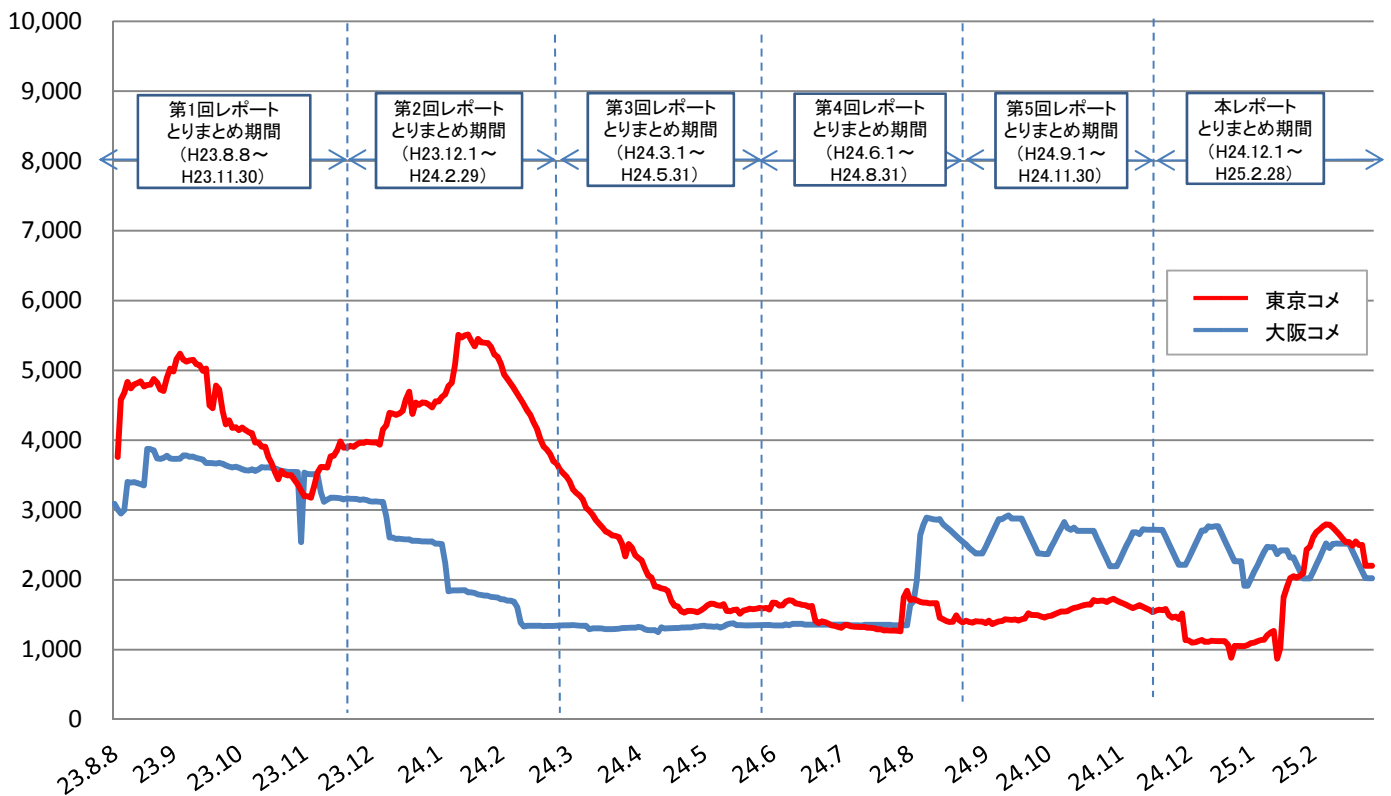
①-1 取組高(東京コメ、大阪コメ合計)の推移
【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

(単位:枚)



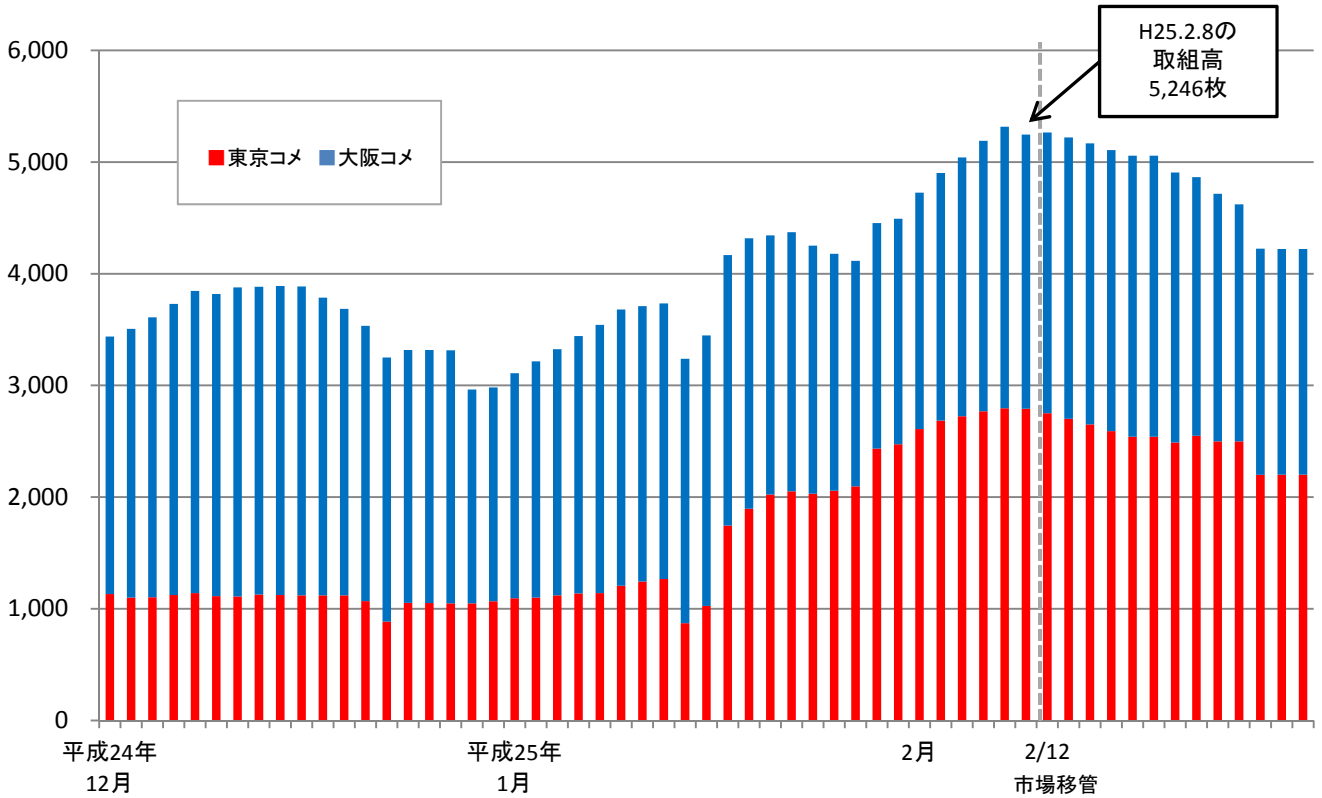
②-1 取組高の推移【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

(単位:枚)



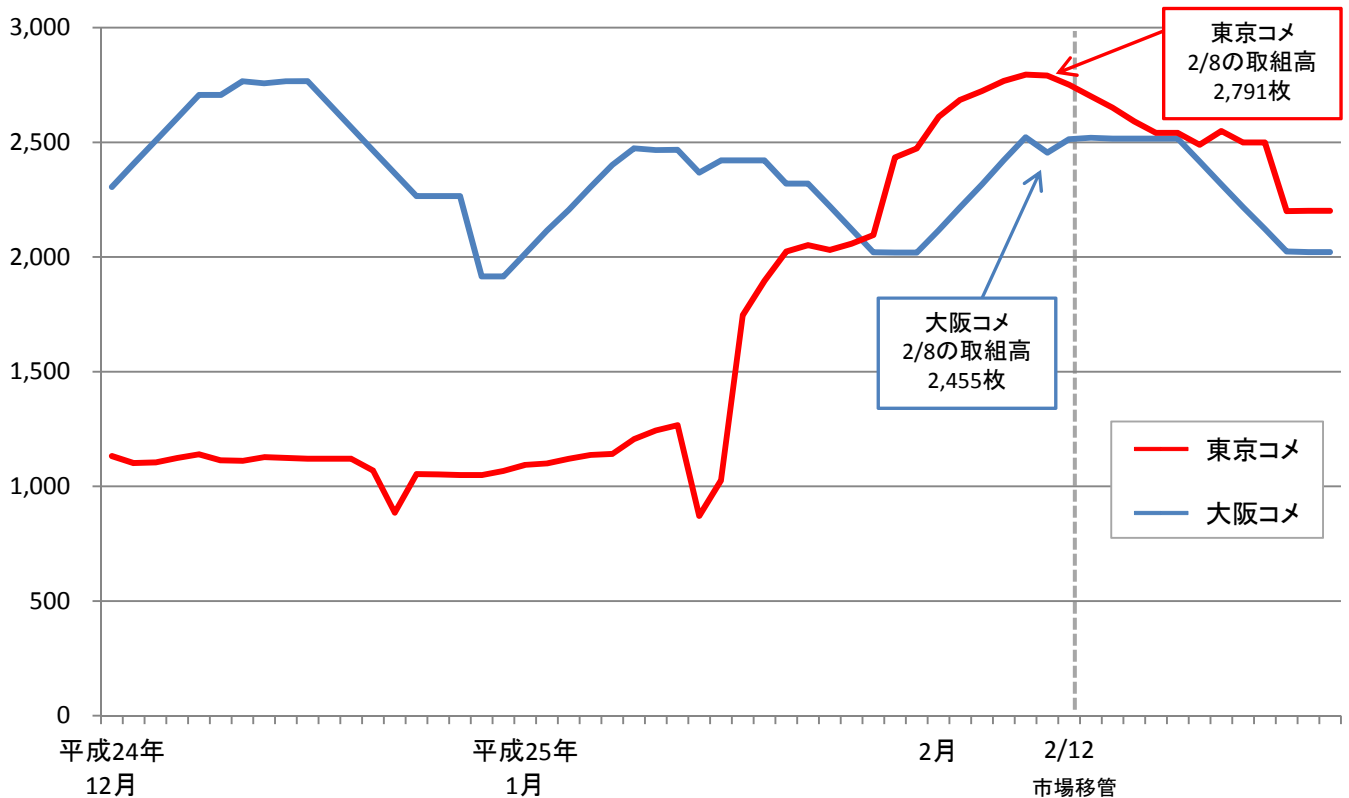
①-2 取組高(東京コメ、大阪コメ合計)の推移【平成24年12月1日～平成25年2月28日】

(単位:枚)



②-2 取組高の推移【平成24年12月1日～平成25年2月28日】

(単位:枚)



③ 限月別の取組高の状況

ア 東京コメ

(単位:枚)

	23年 11月限	12月限	24年 1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	25年 1月限	合計
平成23年 8月31日現在	78	792	2,358	1,797	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,025
9月30日現在	76	515	1,298	1,340	956	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,185
10月31日現在	51	393	904	582	845	503	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,278
11月30日現在	-	348	807	457	544	1,321	500	-	-	-	-	-	-	-	-	3,977
12月30日現在	-	-	345	351	516	1,213	1,489	642	-	-	-	-	-	-	-	4,556
平成24年 1月31日現在	-	-	-	255	457	1,058	1,120	1,544	761	-	-	-	-	-	-	5,195
2月29日現在	-	-	-	-	295	480	697	1,259	450	298	-	-	-	-	-	3,479
3月30日現在	-	-	-	-	-	306	488	821	224	351	162	-	-	-	-	2,352
4月27日現在	-	-	-	-	-	-	193	528	178	332	199	131	-	-	-	1,561
5月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	331	166	147	223	517	191	-	-	1,575
6月29日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	109	94	159	331	315	318	-	1,326
7月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63	106	293	227	668	486	1,843

	24年 9月限	10月限	11月限	12月限	25年 1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	8月限	合計
8月31日現在	65	122	65	514	482	152	-	-	-	-	-	-	1,400
9月28日現在	-	82	57	516	514	171	121	-	-	-	-	-	1,461
10月31日現在	-	-	41	511	546	246	284	75	-	-	-	-	1,703
11月30日現在	-	-	-	271	452	124	136	89	65	-	-	-	1,137
12月28日現在	-	-	-	-	428	78	131	134	131	165	-	-	1,067
平成25年 1月31日現在	-	-	-	-	-	62	65	191	319	544	1,292	-	2,473
2月28日現在	-	-	-	-	-	-	77	195	321	743	804	61	2,201

注:各限月ごとの各月末日の取組高を表している。

イ 大阪コメ

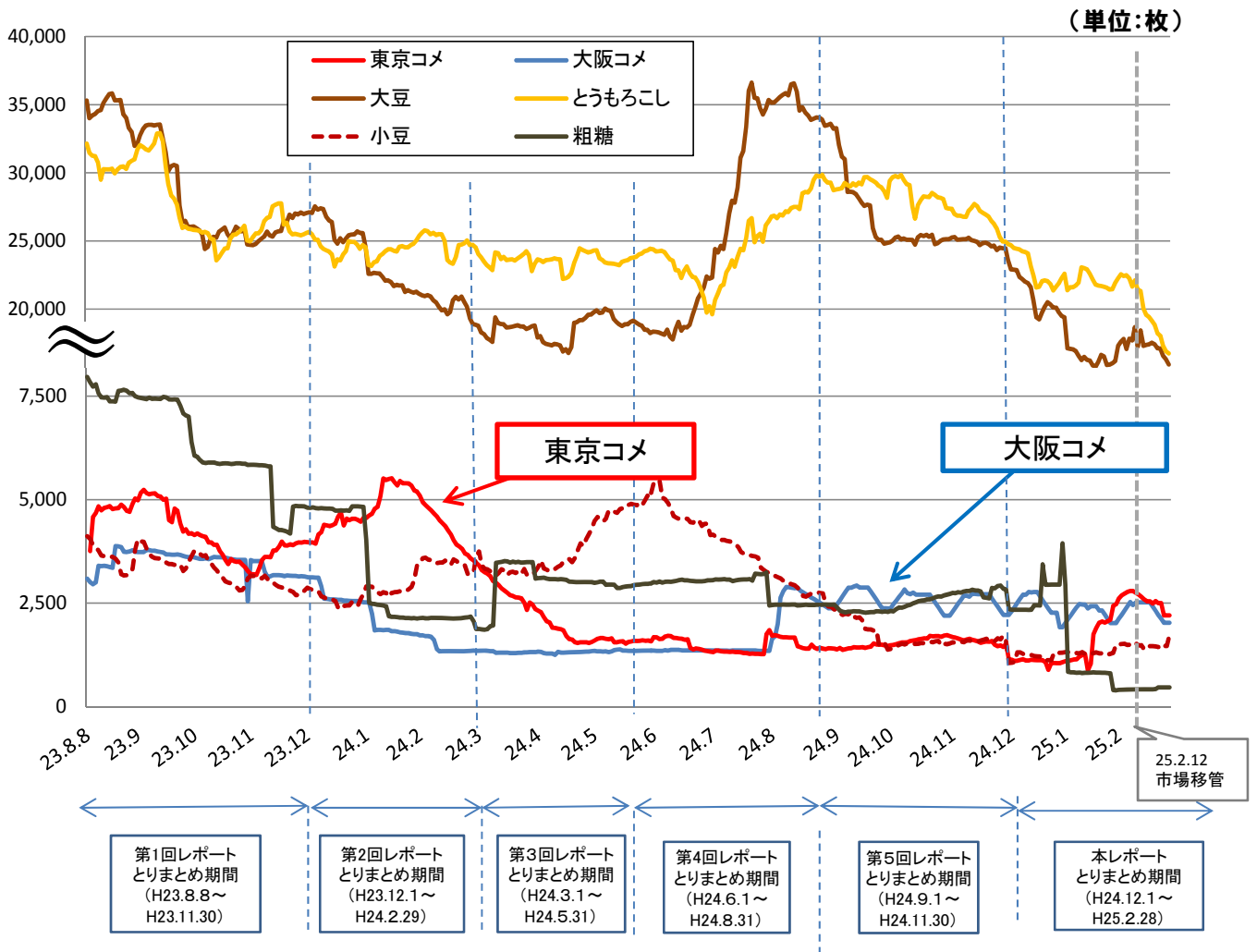
(単位:枚)

	23年 11月限	12月限	24年 1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	25年 1月限	合 計
平成23年 8月31日現在	421	502	806	2,009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,738
9月30日現在	381	502	729	1,378	630	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,620
10月31日現在	385	500	682	724	139	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,540
11月30日現在	-	499	632	695	86	615	615	-	-	-	-	-	-	-	-	3,142
12月30日現在	-	-	597	604	75	65	591	586	-	-	-	-	-	-	-	2,518
平成24年 1月31日現在	-	-	-	407	74	64	41	600	562	-	-	-	-	-	-	1,748
2月29日現在	-	-	-	-	59	63	40	50	562	572	-	-	-	-	-	1,346
3月30日現在	-	-	-	-	-	57	50	50	12	584	561	-	-	-	-	1,314
4月27日現在	-	-	-	-	-	-	41	46	14	24	570	643	-	-	-	1,338
5月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	25	12	23	18	691	584	-	-	1,353
6月29日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	12	20	18	141	600	567	-	1,358
7月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	18	141	42	566	560	1,347

	24年 9月限	10月限	11月限	12月限	25年 1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	8月限	合 計
8月31日現在	10	141	41	316	1,060	810	-	-	-	-	-	-	2,378
9月28日現在	-	131	41	16	760	660	760	-	-	-	-	-	2,368
10月31日現在	-	-	35	20	360	460	560	760	-	-	-	-	2,195
11月30日現在	-	-	-	12	362	160	360	560	761	-	-	-	2,215
12月28日現在	-	-	-	-	14	160	60	360	561	760	-	-	1,915
平成25年 1月31日現在	-	-	-	-	-	62	60	60	360	564	913	-	2,019
2月28日現在	-	-	-	-	-	-	60	60	60	359	710	772	2,021

注:各限月ごとの各月末日の取組高を表している。

④ 米穀と他の商品(東商取)の取組高の推移【平成23年8月8日～平成25年2月28日】



注：平成25年2月8日までの米穀以外の商品については、東京穀物商品取引所における取組高。

(参考)

建玉制限：取引所において、以下のとおり一般投資家一人当たりの取引数量（建玉数）を制限。

【東京コメ】

- 1 番限 300枚（7月限、8月限及び9月限の場合100枚）
- 2 番限 500枚
- 3 番限 1,000枚
- 4 番限以降 2,000枚

【大阪コメ】

- 1 番限 100枚
- 2 番限 350枚
- 3 番限 500枚
- 4 番限 1,500枚
- 5 番限以降 2,000枚

※ 上記は一般投資家の売り又は買いのそれぞれの建玉上限。当業者、商品先物取引業者等については制限を緩和。

※ 1番限とは、最も早く決済期限が到来するものであり、1番限から決済期限がより先のものに向かって2番限、3番限と数える。平成25年2月28日現在、米穀の場合は、1番限が3月限、2番限が4月限、3番限が5月限、4番限が6月限、5番限が7月限、6番限が8月限。

(4) 現物受渡しの状況【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

米先物取引の試験上場においては、実際に米穀を受け渡すことにより、取引を決済することが可能。平成23年8月8日から平成25年2月28日までの受渡し状況は以下のとおり。

① 限月別の現物受渡しの状況

ア 東京コメ

限月	年産	銘柄	取引枚数(玄米重量)	備考
平成23年11月限	23	コシヒカリ(茨城県産)	8枚(48トン)	うち、2枚(12トン)は早受渡し
	23	コシヒカリ(福島県会津産)	10枚(60トン)	
12月限	23	はえぬき(山形県産)	10枚(60トン)	早受渡し
	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	112枚(672トン)	
平成24年1月限	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	30枚(180トン)	うち、24枚(144トン)は早受渡し
2月限	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	20枚(120トン)	うち、14枚(84トン)は早受渡し
3月限	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	32枚(192トン)	早受渡し
	23	コシヒカリ(福島県会津産)	18枚(108トン)	
4月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	26枚(156トン)	うち、8枚(48トン)は早受渡し
5月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	6枚(36トン)	
6月限	23	コシヒカリ(福島県浜通り産)	2枚(12トン)	合意早受渡し
	23	コシヒカリ(福島県会津産)	48枚(288トン)	うち、22枚(132トン)は早受渡し
	23	コシヒカリ(新潟県産)	8枚(48トン)	うち、2枚(12トン)は早受渡し
7月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	28枚(168トン)	早受渡し
	23	コシヒカリ(新潟県産)	12枚(72トン)	
	23	コシヒカリ(新潟県産)2等	2枚(12トン)	
8月限	23	コシヒカリ(新潟県産)	14枚(84トン)	
9月限	23	コシヒカリ(新潟県産)	10枚(60トン)	
10月限	23	コシヒカリ(新潟県産)	6枚(36トン)	
	24	コシヒカリ(新潟県産)	12枚(72トン)	
	24	コシヒカリ(新潟県産)2等	18枚(108トン)	
11月限	24	コシヒカリ(新潟県産)	8枚(48トン)	
	24	コシヒカリ(新潟県産)2等	18枚(108トン)	
12月限	24	コシヒカリ(新潟県産)	4枚(24トン)	
平成25年1月限	24	コシヒカリ(福島県中通り産)	2枚(12トン)	合意早受渡し
	24	コシヒカリ(新潟県産)	2枚(12トン)	
2月限	24	コシヒカリ(新潟県産)2等	2枚(12トン)	
平成23年8月8日以降の累積値			468枚(2,808トン)	うち、146枚(876トン)は早受渡し又は合意早受渡し

注1:取引枚数1枚は、東京コメは6トン(玄米)。

注2:早受渡しとは、納会日前に、受方又は渡方が取引所に申出を行い、それに対して渡方又は受方から応諾があった場合、納会日前に受渡しを成立させる制度。

注3:合意早受渡しとは、受渡当事者間の合意により、受渡銘柄・受渡場所・受渡日などを自由に設定できる制度。

注4:特に記載のない限り1等。

イ 大阪コメ

限月	年産	銘柄	取引枚数(玄米重量)	備考
平成23年11月限	23	コシヒカリ(埼玉県産)	10枚(30トン)	
	23	コシヒカリ(福島県会津産)	4枚(12トン)	
12月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	5枚(15トン)	
平成24年1月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	39枚(117トン)	
	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	17枚(51トン)	
2月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	52枚(156トン)	うち、2枚(6トン)は早受渡し
	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	90枚(270トン)	うち、83枚(249トン)は早受渡し
3月限	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	12枚(36トン)	うち、4枚(12トン)は早受渡し
	23	コシヒカリ(福島県会津産)	18枚(54トン)	
4月限	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	9枚(27トン)	うち、4枚(12トン)は早受渡し
	23	コシヒカリ(福島県会津産)	20枚(60トン)	
5月限	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	1枚(3トン)	
	23	コシヒカリ(福島県会津産)	8枚(24トン)	
	23	コシヒカリ(埼玉県産)	1枚(3トン)	
6月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	10枚(30トン)	
7月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	2枚(6トン)	
8月限	23	コシヒカリ(新潟県産)	4枚(12トン)	うち、2枚(6トン)は早受渡し
	23	コシヒカリ(新潟県産)2等	2枚(6トン)	うち、1枚(3トン)は早受渡し
9月限	-	-	-	
10月限	24	コシヒカリ(石川県産)	16枚(48トン)	早受渡し
	23	コシヒカリ(新潟県産)	28枚(84トン)	
	24	コシヒカリ(新潟県産)	4枚(12トン)	
11月限	24	コシヒカリ(新潟県産)	25枚(75トン)	
12月限	24	コシヒカリ(新潟県産)	1枚(3トン)	
平成25年1月限	24	コシヒカリ(新潟県産)	2枚(6トン)	
	24	コシヒカリ(新潟県産)2等	2枚(6トン)	
2月限	24	コシヒカリ(新潟県産)	3枚(9トン)	
	24	コシヒカリ(新潟県産)2等	1枚(3トン)	
3月限	24	コシヒカリ(福島県中通り産)	8枚(24トン)	合意早受渡し
平成23年8月8日以降の累積値			394枚(1,182トン)	うち、120枚(360トン)は早受渡し又は合意早受渡し

注1:取引枚数1枚は、大阪コメは3トン(玄米)。

注2:早受渡しとは、納会日前に、受方又は渡方が取引所に申出を行い、それに対して渡方又は受方から応諾があった場合、納会日前に受渡しを成立させる制度。

注3:合意早受渡しとは、受渡当事者間の合意により、受渡銘柄・受渡場所・受渡日などを自由に設定できる制度。

注4:特に記載のない限り1等。

② 産地品種銘柄の割合

ア 累積値

銘柄	取引枚数(玄米重量)		
	東京コメ	大阪コメ	合計
コシヒカリ(福島県産)	334枚 (2,004トン)	295枚 (885トン)	629枚 (2,889トン)
割合	71.4%	74.9%	72.4%
コシヒカリ(新潟県産)	116枚 (696トン)	72枚 (216トン)	188枚 (912トン)
割合	24.8%	18.3%	22.9%
はえぬき(山形県産)	10枚 (60トン)	-	10枚 (60トン)
割合	2.1%	-	1.5%
コシヒカリ(茨城県産)	8枚 (48トン)	-	8枚 (48トン)
割合	1.7%	-	1.2%
コシヒカリ(石川県産)	-	16枚 (48トン)	16枚 (48トン)
割合	-	4.1%	1.2%
コシヒカリ(埼玉県産)	-	11枚 (33トン)	11枚 (33トン)
割合	-	2.8%	0.8%
平成23年8月8日以降の累積値	468枚 (2,808トン)	394枚 (1,182トン)	862枚 (3,990トン)
割合	100.0%	100.0%	100.0%

イ 年産別累積値

23年産			24年産		
銘柄	取引枚数 (玄米重量)	割合	銘柄	取引枚数 (玄米重量)	割合
コシヒカリ(福島県産)	619枚 (2,853トン)	83.7%	コシヒカリ(新潟県産)	102枚 (498トン)	85.6%
コシヒカリ(新潟県産)	83枚 (414トン)	12.1%	コシヒカリ(石川県産)	16枚 (48トン)	8.2%
はえぬき(山形県産)	10枚 (60トン)	1.8%	コシヒカリ(福島県産)	10枚 (36トン)	6.2%
コシヒカリ(茨城県産)	8枚(48トン)	1.4%	平成23年8月8日以降の累積値	62枚 (186トン)	100.0%
コシヒカリ(埼玉県産)	11枚 (33トン)	1.0%			
平成23年8月8日以降の累積値	402枚 (2,412トン)	100.0%			

(参考)

受渡供用品：現物の受渡しは、以下の銘柄について、あらかじめ設定された価格調整表に基づき標準品（東京コメは、茨城、栃木及び千葉コシヒカリ、大阪コメは、石川及び福井コシヒカリ）に対して増額又は減額した価格で受渡しが可能（平成25年2月28日現在）。

東京コメ：

コシヒカリ（福島（会津・中通り・浜通り）、新潟、富山、石川、福井、長野、茨城、栃木、千葉、その他府県産）※その他府県産は、平成24年10月限以降に適用。

ひとめぼれ（岩手、宮城）、あきたこまち（秋田）、はえぬき（山形）、きらら397・ななつぼし（北海道）、つがるロマン・まっしぐら（青森）

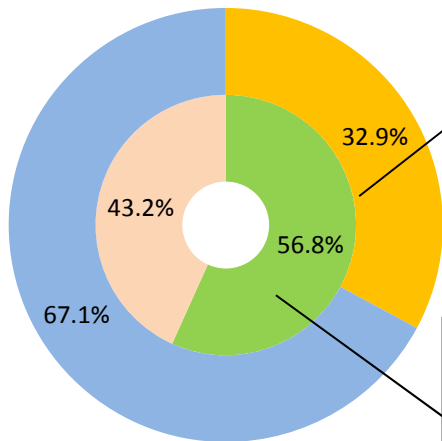
大阪コメ：コシヒカリ（全国）

(5) 取引参加者の構成

① 当業者・非当業者の割合

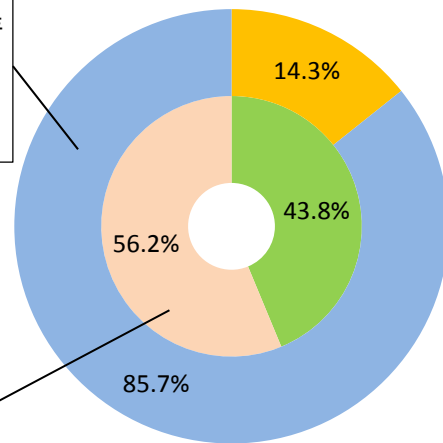
ア 東京コメ

各月末時点の割合の平均値
(平成25年2月まで)



イ 大阪コメ

各月末時点の割合の平均値
(平成25年2月まで)



【外側】
総建玉に占める当業者・非
当業者の割合

- 当業者(総建玉ベース)
- 非当業者(総建玉ベース)

【内側】
期近限月に占める当業者・
非当業者の割合

- 当業者(期近ベース)
- 非当業者(期近ベース)

		東京コメ		大阪コメ		合計	
		当業者	非当業者	当業者	非当業者	当業者	非当業者
各月末時点の 割合の平均値 (平成25年 2月まで)	総建玉に占める割合	32.9%	67.1%	14.3%	85.7%	22.2%	77.8%
	期近限月に占める割合	56.8%	43.2%	43.8%	56.2%	57.5%	42.5%
平成24年12月末	総建玉に占める割合	73.6%	26.4%	13.3%	86.7%	34.9%	65.1%
	期近限月に占める割合	96.8%	3.2%	28.6%	71.4%	94.7%	5.3%
平成25年1月末	総建玉に占める割合	41.9%	58.1%	14.8%	85.2%	29.7%	70.3%
	期近限月に占める割合	90.3%	9.7%	80.6%	19.4%	85.5%	14.5%
2月末	総建玉に占める割合	15.5%	84.5%	15.1%	84.9%	15.3%	84.7%
	期近限月に占める割合	79.2%	20.8%	83.3%	16.7%	81.0%	19.0%

注1:東京穀物商品取引所及び大阪堂島商品取引所において把握している当業者・非当業者の割合を表している。

注2:総建玉に占める当業者・非当業者の割合は、平成23年8月以降の各月末平均値。期近限月に占める当業者・非当業者の割合は、平成23年12月以降の各月末平均値。

注3:当業者とは、米の売買、売買の媒介、取次ぎ若しくは代理、生産、加工又は使用を業として行っている者(生産者、卸・小売業者、米加工品製造業者、外食事業者等)。

② 自己取引、委託取引の割合(平成25年2月28日現在)

(単位:枚)

	売				買				総建玉数	
	自己		委託		自己		委託			
	枚数	割合	枚数	割合	枚数	割合	枚数	割合	枚数	割合
東京コメ	1,158	52.6%	1,043	47.4%	1,158	52.6%	1,043	47.4%	2,201	100.0%
大阪コメ	210	10.4%	1,811	89.6%	222	11.0%	1,799	89.0%	2,021	100.0%
合計	1,368	32.4%	2,854	67.6%	1,380	32.7%	2,842	67.3%	4,222	100.0%

注: 自己取引とは、商品先物取引業者が自己資金で行う売買であり、委託取引とは、商品先物取引業者が多数の顧客から委託を受けて、当該顧客の資金で行う売買をいう。

③ 建玉報告対象者の割合

建玉報告対象者: 米穀の先物市場においては、21枚以上(東京コメは玄米重量で126トン、大阪コメは玄米重量で63トン)の建玉を有する者。

ア 東京コメ(平成25年2月28日現在)

(単位:枚)

	売		買	
	枚数	割合	枚数	割合
全取引参加者の総建玉数	2,201	100.0%	2,201	100.0%
うち建玉報告対象者の建玉数	2,136	97.0%	2,123	96.5%

イ 大阪コメ(平成25年2月28日現在)

(単位:枚)

	売		買	
	枚数	割合	枚数	割合
全取引参加者の総建玉数	2,021	100.0%	2,021	100.0%
うち建玉報告対象者の建玉数	1,953	96.6%	1,960	97.0%

(参考) 他の上場商品の建玉報告対象者の割合(東京商品取引所)(平成25年2月28日現在)

(単位:枚)

		売		買	
		枚数	割合	枚数	割合
とうもろこし	全取引参加者の総建玉数	16,746	100.0%	16,746	100.0%
	うち建玉報告対象者の建玉数	12,790	76.4%	10,234	61.1%
一般大豆	全取引参加者の総建玉数	15,934	100.0%	15,934	100.0%
	うち建玉報告対象者の建玉数	13,448	84.4%	10,894	68.4%

注: 商品先物取引法第112条第2号に基づき、商品取引所は、それぞれの商品先物市場において一定の建玉(米穀については21枚以上、東京商品取引所のとうもろこし及び一般大豆については51枚以上)を有する者の建玉の状況等を、毎日、主務大臣に報告することとされている。

3. 関連情報

(1) 米の取引価格及び数量

① 相対取引価格・数量

ア 相対取引価格(平成24年産米の主な産地銘柄別、平成25年1月)(速報)

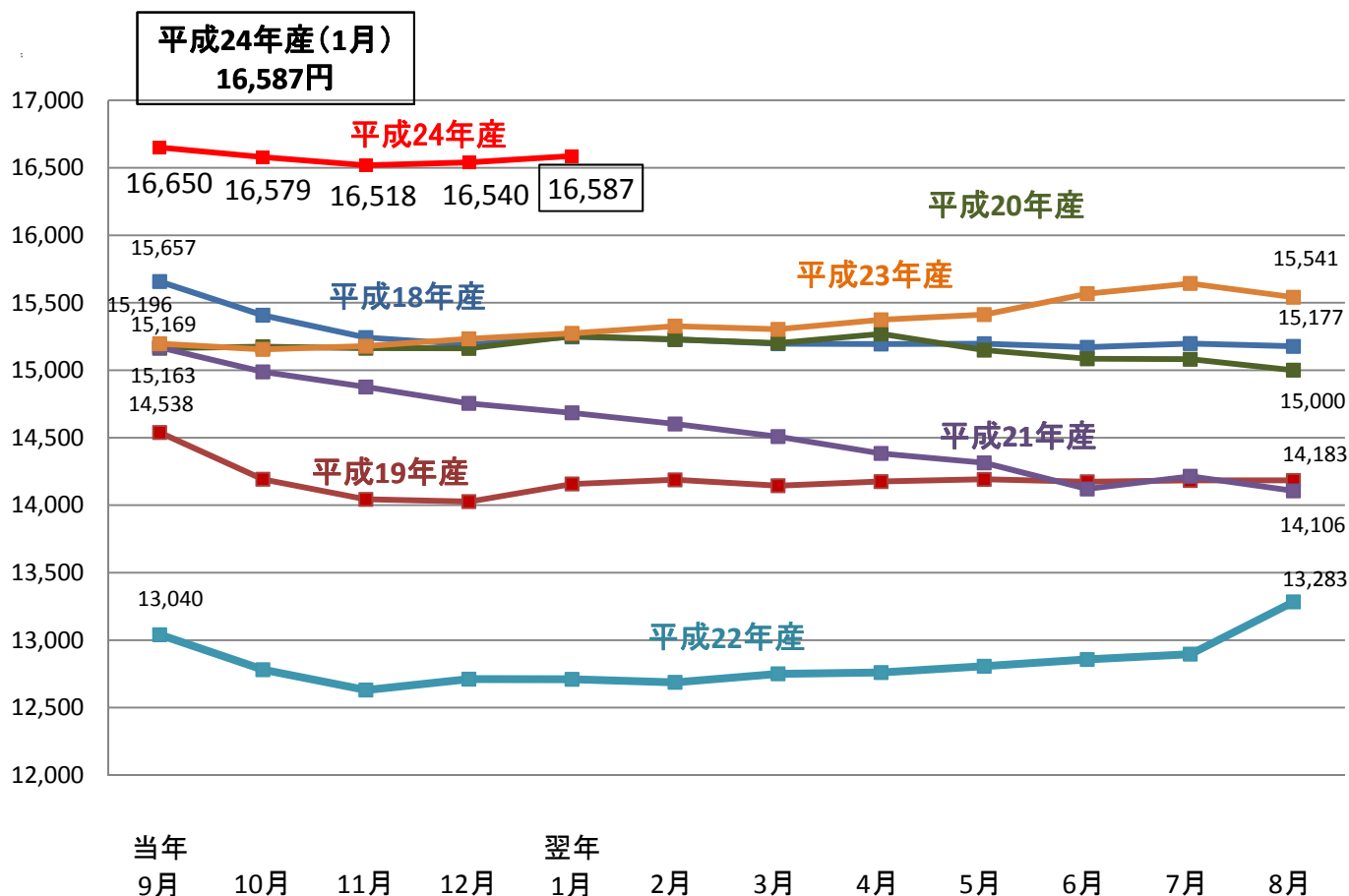
(単位:円/玄米60kg)

産地	品種銘柄 (地域区分)	25年1月 ①	【参考】				
			24年12月 ②	対前月比 ①/②	24年1月 (23年産) ③	対前年 同期比 ①/③	
北海道	北海道 きらら397	15,612	15,496	(101%)	14,124	(111%)	
	北海道 ななつぼし	15,624	15,444	(101%)	14,397	(109%)	
東北	青森 つがるロマン	—	15,529	—	13,672	—	
	青森 まっしぐら	15,316	15,336	(100%)	13,589	(113%)	
	岩手 ひとめぼれ	15,902	16,074	(99%)	14,311	(111%)	
	岩手 あきたこまち	16,020	16,023	(100%)	14,345	(112%)	
	宮城 ひとめぼれ	16,457	16,350	(101%)	14,753	(112%)	
	宮城 ササニシキ	16,726	16,690	(100%)	14,648	(114%)	
	秋田 あきたこまち	16,990	16,911	(100%)	15,289	(111%)	
	山形 はえぬき	16,250	16,017	(101%)	14,294	(114%)	
	福島 コシヒカリ	16,988	16,982	(100%)	—	—	
	福島 コシヒカリ	16,192	16,034	(101%)	—	—	
	福島 コシヒカリ	—	—	—	—	—	
関東・東山	茨城 コシヒカリ	16,897	17,054	(99%)	15,533	(109%)	
	栃木 コシヒカリ	16,809	16,869	(100%)	15,457	(109%)	
	埼玉 彩のかがやき	15,798	—	—	14,176	(111%)	
	千葉 コシヒカリ	16,987	16,819	(101%)	15,767	(108%)	
	長野 コシヒカリ	16,778	16,706	(100%)	15,907	(105%)	
	新潟 コシヒカリ	18,296	18,506	(99%)	18,760	(98%)	
	新潟 コシヒカリ	24,257	23,973	(101%)	—	—	
	新潟 コシヒカリ	—	18,871	—	—	—	
	新潟 コシヒカリ	18,786	18,923	(99%)	—	—	
	北陸	富山 コシヒカリ	16,409	16,979	(97%)	16,021	(102%)
	石川 コシヒカリ	17,020	16,958	(100%)	—	—	
東海・近畿	福井 コシヒカリ	17,073	16,996	(100%)	16,102	(106%)	
	福井 ハナエチゼン	15,807	15,718	(101%)	14,704	(108%)	
	三重 コシヒカリ	17,007	16,906	(101%)	—	—	
	滋賀 コシヒカリ	—	17,157	—	16,068	—	
	滋賀 キヌヒカリ	—	15,939	—	—	—	
	兵庫 コシヒカリ	—	17,081	—	—	—	
	鳥取 コシヒカリ	—	—	—	—	—	
	中国・四国	島根 コシヒカリ	17,291	17,334	(100%)	15,813	(109%)
		広島 コシヒカリ	16,336	15,826	(103%)	15,025	(109%)
		山口 コシヒカリ	16,953	16,976	(100%)	15,365	(110%)
		徳島 コシヒカリ	—	—	—	—	—
香川 ヒノヒカリ		15,927	15,936	(100%)	14,645	(109%)	
高知 コシヒカリ		—	—	—	—	—	
福岡 ヒノヒカリ		16,184	16,059	(101%)	14,553	(111%)	
佐賀 夢しずく		—	—	—	—	—	
九州	熊本 ヒノヒカリ	—	—	—	—	—	
	大分 ヒノヒカリ	16,658	—	—	—	—	
	宮崎 コシヒカリ	—	—	—	—	—	
	鹿児島 ヒノヒカリ	—	—	—	—	—	
全銘柄平均価格		16,587	16,540	(100%)	15,273	(109%)	

- 注1:相対取引価格は、運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格(なお、米穀の先物取引の価格は、取引所が指定する倉庫の置き場渡し、包装代込み、消費税相当額抜き)の1等米の価格)。
- 注2:相対取引価格は、ア. 全国出荷団体、イ. 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ. 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。
- 注3:相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引が適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。
- 注4:産地銘柄は、報告対象産地銘柄のうち、23年産の農産物検査受検数量原則15,000トン以上のものであり、月1,000トン以上の取引があったものである。
- 注5:全銘柄平均価格は、報告対象産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。
- 資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

イ 相対取引価格の推移(年産別全銘柄平均価格)

(単位：円/玄米60kg)



注1：相対取引価格は、ア. 全国出荷団体、イ. 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ. 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点に基づいて)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

注2：相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引が適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

注3：全銘柄平均価格は、報告対象産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

**ウ 23年産米相対取引基準価格(全農)の推移
(全農公表資料をもとに農林水産省において算出)**

(単位：円60kg、建値：基準地着、1等、包装代・消費税込み)

期間	相対取引基準価格(全農)	相対取引価格 (農林水産省)	期間	相対取引基準価格(全農)	相対取引価格 (農林水産省)
23年 8/8~	15,912 (1)	非公表	2/6~	16,009 (57)	15,327 (107)
8/15~	15,408 (2)		2/13~	16,009 (57)	
8/22~	15,584 (5)		2/20~	16,009 (57)	
8/29~	16,120 (11)		2/27~	16,009 (57)	
9/5~	16,006 (19)	15,196 (84)	3/5~	16,009 (57)	15,303 (107)
9/12~	16,848 (29)		3/12~	16,009 (57)	
9/20~	16,638 (32)		3/19~	16,009 (57)	
9/26~	16,101 (43)		3/26~	16,009 (57)	
10/3~	15,887 (56)	15,154 (108)	4/2~	16,009 (57)	15,374 (101)
10/11~	15,887 (56)		4/9~	16,009 (57)	
10/17~	15,888 (56)		4/16~	16,009 (57)	
10/24~	15,884 (57)		4/23~	16,009 (57)	
10/31~	15,884 (57)	15,178 (106)	5/7~	16,009 (57)	15,412 (98)
11/7~	16,032 (57)		5/14~	16,009 (57)	
11/14~	16,032 (57)		5/21~	16,009 (57)	
11/21~	16,032 (57)		5/28~	16,009 (57)	
11/28~	16,032 (57)	15,233 (107)	6/4~	16,009 (57)	15,567 (102)
12/5~	16,032 (57)		6/11~	16,009 (57)	
12/12~	16,032 (57)		6/18~	16,009 (57)	
12/19~	16,032 (57)		6/25~	16,009 (57)	
12/26~	16,032 (57)	15,273 (107)	7/2~	16,009 (57)	15,643 (98)
24年 1/10~	16,032 (57)		7/9~	16,009 (57)	
1/16~	16,065 (57)		7/17~	16,009 (57)	
1/23~	16,065 (57)		7/23~	16,009 (57)	
1/30~	16,009 (57)		7/30~	16,009 (57)	

注1：相対取引基準価格(全農)は、全農が公表した全産地銘柄の相対取引基準価格を基に、農林水産省において、消費税及び包装代(154円/60kg)を加算し、前年産の検査数量ウエイトを用いて加重平均したもの。

注2：相対取引基準価格(全農)の欄の括弧内の数字は、全農が公表した相対取引基準価格の産地銘柄数。

注3：相対取引価格(農林水産省)の欄の括弧内の数字は、農林水産省が公表している相対取引価格の全銘柄平均価格の算出に用いた産地銘柄数。

出典：農林水産省「米に関するマンスリーレポート(平成24年9月7日公表)」

エ 相対取引数量(累積数量、平成24年産米の主な産地銘柄別、平成25年2月)(速報)

(単位：玄米トン)

産地	品種銘柄 (地域区分)	24年産 (25年1月まで)	(前年比)	(前々年比)	23年産 (24年1月まで)	22年産 (23年1月まで)
		①	①/②	①/③	②	③
北海道	北海道 きらら397	99,733	(100%)	(109%)	100,114	91,762
	北海道 ななつぼし	147,770	(107%)	(156%)	137,581	94,778
東北	青森 つがるロマン	22,560	(69%)	(100%)	32,523	22,516
	青森 まっしぐら	55,754	(112%)	(430%)	49,763	12,971
	岩手 ひとめぼれ	93,405	(93%)	(180%)	100,092	51,814
	岩手 あきたこまち	22,875	(93%)	(119%)	24,724	19,264
	宮城 ひとめぼれ	125,290	(122%)	(205%)	102,525	61,008
	宮城 ササニシキ	8,326	(81%)	(111%)	10,335	7,479
	秋田 あきたこまち	107,276	(83%)	(74%)	129,714	145,217
	山形 はえめき	54,855	(96%)	(147%)	57,058	37,394
	福島 コシヒカリ 会津	22,515	(256%)	(67%)	8,785	33,754
	福島 コシヒカリ 中通り	15,178	(148%)	(70%)	10,273	21,601
	福島 コシヒカリ 浜通り	207	(115%)	(1%)	181	14,457
関東・東山	福島 ひとめぼれ	10,464	(103%)	(29%)	10,116	35,805
	茨城 コシヒカリ	46,161	(112%)	(106%)	41,047	43,548
	栃木 コシヒカリ	82,523	(105%)	(91%)	78,771	90,768
	埼玉 彩のかがやき	6,935	(84%)	(447%)	8,223	1,552
	千葉 コシヒカリ	34,857	(105%)	(91%)	33,177	38,444
	長野 コシヒカリ	39,086	(125%)	(83%)	31,147	47,315
	新潟 コシヒカリ 一般	52,417	(70%)	(49%)	75,212	106,267
	新潟 コシヒカリ 魚沼	14,085	(74%)	(102%)	19,117	13,782
	新潟 コシヒカリ 佐渡	6,856	(58%)	(50%)	11,827	13,740
	新潟 コシヒカリ 岩船	6,626	(76%)	(56%)	8,742	11,848
	北陸	富山 コシヒカリ	64,677	(83%)	(88%)	77,619
石川 コシヒカリ		9,884	(101%)	(102%)	9,794	9,688
福井 コシヒカリ		14,076	(81%)	(108%)	17,388	13,006
福井 ハナエチゼン		15,570	(150%)	(96%)	10,414	16,154
三重 コシヒカリ 一般		12,471	(99%)	(77%)	12,583	16,187
滋賀 コシヒカリ		24,808	(164%)	(114%)	15,083	21,746
滋賀 キヌヒカリ		13,838	(212%)	(169%)	6,512	8,200
中国・四国	兵庫 コシヒカリ	5,483	(78%)	(83%)	6,993	6,569
	鳥取 コシヒカリ	3,587	(91%)	(48%)	3,959	7,396
	島根 コシヒカリ	11,660	(96%)	(104%)	12,152	11,235
	広島 コシヒカリ	10,132	(145%)	(78%)	6,972	12,922
	山口 コシヒカリ	6,473	(85%)	(85%)	7,597	7,658
	徳島 コシヒカリ	8,945	(101%)	(88%)	8,877	10,145
	香川 ヒノヒカリ	4,158	(84%)	(130%)	4,956	3,196
	高知 コシヒカリ	3,591	(79%)	(84%)	4,520	4,298
	福岡 ヒノヒカリ	9,887	(75%)	(102%)	13,207	9,740
	佐賀 夢しずく	5,062	(93%)	(129%)	5,464	3,933
九州	熊本 ヒノヒカリ	3,739	(95%)	(163%)	3,924	2,288
	大分 ヒノヒカリ	5,463	(121%)	(142%)	4,505	3,852
	宮崎 コシヒカリ	8,152	(132%)	(125%)	6,179	6,541
	鹿児島 ヒノヒカリ	1,910	(65%)	(357%)	2,957	536
	全銘柄合計契約数量	1,638,279	(98%)	(108%)	1,668,462	1,517,737

注1：相対取引数量は、ア. 全国団体、イ. 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ. 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者が、卸売業者等と主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)を行った数量である。なお、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

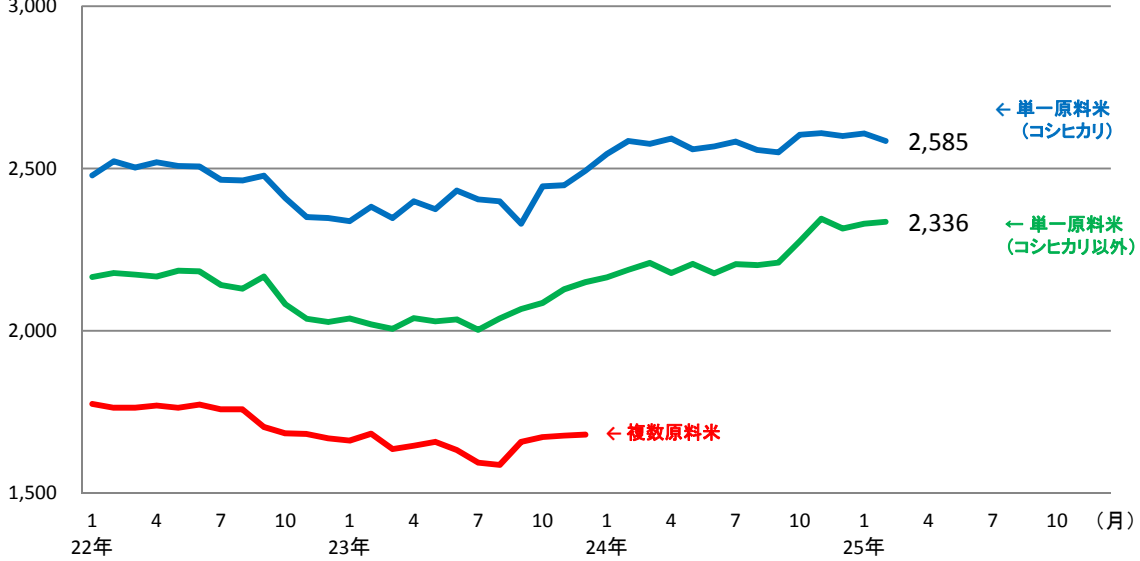
注2：産地銘柄は、報告対象産地銘柄のうち、23年産の農産物検査受検数量原則15,000トン以上のものであり、月1,000トン以上の取引があったものである。

注3：全銘柄合計契約数量は、農林水産省が公表している相対取引価格の報告対象銘柄の契約数量の合計。

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

② 小売物価統計による推移

(円/5kg)包装・消費税込み
3,000



(単位:円/5kg 包装・消費税込み)

	うるち米		
	単一原料米 (コシヒカリ)	単一原料米 (コシヒカリ以外)	複数原料米
平成17年	2,804	2,375	2,040
平成18年	2,744	2,341	1,996
平成19年	2,670	2,288	1,950
平成20年	2,610	2,270	1,832
平成21年	2,531	2,201	1,812
平成22年	2,462	2,136	1,739
平成23年	2,399	2,053	1,649
平成24年1月	2,545	2,165	-
2月	2,585	2,188	-
3月	2,576	2,209	-
4月	2,592	2,178	-
5月	2,559	2,206	-
6月	2,568	2,177	-
7月	2,583	2,205	-
8月	2,557	2,202	-
9月	2,550	2,210	-
10月	2,604	2,276	-
11月	2,609	2,345	-
12月	2,600	2,315	-
平成25年1月	2,608	2,330	-
2月	2,585	2,336	-

注1:東京都区部の数値である。

注2:特売を除いた価格である。

注3:精米ベースである。

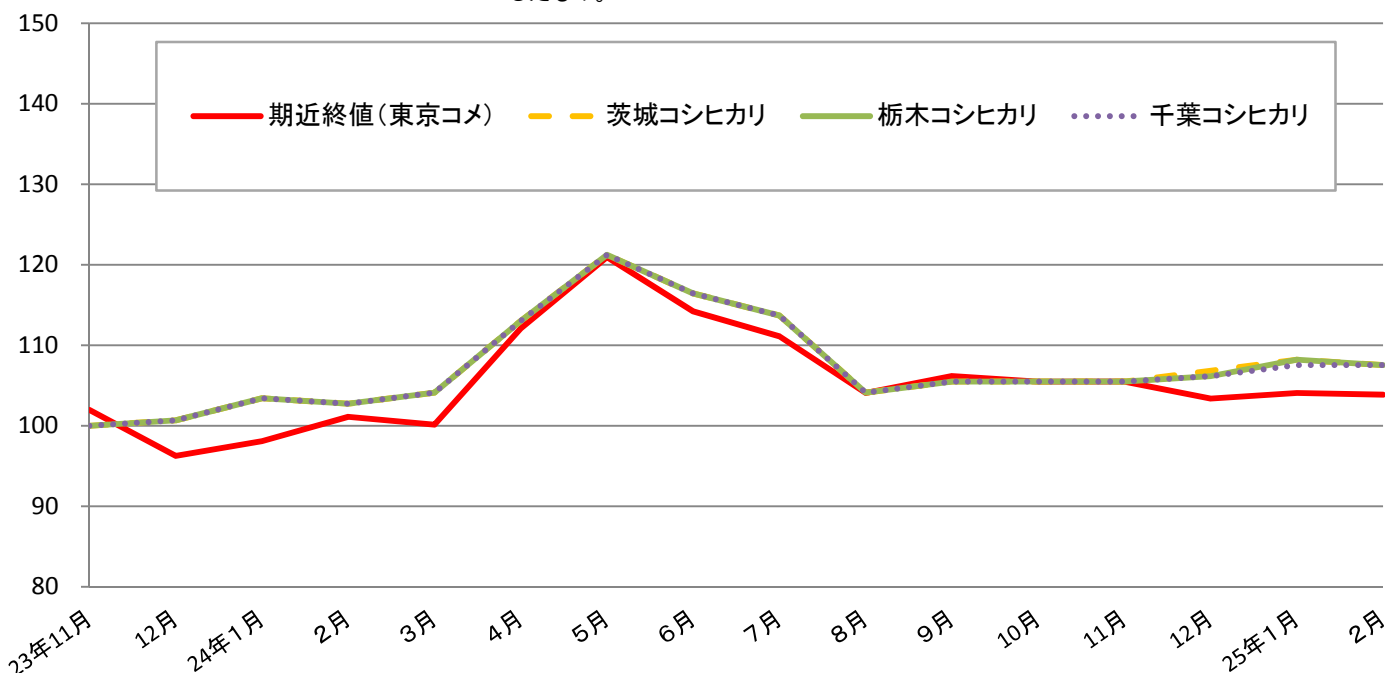
注4:複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

資料:総務省「小売物価統計」

(2) 期近限月の終値と自由米価格(スポット価格)の値動き

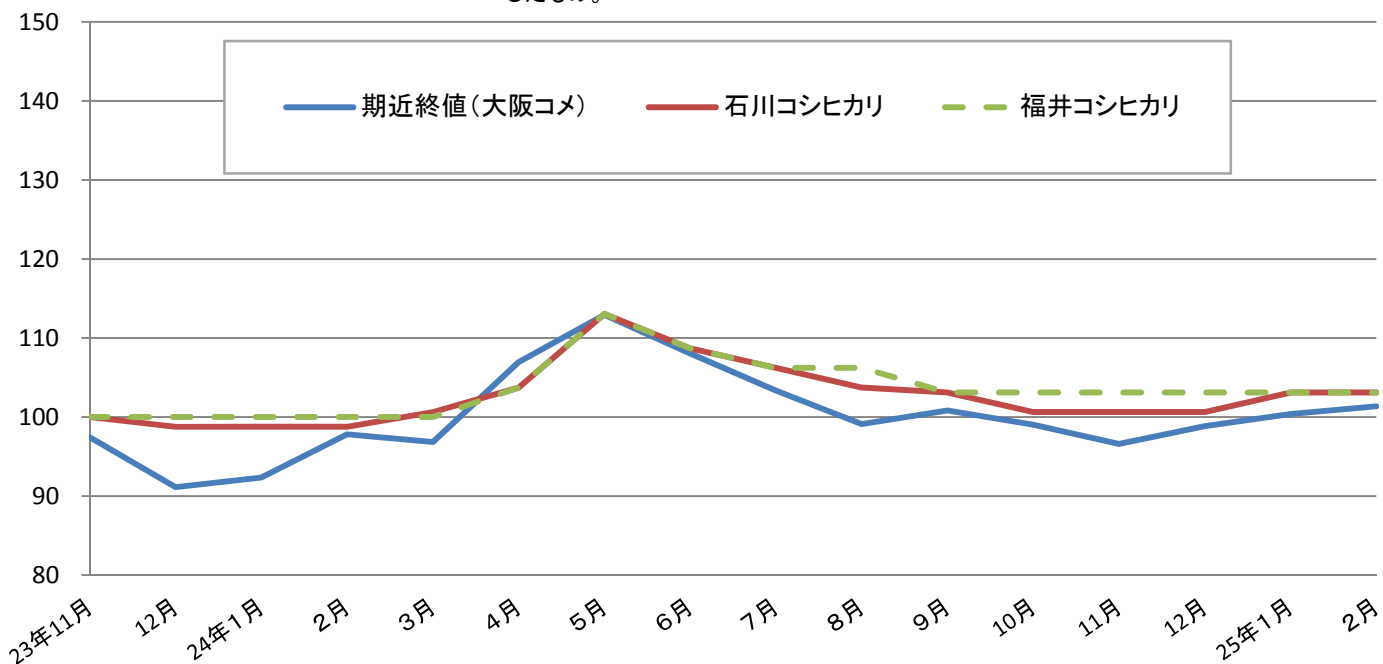
ア 東京コメ(関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米、期近限月)

※期近限月の終値(各月末時点)は、平成23年11月1日の終値を100として指数化したもの。
自由米価格(スポット価格(各月最終週))は、平成23年11月1日の価格を100として指数化したもの。



イ 大阪コメ(北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米、期近限月)

※期近限月の終値(各月末時点)は、平成23年11月1日の終値を100として指数化したもの。
自由米価格(スポット価格(各月最終週))は、平成23年10月27日の価格を100として指数化したもの。



注1: 東京穀物商品取引所、関西商品取引所及び大阪堂島商品取引所の公表データ及び株式会社米穀データバンクが「米穀市況速報」で公表している自由米価格データをもとに農林水産省において作成。

注2: 自由米価格(スポット価格)は、10トン以上の仲間相場における価格(1等、包装代込み、消費税抜き。)であり、茨城・栃木・千葉コシヒカリは、東京着基準。石川・福井コシヒカリは、大阪市内着基準。

③ 水陸稲(子実用)の年次別推移(全国)

年 産	水 陸 稲 計		水 稲						
	作 付 面 積 (子実用)	収 穫 量 (子実用)	作 付 面 積 (子 実 用)	10 a 当 たり 収 穫 量	収 穫 量 (子 実 用)	参 考			
						主 食 用 作 付 面 積	収 穫 量 (主 食 用)	10 a 当 たり 平 年 収 量	作 況 指 数
ha	t	ha	kg	t	ha	t	kg		
昭和58年産	2,273,000	10,366,000	2,246,000	459	10,308,000	…	…	478	96
59	2,315,000	11,878,000	2,290,000	517	11,832,000	…	…	479	108
60	2,342,000	11,662,000	2,318,000	501	11,613,000	…	…	481	104
61	2,303,000	11,647,000	2,280,000	508	11,592,000	…	…	484	105
62	2,146,000	10,627,000	2,123,000	498	10,571,000	…	…	487	102
63	2,110,000	9,935,000	2,087,000	474	9,888,000	…	…	490	97
平成元年産	2,097,000	10,347,000	2,076,000	496	10,297,000	…	…	492	101
2	2,074,000	10,499,000	2,055,000	509	10,463,000	…	…	494	103
3	2,049,000	9,604,000	2,033,000	470	9,565,000	…	…	497	95
4	2,106,000	10,573,000	2,092,000	504	10,546,000	…	…	498	101
5	2,139,000	7,834,000	2,127,000	367	7,811,000	…	…	499	74
6	2,212,000	11,981,000	2,200,000	544	11,961,000	…	…	499	109
7	2,118,000	10,748,000	2,106,000	509	10,724,000	…	…	501	102
8	1,977,000	10,344,000	1,967,000	525	10,328,000	…	…	502	105
9	1,953,000	10,025,000	1,944,000	515	10,004,000	…	…	504	102
10	1,801,000	8,960,000	1,793,000	499	8,939,000	…	…	507	98
11	1,788,000	9,175,000	1,780,000	515	9,159,000	…	…	512	101
12	1,770,000	9,490,000	1,763,000	537	9,472,000	…	…	518	104
13	1,706,000	9,057,000	1,700,000	532	9,048,000	…	…	518	103
14	1,688,000	8,889,000	1,683,000	527	8,876,000	…	…	522	101
15	1,665,000	7,792,000	1,660,000	469	7,779,000	…	…	524	90
16	1,701,000	8,730,000	1,697,000	514	8,721,000	…	…	525	98
17	1,706,000	9,074,000	1,702,000	532	9,062,000	…	…	527	101
18	1,688,000	8,556,000	1,684,000	507	8,546,000	…	…	529	96
19	1,673,000	8,714,000	1,669,000	522	8,705,000	…	…	529	99
20	1,627,000	8,823,000	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	530	102
21	1,624,000	8,474,000	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	530	98
22	1,628,000	8,483,000	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	530	98
23	1,576,000	8,402,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	530	101
24	1,581,000	8,523,000	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	530	102

注1:作付面積(子実用)とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

注2:主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む。)から、需給調整の取組として取り扱う米穀等(備蓄米、加工米、新規需要米等)の作付面積を除いた面積である。

注3:「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

出典:農林水産省「平成24年産水陸稲の収穫量」

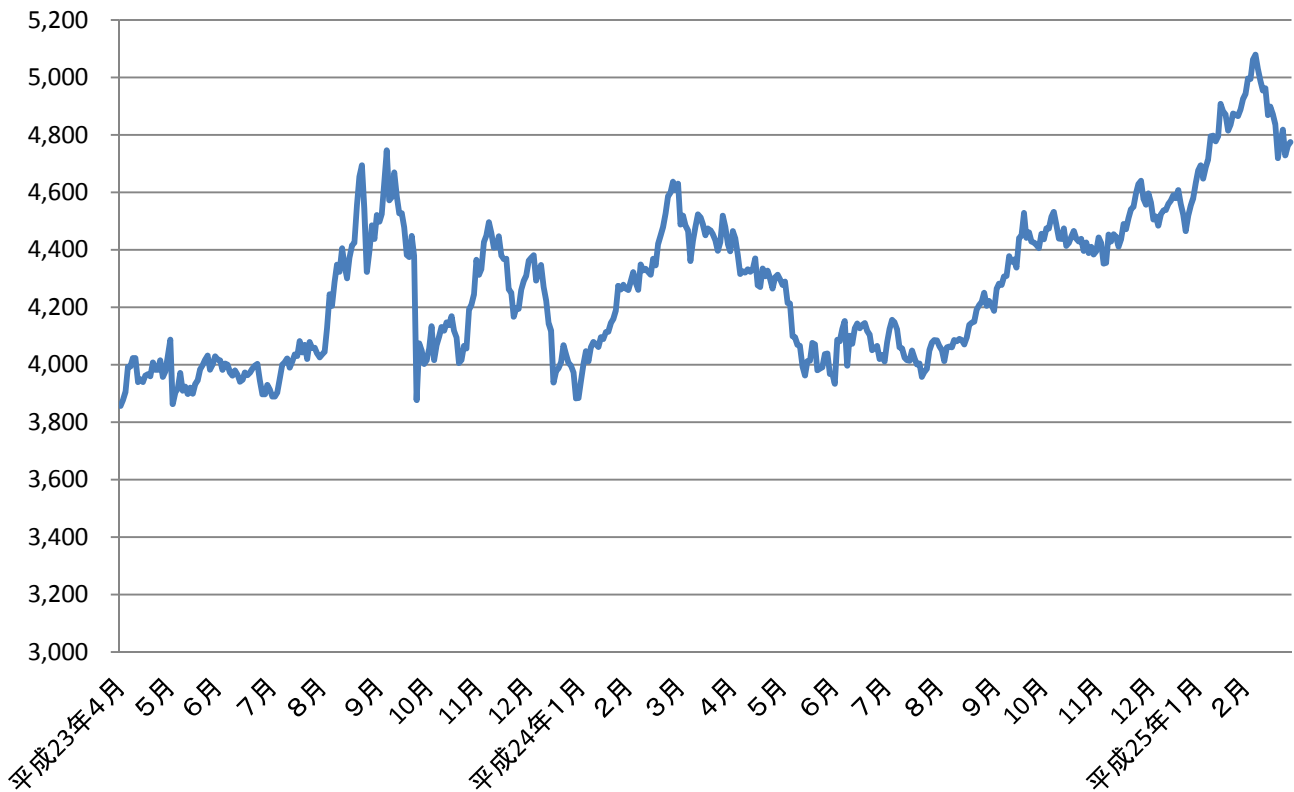
(4) 農産物以外の上場商品及び金融商品等の動向

① 工業品の動向(東京商品取引所)

ア 価格動向の推移

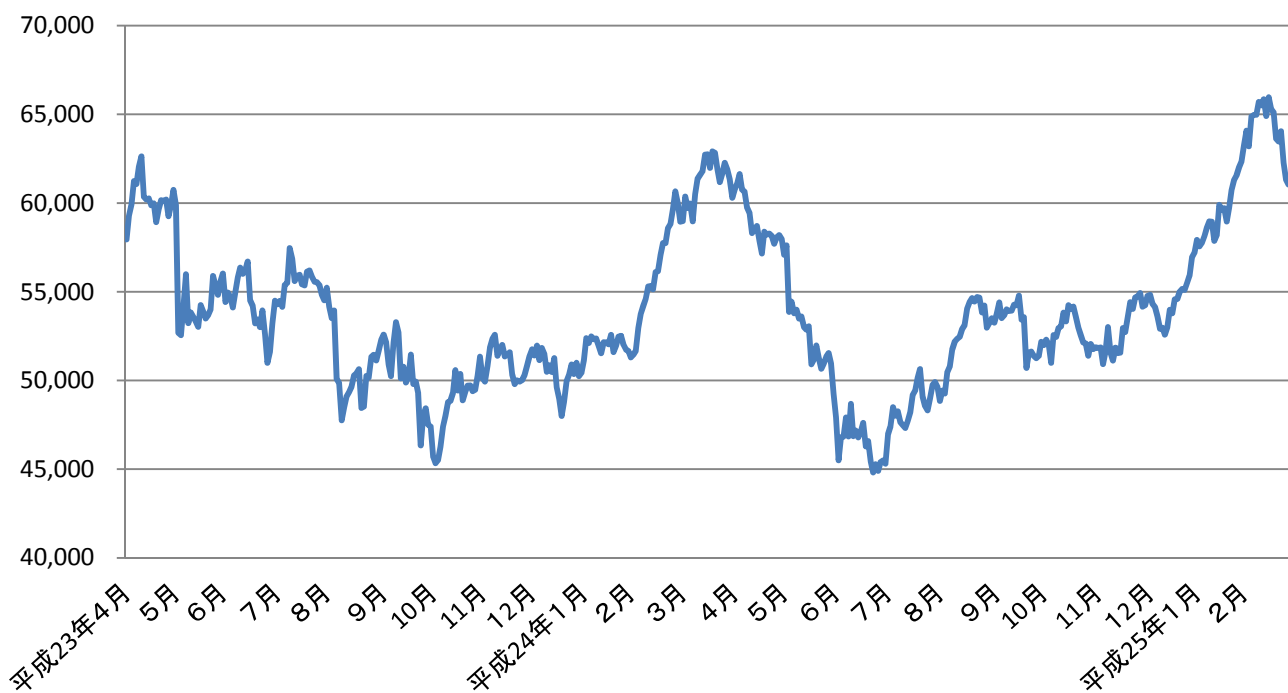
(ア) 金

(単位:円/1g)



(イ) 原油

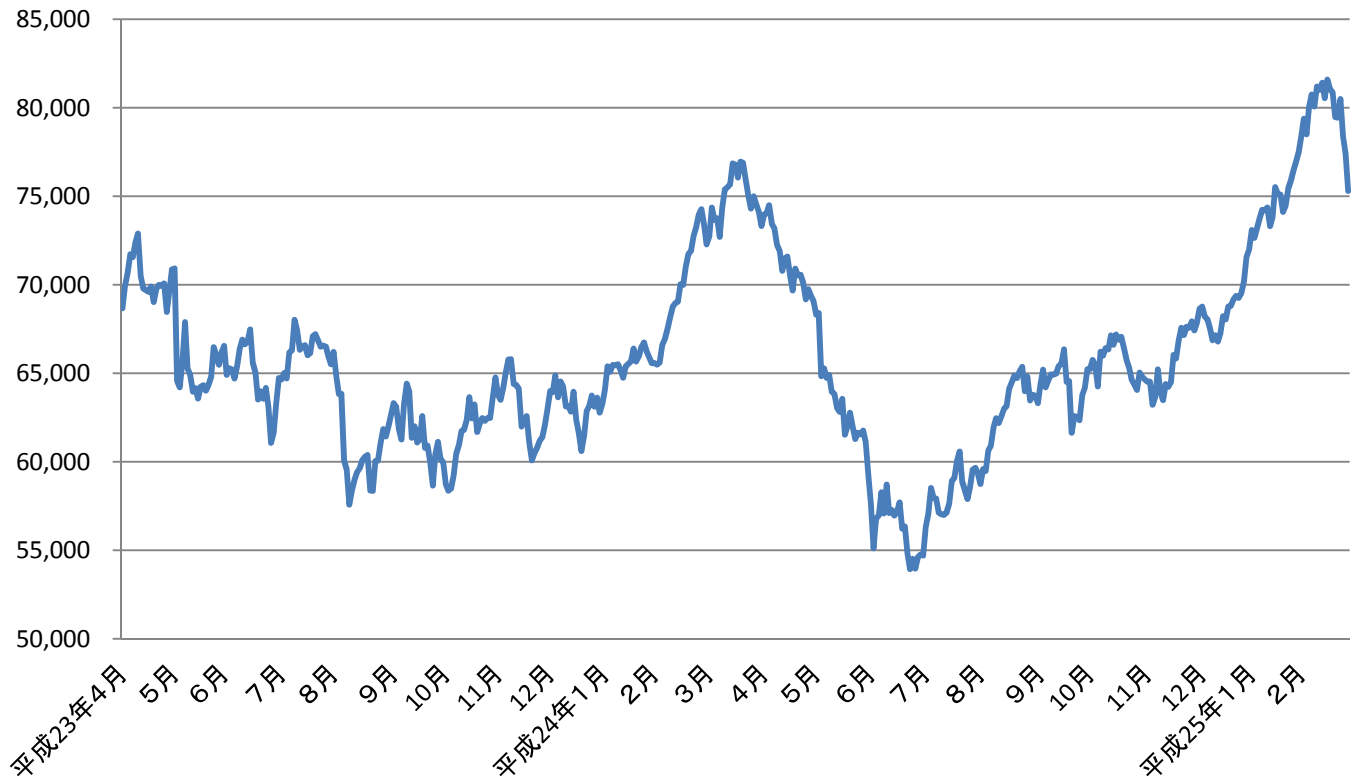
(単位:円/1kl)



注：平成23年4月から平成25年2月末までの期先限月の終値又は帳入値。
資料：東京商品取引所HP「ヒストリカルデータ 約定値段、出来高及び取組高推移」

(ウ) ガソリン

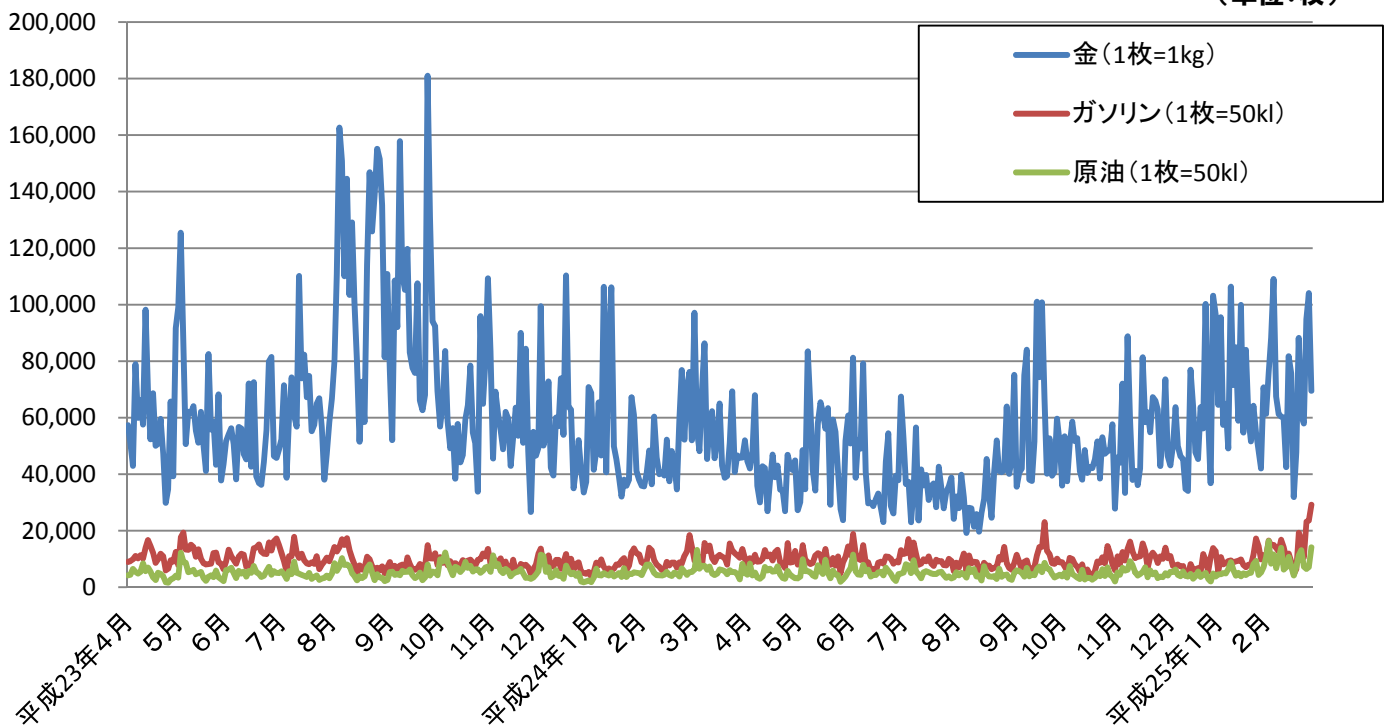
(単位:円/1kl)



注：平成23年4月から平成25年2月末までの期先限月の終値又は帳入値。
資料：東京商品取引所HP「ヒストリカルデータ 約定値段、出来高及び取組高推移」

イ 出来高の推移(金、原油及びガソリン)

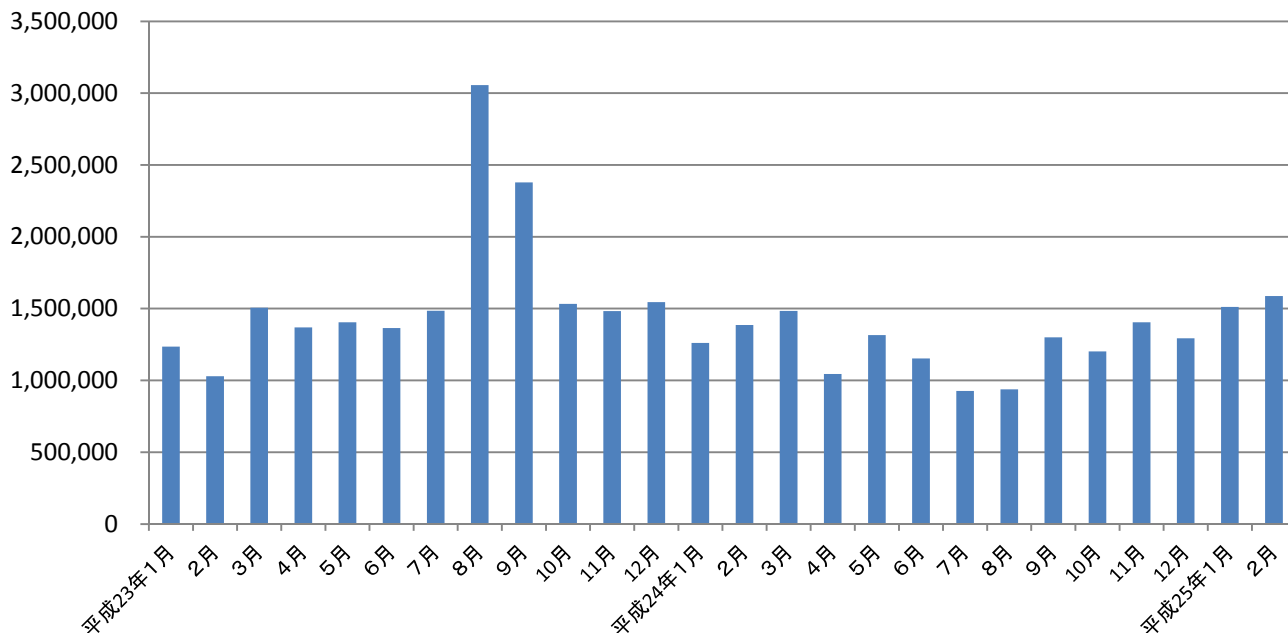
(単位:枚)



注：平成23年4月から平成25年2月末までの出来高。
資料：東京商品取引所HP「ヒストリカルデータ 約定値段、出来高及び取組高推移」

ウ 東京商品取引所の金の月間出来高

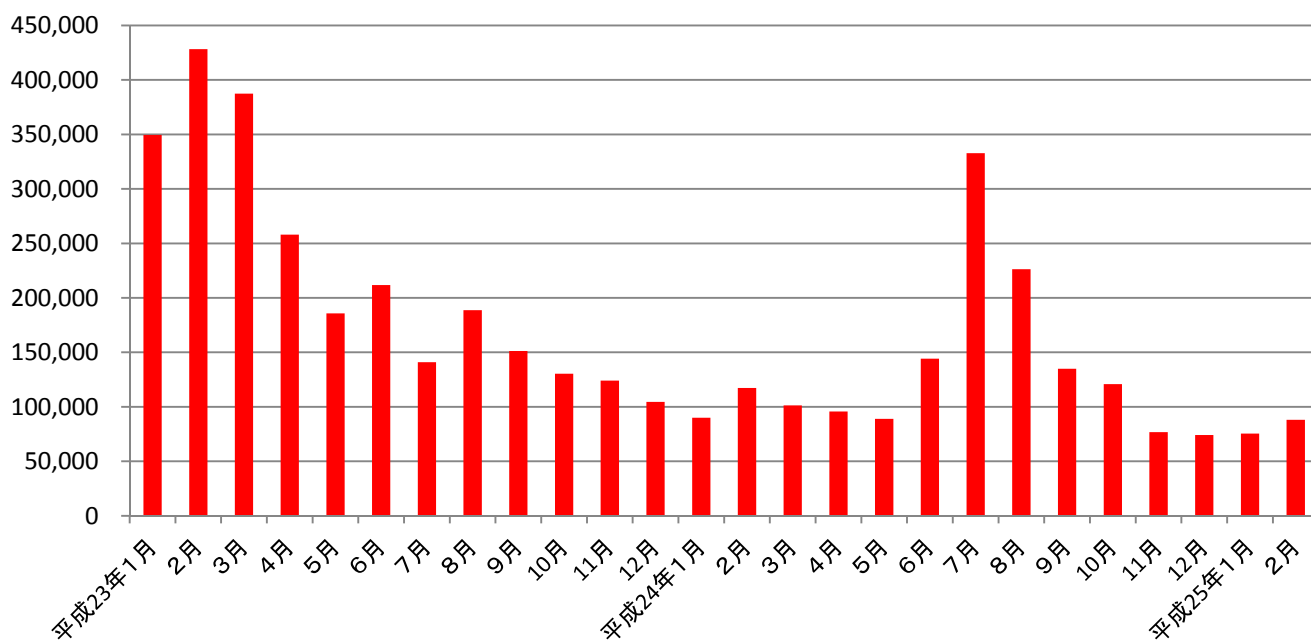
(単位:枚)



注:平成23年1月から平成25年2月までの金(金ミニを含む。)の月間出来高。
資料:日本商品清算機構HP「商品取引所出来高速報等」

(参考) 東京商品取引所(農産物)の月間出来高

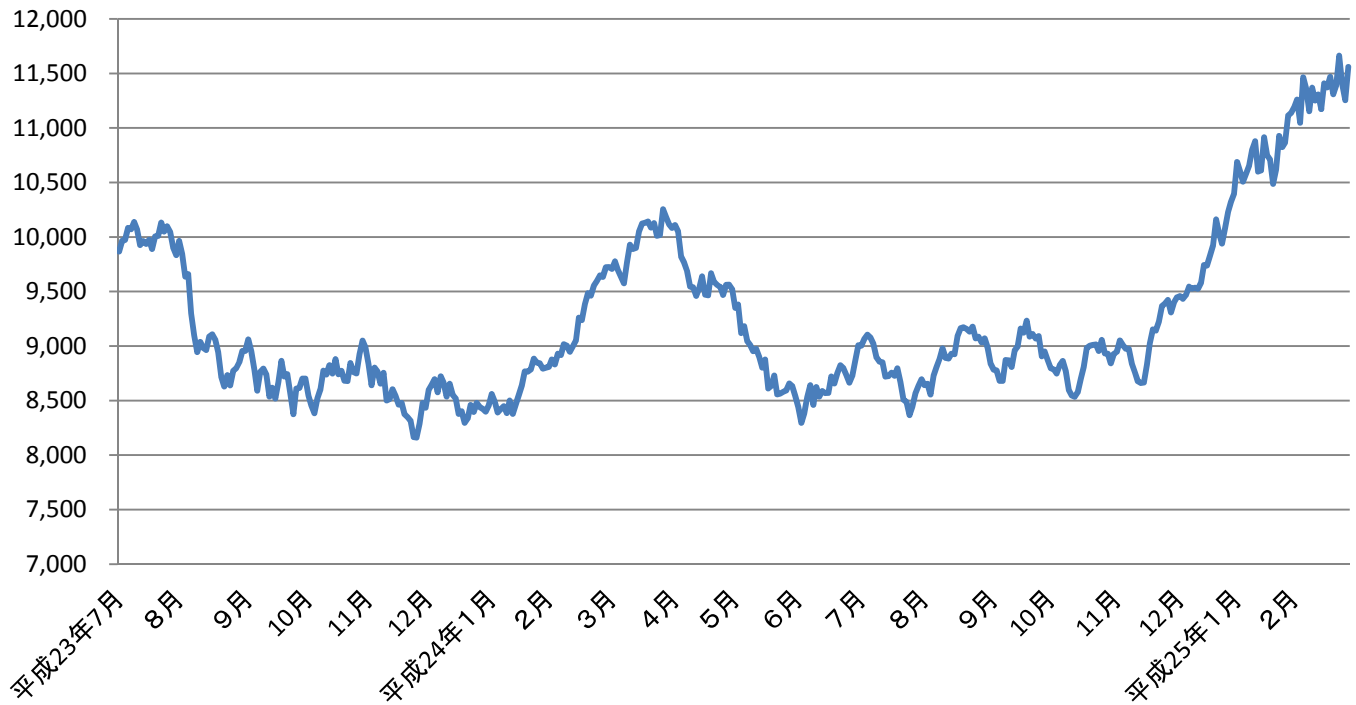
(単位:枚)



注1:平成23年1月から平成25年2月までの東京穀物商品取引所の月間出来高。
注2:平成25年2月12日に、東京穀物商品取引所の農産物市場は、大阪堂島商品取引所(米穀)及び東京商品取引所(一般大豆、とうもろこし、小豆及び粗糖)に移管されている。

② 株価の動向(日経平均株価(225種))

(単位:円)

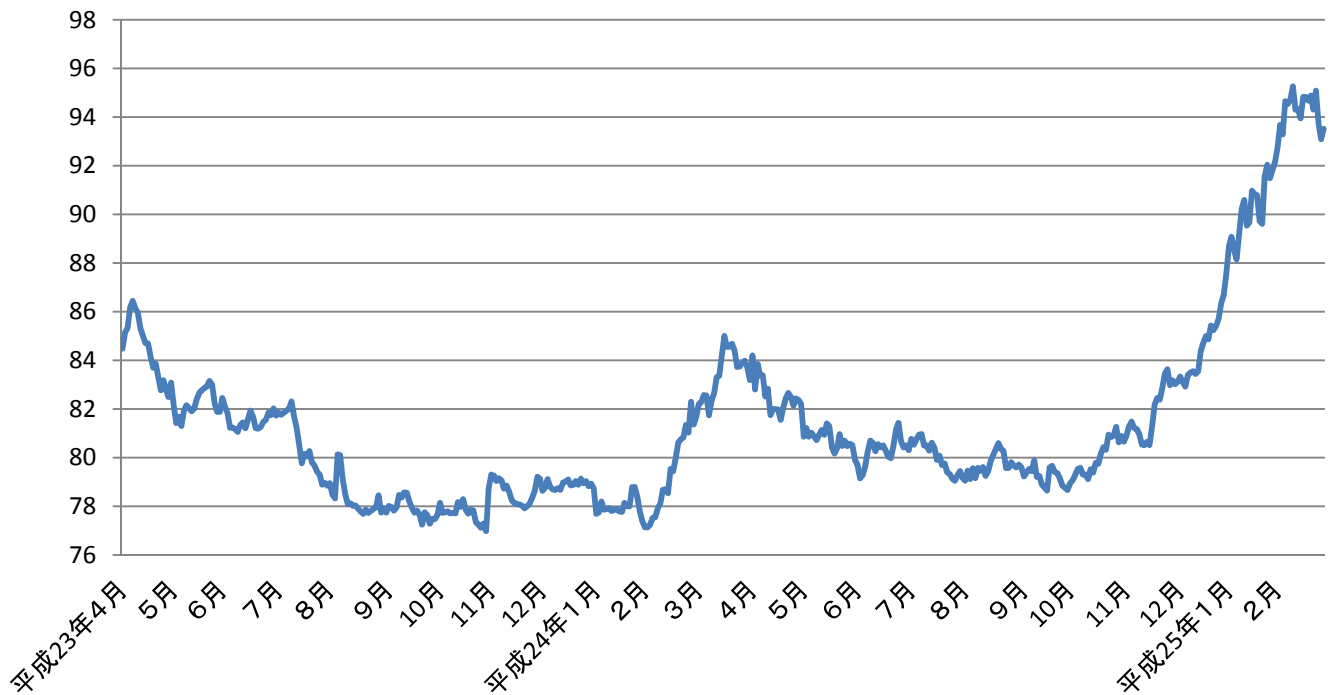


注：平成23年7月から平成25年2月末までの日経平均株価（東京証券取引所第1部上場企業から選定された225銘柄で構成）の終値。

出典：(C) 日本経済新聞社

③ 為替の動向(対米ドル、TTS)

(単位:円)



注：平成23年4月から平成25年2月末までの三菱東京UFJ銀行公表のTTS（円貨から外貨預金に預け入れるときの換算相場）。

資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社HP「過去の外国為替相場一覧表」

4. データ集

(1) 東京コメの取引価格データ

(平成25年2月8日までの東京穀物商品取引所取扱い分)

(24年12月限) (単位：円)

取引年月日	始値	高値	安値	終値	帳入値段
20121203	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
20121204	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
20121205	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
20121206	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
20121207	-	-	-	-	15,000
20121210	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
20121211	0	0	0	0	15,000
20121212	14,990	14,990	14,990	14,990	14,990
20121213	14,990	14,990	14,990	14,990	14,990
20121214	-	-	-	-	14,990
20121217	-	-	-	-	14,990
20121218	14,990	14,990	14,500	14,580	14,580
20121219	14,530	14,530	14,530	14,530	14,530
20121220	14,530	14,530	14,530	14,530	14,530

(2月限) (単位：円)

取引年月日	始値	高値	安値	終値	帳入値段
20121203	14,870	14,870	14,870	14,870	14,870
20121204	14,860	14,860	14,860	14,860	14,860
20121205	14,860	14,860	14,860	14,860	14,860
20121206	14,870	14,870	14,870	14,870	14,870
20121207	14,870	14,870	14,870	14,870	14,870
20121210	14,860	14,860	14,860	14,860	14,860
20121211	14,870	14,870	14,870	14,870	14,870
20121212	14,870	14,870	14,870	14,870	14,870
20121213	14,870	14,870	14,870	14,870	14,870
20121214	14,870	14,870	14,870	14,870	14,870
20121217	-	-	-	-	14,870
20121218	14,870	14,870	14,870	14,870	14,870
20121219	14,870	14,870	14,870	14,870	14,870
20121220	14,870	14,870	14,870	14,870	14,870
20121221	14,870	14,870	14,870	14,870	14,870
20121225	14,860	14,860	14,860	14,860	14,860
20121226	14,860	14,860	14,860	14,860	14,860
20121227	14,860	14,860	14,860	14,860	14,860
20121228	14,860	14,860	14,860	14,860	14,860
20130104	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050
20130107	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
20130108	15,000	15,000	14,750	14,750	14,750
20130109	14,760	14,760	14,760	14,760	14,760
20130110	14,760	14,760	14,760	14,760	14,760
20130111	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
20130115	-	-	-	-	14,800
20130116	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
20130117	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
20130118	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
20130121	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
20130122	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
20130123	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
20130124	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
20130125	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
20130128	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
20130129	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
20130130	-	-	-	-	14,800
20130131	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
20130201	-	-	-	-	14,800
20130204	14,770	14,770	14,740	14,740	14,740
20130205	-	-	-	-	14,740
20130206	-	-	-	-	14,740
20130207	-	-	-	-	14,740
20130208	14,760	14,760	14,760	14,760	14,760

(25年1月限) (単位：円)

取引年月日	始値	高値	安値	終値	帳入値段
20121203	14,970	15,000	14,970	15,000	15,000
20121204	14,980	14,980	14,980	14,980	14,980
20121205	14,980	14,980	14,950	14,950	14,950
20121206	14,940	14,940	14,940	14,940	14,940
20121207	14,940	14,950	14,940	14,950	14,950
20121210	14,950	14,950	14,950	14,950	14,950
20121211	14,940	14,940	14,940	14,940	14,940
20121212	14,950	14,950	14,950	14,950	14,950
20121213	14,930	14,930	14,900	14,900	14,900
20121214	14,900	14,900	14,870	14,870	14,870
20121217	-	-	-	-	14,870
20121218	14,870	14,870	14,700	14,700	14,700
20121219	14,710	14,710	14,710	14,710	14,710
20121220	14,710	14,710	14,710	14,710	14,710
20121221	14,710	14,710	14,710	14,710	14,710
20121225	14,710	14,710	14,700	14,700	14,700
20121226	14,700	14,700	14,700	14,700	14,700
20121227	-	-	-	-	14,700
20121228	14,700	14,700	14,700	14,700	14,700
20130104	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
20130107	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890
20130108	14,700	14,700	14,630	14,630	14,630
20130109	14,640	14,640	14,640	14,640	14,640
20130110	14,640	14,640	14,640	14,640	14,640
20130111	14,830	14,840	14,830	14,830	14,830
20130115	14,830	14,830	14,830	14,830	14,830
20130116	14,680	14,680	14,680	14,680	14,680
20130117	14,680	14,680	14,680	14,680	14,680
20130118	-	-	-	-	14,680

注1：帳入値段とは、取引終了までの一定時間内に成立した取引価格により一定の方法で算出した値段。
 注2：始値とは、夜間取引・日中取引を通じて最初に成立した値段。
 注3：出来高がない場合の始値、高値、安値、終値は「-」。
 注4：休業日を除く。
 注5：平成24年11月限以前のデータについては、本レポートバックナンバーを参照。
 URL: <http://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/dealing/index.html>

(平成25年2月12日以降、大阪堂島商品取引所取扱い分)

(25年2月限) (単位：円)

取引年月日	前場1節	前場2節	前場3節	後場1節	後場2節	後場3節	帳入値段
20130212	14,760	14,760	14,760	14,760	14,760	14,760	14,760
20130213	14,760	14,760	14,760	14,760	14,760	14,760	14,760
20130214	14,740	14,740	14,740	14,740	14,740	14,740	14,740
20130215	14,740	14,740	14,740	14,740	14,740	14,730	14,730
20130218	14,690	14,690	14,690	14,690	14,690	14,500	14,500
20130219	14,490	14,390	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
20130220	14,400	14,400	14,400				14,400

(3月限) (単位：円)

取引年月日	前場1節	前場2節	前場3節	後場1節	後場2節	後場3節	帳入値段
20130212	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890
20130213	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890
20130214	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890
20130215	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890
20130218	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890
20130219	14,890	14,870	14,860	14,850	14,850	14,850	14,850
20130220	14,850	14,850	14,850	14,850	14,850	14,850	14,850
20130221	14,850	14,850	14,850	14,850	14,850	14,850	14,850
20130222	14,850	14,850	14,850	14,850	14,850	14,850	14,850
20130225	14,840	14,840	14,840	14,840	14,840	14,840	14,840
20130226	14,840	14,840	14,840	14,840	14,810	14,820	14,820
20130227	14,810	14,810	14,810	14,810	14,810	14,810	14,810
20130228	14,810	14,810	14,810	14,770	14,770	14,770	14,770

(4月限) (単位：円)

取引年月日	前場1節	前場2節	前場3節	後場1節	後場2節	後場3節	帳入値段
20130212	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910
20130213	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910
20130214	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910
20130215	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910
20130218	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910	14,910
20130219	14,910	14,910	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900
20130220	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900
20130221	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900
20130222	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900
20130225	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890
20130226	14,890	14,860	14,860	14,860	14,830	14,840	14,840
20130227	14,830	14,830	14,850	14,850	14,850	14,850	14,850
20130228	14,850	14,850	14,850	14,810	14,810	14,810	14,810

(5月限) (単位：円)

取引年月日	前場1節	前場2節	前場3節	後場1節	後場2節	後場3節	帳入値段
20130212	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050
20130213	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050
20130214	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050
20130215	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050
20130218	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050	15,050
20130219	15,050	15,050	15,040	15,040	15,040	15,040	15,040
20130220	15,040	15,040	15,040	15,040	15,040	15,040	15,040
20130221	15,040	15,040	15,040	15,040	15,040	14,970	14,970
20130222	14,970	14,970	14,970	14,970	14,970	14,940	14,940
20130225	14,930	14,930	14,930	14,930	14,930	14,930	14,930
20130226	14,930	14,880	14,880	14,880	14,850	14,860	14,860
20130227	14,850	14,850	14,890	14,890	14,890	14,890	14,890
20130228	14,890	14,890	14,890	14,820	14,820	14,820	14,820

注1：帳入値段＝終値。

注2：休業日を除く。

注3：平成24年11月限以前のデータについては、本レポートバックナンバーを参照。

URL：<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/dealing/index.html>

注4：各限月の納会日（毎月20日（休業日の場合は繰り上げ。））の取引は、前場で終了。

(6月限) (単位：円)

取引年月日	前場1節	前場2節	前場3節	後場1節	後場2節	後場3節	帳入値段
20130212	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
20130213	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
20130214	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
20130215	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
20130218	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
20130219	15,000	15,000	14,990	14,990	14,990	14,990	14,990
20130220	14,990	14,990	14,990	14,990	14,990	14,990	14,990
20130221	14,990	14,990	15,010	15,010	15,010	15,050	15,050
20130222	15,050	15,050	15,050	15,050	15,010	14,980	14,980
20130225	14,970	14,970	14,970	14,970	14,970	14,970	14,970
20130226	14,970	14,920	14,920	14,920	14,890	14,900	14,900
20130227	14,890	14,890	14,930	14,930	14,930	14,930	14,930
20130228	14,930	14,930	14,930	14,860	14,860	14,860	14,860

(7月限) (単位：円)

取引年月日	前場1節	前場2節	前場3節	後場1節	後場2節	後場3節	帳入値段
20130212	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020
20130213	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020
20130214	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020
20130215	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020
20130218	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020
20130219	15,020	15,020	15,010	15,010	15,010	15,010	15,010
20130220	15,010	15,010	15,010	15,010	15,010	15,010	15,010
20130221	15,050	15,050	15,070	15,100	15,100	15,140	15,140
20130222	15,140	15,140	15,140	15,140	15,070	15,040	15,040
20130225	15,030	15,030	15,030	15,030	15,030	15,030	15,030
20130226	15,030	14,980	14,980	14,980	14,950	14,990	14,990
20130227	14,980	14,980	15,020	15,020	15,020	15,020	15,020
20130228	15,020	15,020	15,020	14,950	14,950	14,950	14,950

(8月限) (単位：円)

取引年月日	前場1節	前場2節	前場3節	後場1節	後場2節	後場3節	帳入値段
20130221	15,080	15,080	15,100	15,130	15,130	15,170	15,170
20130222	15,170	15,170	15,170	15,170	15,100	15,070	15,070
20130225	15,060	15,060	15,060	15,060	15,060	15,090	15,090
20130226	15,090	15,040	15,040	15,040	15,010	15,050	15,050
20130227	15,040	15,040	15,080	15,080	15,080	15,080	15,080
20130228	15,080	15,080	15,080	15,010	15,010	15,010	15,010

(6月限)

(単位：円)

取引年月日	前場1節	前場2節	前場3節	後場1節	後場2節	後場3節	帳入値段
20121211	15,260	15,310	15,360	15,360	15,360	15,360	15,360
20121212	15,360	15,360	15,360	15,380	15,380	15,380	15,380
20121213	15,380	15,380	15,380	15,380	15,380	15,380	15,380
20121214	15,390	15,390	15,390	15,390	15,390	15,390	15,390
20121217	15,400	15,510	15,600	15,600	15,600	15,650	15,650
20121218	15,750	15,750	15,740	15,740	15,740	15,740	15,740
20121219	15,740	15,740	15,740	15,740	15,740	15,740	15,740
20121220	15,740	15,740	15,740	15,740	15,740	15,740	15,740
20121221	15,720	15,720	15,720	15,720	15,720	15,720	15,720
20121225	15,720	15,720	15,720	15,820	15,820	15,820	15,820
20121226	15,820	15,820	15,820	15,820	15,820	15,820	15,820
20121227	15,820	15,820	15,820	15,820	15,820	15,820	15,820
20121228	15,820	15,820	15,900				15,900
20130104	15,900	15,970	15,970				15,970
20130107	15,970	15,970	15,970	15,970	15,950	15,950	15,950
20130108	15,950	15,950	15,940	15,940	15,940	15,840	15,840
20130109	15,840	15,840	15,840	15,840	15,840	15,840	15,840
20130110	15,840	15,840	15,840	15,840	15,840	15,860	15,860
20130111	15,940	15,940	15,930	15,930	15,930	15,940	15,940
20130115	15,940	15,960	15,990	15,990	16,020	16,050	16,050
20130116	16,060	16,100	16,190	16,190	16,190	16,200	16,200
20130117	16,200	16,300	16,300	16,300	16,350	16,420	16,420
20130118	16,470	16,500	16,520	16,520	16,400	16,400	16,400
20130121	16,400	16,400	16,400	16,400	16,420	16,390	16,390
20130122	16,380	16,400	16,350	16,350	16,350	16,350	16,350
20130123	16,350	16,310	16,310	16,310	16,270	16,270	16,270
20130124	16,270	16,200	16,200	16,200	16,150	16,150	16,150
20130125	16,150	16,100	16,100	16,010	16,010	16,010	16,010
20130128	16,010	15,950	15,870	15,870	15,830	15,830	15,830
20130129	15,830	15,820	15,820	15,820	15,880	15,880	15,880
20130130	15,880	15,850	15,850	15,850	15,810	15,810	15,810
20130131	15,810	15,860	15,860	15,860	15,860	15,860	15,860
20130201	15,860	15,900	15,900	15,900	15,930	15,930	15,930
20130204	15,930	15,950	15,950	15,950	15,960	15,960	15,960
20130205	15,960	15,980	15,980	15,980	15,970	15,970	15,970
20130206	15,970	15,990	15,990	15,990	15,930	15,930	15,930
20130207	15,930	15,870	15,870	15,870	15,870	15,920	15,920
20130208	15,920	15,880	15,880	15,880	15,860	15,860	15,860
20130212	15,860	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850
20130213	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850
20130214	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850
20130215	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850
20130218	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850
20130219	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850	15,850
20130220	15,850	15,830	15,830	15,830	15,830	15,830	15,830
20130221	15,830	15,830	15,830	15,880	15,880	15,920	15,920
20130222	15,920	15,920	15,920	15,920	15,920	15,920	15,920
20130225	15,920	15,920	15,920	15,920	15,920	15,920	15,920
20130226	15,920	15,920	15,920	15,920	15,920	15,920	15,920
20130227	15,920	15,920	15,920	15,920	15,920	15,920	15,920
20130228	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900

(7月限)

(単位：円)

取引年月日	前場1節	前場2節	前場3節	後場1節	後場2節	後場3節	帳入値段
20130111	15,940	15,940	15,930	15,970	15,970	15,980	15,980
20130115	15,980	16,000	16,030	16,030	16,080	16,110	16,110
20130116	16,120	16,190	16,280	16,280	16,340	16,410	16,410
20130117	16,410	16,550	16,550	16,550	16,650	16,650	16,650
20130118	16,600	16,700	16,700	16,700	16,590	16,590	16,590
20130121	16,590	16,630	16,590	16,590	16,670	16,640	16,640
20130122	16,630	16,680	16,630	16,630	16,570	16,570	16,570
20130123	16,570	16,520	16,520	16,520	16,440	16,440	16,440
20130124	16,440	16,330	16,330	16,330	16,250	16,250	16,250
20130125	16,250	16,170	16,170	16,080	16,040	16,040	16,040
20130128	16,040	15,930	15,850	15,850	15,770	15,770	15,770
20130129	15,770	15,790	15,790	15,790	15,860	15,860	15,860
20130130	15,860	15,810	15,810	15,810	15,820	15,820	15,820
20130131	15,820	15,920	15,920	15,920	15,990	15,990	15,990
20130201	15,990	16,100	16,100	16,100	16,140	16,140	16,140
20130204	16,140	16,150	16,150	16,150	16,140	16,140	16,140
20130205	16,140	16,100	16,100	16,100	16,120	16,120	16,120
20130206	16,120	16,110	16,100	16,100	16,070	16,070	16,070
20130207	16,070	15,980	15,980	15,980	15,990	16,040	16,040
20130208	16,040	16,020	16,020	16,020	16,130	16,130	16,130
20130212	16,130	16,140	16,140	16,140	16,140	16,140	16,140
20130213	16,140	16,100	16,100	16,100	16,100	16,100	16,100
20130214	16,100	16,050	16,050	16,050	16,010	16,010	16,010
20130215	16,010	15,990	15,990	15,990	15,920	15,920	15,920
20130218	15,920	15,920	15,920	15,920	15,900	15,900	15,900
20130219	15,900	15,890	15,890	15,890	15,900	15,900	15,900
20130220	15,900	15,900	15,900	15,900	15,890	15,890	15,890
20130221	15,890	15,910	15,910	15,960	15,960	15,980	15,980
20130222	15,980	15,980	15,980	15,980	15,970	15,970	15,970
20130225	15,970	16,000	16,000	16,000	16,020	16,020	16,020
20130226	16,020	16,000	16,000	16,000	16,020	15,990	15,990
20130227	15,990	16,000	16,000	16,000	15,990	15,990	15,990
20130228	15,970	15,940	15,940	15,940	15,950	15,950	15,950

(8月限)

(単位：円)

取引年月日	前場1節	前場2節	前場3節	後場1節	後場2節	後場3節	帳入値段
20130212	16,130	16,160	16,160	16,160	16,130	16,130	16,130
20130213	16,130	16,140	16,140	16,140	16,150	16,150	16,150
20130214	16,150	16,150	16,150	16,150	16,150	16,150	16,150
20130215	16,150	16,160	16,160	16,160	16,150	16,150	16,150
20130218	16,150	16,180	16,180	16,180	16,190	16,190	16,190
20130219	16,190	16,150	16,150	16,150	16,170	16,170	16,170
20130220	16,170	16,170	16,170	16,170	16,130	16,130	16,130
20130221	16,130	16,150	16,150	16,200	16,210	16,230	16,230
20130222	16,230	16,230	16,230	16,230	16,190	16,190	16,190
20130225	16,190	16,180	16,180	16,180	16,180	16,180	16,180
20130226	16,180	16,180	16,180	16,180	16,180	16,120	16,120
20130227	16,120	16,130	16,130	16,130	16,080	16,080	16,080
20130228	16,060	16,020	16,020	16,020	15,990	15,990	15,990

5. 參考資料

米の試験上場の認可の公示について

○農林水産省告示第千三百三十四号

商品先物取引法（昭和二十五年法律第二百三十九号）第一百五十六条第一項の規定に基づき、株式会社東京穀物商品取引所の上場商品の範囲の変更に係る業務規程の変更の認可の処分をしたので、同法第三百五十二条の規定に基づき、次のとおり公示する。

平成二十三年七月十四日

農林水産大臣 鹿野 道彦

一 商品市場を開設する者

株式会社東京穀物商品取引所

二 上場商品

イ 範囲の変更前 農産物（大豆（一般大豆）、大豆（Non-GMO大豆）、小豆、とうもろこし、アラビカコーヒー生豆及びロブスタコーヒー生豆をいう。）

ロ 範囲の変更後 農産物（米穀、大豆（一般大豆）、大豆（Non-GMO大豆）、小豆、とうもろこし、アラビカコーヒー生豆及びロブスタコーヒー生豆をいう。）

三 公示することとなった事由

商品先物取引法第一百五十六条第一項の規定に基づき、株式会社東京穀物商品取引所の既上場商品である農産物の範囲に、期限（取引を開始した日から二年を経過した日まで。ただし、二年経過前に取引を開始している限月に限り取引を継続することができるものとする。）を定めて米穀を追加する旨の業務規程の変更の認可の処分をしたため。

○農林水産省告示第千三百三十五号

商品先物取引法（昭和二十五年法律第二百三十九号）第一百五十五条第一項の規定に基づき、関西商品取引所の上場商品の範囲の変更に係る定款の変更の認可の処分をしたので、同法第三百五十二条の規定に基づき、次のとおり公示する。

平成二十三年七月十四日

農林水産大臣 鹿野 道彦

一 商品市場を開設する者

関西商品取引所

二 上場商品

イ 範囲の変更前 農産物（大豆（Non-GMO大豆）、大豆（米国産大豆）、小豆及びとうもろこしをいう。）

ロ 範囲の変更後 農産物（米穀、大豆（Non-GMO大豆）、大豆（米国産大豆）、小豆及びとうもろこしをいう。）

三 公示することとなった事由

商品先物取引法第一百五十五条第一項の規定に基づき、関西商品取引所の既上場商品である農産物の範囲に、期限（取引を開始した日から二年を経過した日まで。ただし、二年経過前に取引を開始している限月に限り取引を継続することができるものとする。）を定めて米穀を追加する旨の定款の変更の認可の処分をしたため。

東京穀物商品取引所が米の受渡しに係る放射性物質の基準値を平成24年4月1日以降、100Bq/kgと決定したことについて

株式会社東京穀物商品取引所
問合せ先 営業広報部
(電話 03-3668-9317)

放射性物質の新基準値施行後の米穀受渡供用品の取扱いについて

厚生労働省は、平成23年3月の東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を受けて、食品の安全性を確保する観点から食品中の放射性物質の暫定規制値を設定していますが、より一層、食品の安全と安心を確保するため、食品衛生法に基づく新基準値を設定し、その施行・適用日は本年4月1日が予定されています。新基準値案では、米穀について現在の暫定基準値500Bq/kgから100Bq/kgに引き下げることとされており、経過期間として本年9月30日までの間は、500Bq/kgを超える放射性セシウムを含有するものであってはならないこととしています。

本取引所では、米穀先物の受渡供用品について、米穀受渡細則第2条第6号に基づき「一般流通品以上の品位を有するもの」としておりますが、現物流通における対応実態及び農林水産省からも「経過措置期間において新基準値を超える米穀を現物受渡しの対象とすることは望ましくない」との考え方が示されたこと等を踏まえ、平成24年2月21日開催の取締役会において、業務規程第10条第6項及び第223条に基づき、下記の通り決定いたしましたので、お知らせ致します。

記

放射性物質の基準値にかかる本取引所の米穀の受渡供用品の取扱いについて、食品衛生法に基づく新基準値への改正が施行(本年4月1日を予定)された後は、業務規程第10条第6項及び第223条に基づき、新基準値(100Bq/kgの予定)を超える米穀については、経過期間にかかわらず、米穀受渡細則第2条第6号の「一般流通品以上の品位を有するもの」に該当しないものとして取扱うものとする。

関西商品取引所が米の受渡しに係る放射性物質の基準値を平成24年4月1日以降、100Bq/kgと決定したことについて

関西商品取引所

食品衛生法に基づく放射性物質の新基準値への改正施行後における本所の米穀の受渡供用品の取扱いについて

厚生労働省は、平成23年3月の東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故を受けて、食品の安全性を確保する観点から食品中の放射性物質の暫定規制値を設定していますが、より一層、食品の安全と安心を確保するため、食品衛生法に基づく新基準値を設定し、その施行・適用日は本年4月1日が予定されています。新基準値案では、米穀について現在の暫定基準値500Bq/kgから100Bq/kgに引き下げることでされており、経過期間として本年9月30日までの間は、500Bq/kgを超える放射性セシウムを含有するものであってはならないこととしています。

本所では、従来より農産物市場における受渡供用品については、「一般流通品以上の品位を有するもの」としておりますが、現物流通における対応実態及び農林水産省からも「経過措置期間において新基準値を超える米穀を現物受渡しの対象とすることは望ましくない」との考え方が示されたこと等を踏まえ、平成24年2月21日開催の理事会において、業務規程第8条第6項及び第187条に基づき、下記の通り決定いたしましたので、貴社関係部署、委託者等に周知いただきますようお願い申し上げます。

記

放射性物質の基準値にかかる本取引所の米穀の受渡供用品の取扱いについて、食品衛生法に基づく新基準値への改正が施行(本年4月1日を予定)された後は、業務規程第8条第6項及び第187条に基づき、新基準値(100Bq/kgの予定)を超える米穀については、経過期間にかかわらず、「一般流通品以上の品位を有するもの」に該当しないものとして取扱うものとする。

東京穀物商品取引所による米の先物取引における受渡地の拡大、合意早受渡し制度の導入について

東京穀物商品取引所 業務規程の一部変更（抜粋）

変更	現行
<p>(受渡しの場所) 第112条の2 受渡しの場所は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県及び北海道に所在する指定倉庫とする。</p> <p>(合意早受渡し) 第112条の18 受渡当事者は、第10条第3項、第15条第1項第6号（受渡単位）、第43条第4項、第112条の2から第112条の6まで、第112条の8から第112条の13まで及び第112条の15の規定にかかわらず、受渡当事者が建玉の全部又は一部について受渡条件について合意し、第12条第1項第5号に規定する納会日前までに、その合意について当該建玉を有する市場取引参加者等を通じて本取引所に届け出、本取引所が承認した場合には、米穀の合意に基づく早受渡しの特例に定めるところにより受渡しを行うことができる。</p> <p>附則 第1条 第112条の2（受渡しの場所）の変更は、農林水産大臣の認可の日（平成24年3月26日）から施行し、2012年10月限りより適用する。また、第112条の18（合意早受渡し）の新設は、平成24年4月1日又は農林水産大臣の認可の日（平成24年3月26日）のいずれか遅い日から施行する。</p>	<p>(受渡しの場所) 第112条の2 受渡しの場所は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県及び栃木県に所在する指定倉庫とする。</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p>

○米穀の合意に基づく早受渡しの特例

平成 24 年 3 月 26 日制定

(目的)

第 1 条 本特例は、業務規程第 112 条の 18 の規定に基づき、米穀の受渡しに係る受渡当事者の利便を図るため、米穀の早受渡しに関する特例の範囲を定める。

(受渡供用品)

第 2 条 本特例により受渡しされる供用品は、国内産水稻うるち玄米とする。

(受渡しの場所)

第 3 条 受渡しの場所は、日本国内における双方の合意した場所とする。

(受渡日)

第 4 条 受渡日は、新甫発会日の翌営業日から、当該限月の納会日の前営業日までとする。

(受渡値段及び受渡代金並びに消費税)

第 5 条 受渡値段及び受渡代金並びに消費税の算出は、次のとおりとする。

- (1) 受渡値段は、次条の届出書に記載された受渡日の前営業日における当該限月の帳入値段とする
- (2) 受渡代金は、前号の受渡値段に受渡当事者間で合意した格差を加減して得た金額に、次条の届出書に記載された受渡重量（呼値の単位で換算した数値）を乗じて得た金額（円未満の端数は四捨五入する。）とする。
- (3) 受渡しに賦課される消費税は、前号に規定する受渡代金を課税標準として算出した金額（円未満の端数は切り捨てる。）とする。

(合意早受渡し届出書)

第 6 条 業務規程第 112 条の 18 の規定により、双方の合意に基づいて本取引所で早受渡しを行うときは、双方は、その合意した内容の明細及び受渡日を明記した届出書を、連署をもって、受渡日の前営業日の午後 2 時まで本取引所に届け出るものとする。また当該届出書には、受渡日、受渡場所、受渡重量及び受渡方法等が記載され、当該受渡しが行われることが確認できる契約書等の書類の写しを添付するものとする。

2 本取引所は、当該合意早受渡しの届出を受理したときは、本取引所の米穀の早受渡

しが行われたものとして処理する。

(建玉決済枚数と受渡品の量目との関係)

第7条 合意早受渡しにより決済できる当該限月の建玉枚数については、受渡品の量目を業務規程第15条第1項第6号において規定する取引単位に換算させた枚数の範囲内において、受渡当事者間で合意した枚数とする。ただし、受渡品の量目を取引単位に換算させる場合において、最小取引単位に比し50%を超える端数量目については、当該端数量目を最小取引単位とみなして建玉を決済することができるものとする。

(受渡決済の方法)

第8条 受渡しについて、渡方は指定倉荷証券のほか、本取引所の確認できる受渡書類を本取引所に差し出して行うことができる。

2 前項の渡方の受渡書類の提出並びに受方の受渡代金及び受渡しに賦課される消費税額の納入時限は、受渡日の午後1時とする。

3 本取引所は、受方から受渡代金及び受渡しに賦課される消費税額が差し出されたときは、受方に指定倉荷証券又は受渡書類を交付し、渡方には、次項に規定する届出のあった翌営業日の午後1時まで、受渡代金及び受渡しに賦課される消費税額を交付するものとする。

4 受方は、受渡日の翌々営業日後の午後2時まで、受渡しが完了した旨を本取引所に届け出なければならない。

(受渡履行責任)

第9条 受渡当事者は、第6条の合意早受渡しの届出内容に従い双方の責任において、受渡しを履行しなければならない。

(合意内容の変更)

第10条 前条の規定にかかわらず、届出内容どおりの受渡しが困難となったときは、届出書に記載された受渡日の前営業日の午後2時まで双方の連署をもって当該合意内容の変更を本取引所に届け出、本取引所の承認を得るものとする。

2 本取引所は、前項の変更の届出を受理したときは、当該変更された届出により受渡しが行われたものとして処理し、受渡当事者は、当該届出内容に従い双方の責任において受渡しを履行しなければならない。

(故障の申立)

第11条 受方は、合意早受渡しにより受渡しされた受渡品について、故障の申立をすることができない。

(その他の措置)

第12条 本特例に定めていない事項については、受渡当事者間で処理するものとする。

(改廃)

第13条 本特例の改廃は、取締役会の決議をもって行うものとし、その改廃は既年限月についても適用することができる。

附則

本特例は、平成24年4月1日又は業務規程第112条の18（合意早受渡し）の新設が農林水産大臣に認可された日（平成24年3月26日）のいずれか遅い日から施行する。

東京穀物商品取引所の農産物市場の移管の方針について

株式会社東京穀物商品取引所
(営業広報課/3668-9317)

建玉等の処理の移管について

本取引所は、農産物市場の維持・継続のため、2013年2月の3連休を目途に建玉等の処理を他の取引所(コメは関西商品取引所。大豆、小豆、とうもろこし及び粗糖は東京工業品取引所。)に移管することとなりましたので、お知らせいたします。

なお、移管日の前営業日までは本取引所において従来と同様にお取引いただけますし、移管日以降も移管先の取引所で引き続きお取引が可能(移管日までに取引を結了する必要はございません。)ですので、ご安心してお取引いただけますよう、お願い申し上げます。

商品取引所間における上場商品等の「建玉及び注文の処理」の移管に係る取引所規則の整備について

東京穀物商品取引所 業務規程の一部変更（抜粋）

変 更	現 行
<p>第11章 停止商品市場と開設商品市場の建玉及び注文の処理の移管の特例</p> <p>(停止商品市場と開設商品市場の建玉及び注文の処理の移管の特例)</p> <p>第225条 本取引所又は他の商品取引所が商品市場を構成する全部又は一部の上場商品等（上場商品若しくは上場商品指数又は上場商品構成物品若しくは上場商品指数対象物品をいう。以下この章において同じ。）の立会を停止し、同時に他の商品取引所又は本取引所が立会を停止する商品取引所の商品市場を構成する全部又は一部の上場商品等から構成される商品市場を開設し、又は既に開設している商品市場に当該上場商品等を追加する場合（既に取引されている上場商品等について別建ての取引を開始する場合を含む。）であって、停止商品取引所（停止商品市場（立会を停止する商品市場の上場商品等のうち他の商品取引所又は本取引所が開設し、又は既に開設している商品市場において取引を行う上場商品等の集合体をいう。以下この章において同じ。）に係る商品取引所をいう。以下この章において同じ。）、開設商品取引所（開設商品市場（停止商品取引所の商品市場を構成する全部又は一部の上場商品等から構成される商品市場を開設し、又は既に開設している商品市場に当該上場商品等を追加する場合（既に取引されている上場商品等について別建ての取引を開始する場合を含む。）の当該商品市場をいう。以下この章において同じ。）に係る商品取引所をいう。以下この章において同じ。）及び清算機構が建玉及び注文の処理の移管の取扱いその他の事項について特例を講じようとするときは、この章の規定の定めるところによる。</p> <p>(建玉の取扱い等)</p> <p>第226条 前条の場合において、停止商品市場の取引参加者等（取引参加者及び会員をいう。以下この章において同じ。）が開設商品市場の取引参加者等となるとき（既に開設商品市場の取引参加者等となっている場合を含む。）は、停止商品市場と開設商品市場の間の建玉その他の取扱いは、次の各号に掲げるところによるものとする。</p> <p>(1) 停止商品市場の停止日に当該商品市場に存在する建玉（受渡しに係る未決済約定を除く。）は、開設商品市場の開設日（既に開設している商品市場にあつては、当該商品市場に追加する上場商品等の取引を開始する日（既に取引されている上場商品等について別建ての取引を開始する日を含む。）をいう。以下この章において同じ。）以降、当該商品市場の建玉として取り扱う。</p> <p>(2) 停止商品市場の停止日以前に当該商品市場で受け付けた注文で失効していないものは、開設商品市場の開設日以降当該商品市場において有効とし、当該商品市場の開設日において新たに受け付ける注文に対し時間的に優先する。ただし、開設商品取引所が取引の公正性の確保に支障があると認めるときは、この限りでない。</p> <p>(3) 停止商品取引所が停止商品市場の停止日以前に行つた行為のうち開設商品取引所が認めるものは、開設商品市場の開設日以降、開設商品取引所と開設商品市場の取引参加者等との間で効力を有するものとする。</p>	<p>(新 設)</p> <p>(新 設)</p> <p>(新 設)</p>

関西商品取引所 業務規程の一部変更（抜粋）

変 更	現 行
<p>第9章 停止商品市場と開設商品市場の建玉及び注文の処理の移管の特例</p>	<p>(新 設)</p>
<p><u>(停止商品市場と開設商品市場の建玉及び注文の処理の移管の特例)</u></p> <p>第189条 本所又は他の商品取引所が商品市場を構成する全部又は一部の上場商品等（上場商品若しくは上場商品指数又は上場商品構成物品若しくは上場商品指数対象物品をいう。以下この章において同じ。）の立会を停止し、同時に他の商品取引所又は本所が立会を停止する商品取引所の商品市場を構成する全部又は一部の上場商品等から構成される商品市場を開設し、又は既に開設している商品市場に当該上場商品等を追加する場合（既に取引されている上場商品等について別建ての取引を開始する場合を含む。）であつて、停止商品取引所（停止商品市場（立会を停止する商品市場の上場商品等のうち他の商品取引所又は本所が開設し、又は既に開設している商品市場において取引を行う上場商品等の集合体をいう。以下この章において同じ。）に係る商品取引所をいう。以下この章において同じ。）、開設商品取引所（開設商品市場（停止商品取引所の商品市場を構成する全部又は一部の上場商品等から構成される商品市場を開設し、又は既に開設している商品市場に当該上場商品等を追加する場合（既に取引されている上場商品等について別建ての取引を開始する場合を含む。）の当該商品市場をいう。以下この章において同じ。）に係る商品取引所をいう。以下この章において同じ。）及び清算機構が建玉及び注文の処理の移管の取扱いその他の事項について特例を講じようとするときは、この章の規定の定めるところによる。</p>	<p>(新 設)</p>
<p><u>(建玉の取扱い等)</u></p> <p>第190条 前条の場合において、停止商品市場の会員等（会員及び取引参加者をいう。）が開設商品市場の会員等となるとき（既に開設商品市場の会員等となっている場合を含む。）は、停止商品市場と開設商品市場の間の建玉その他の取扱いは、次の各号に掲げるところによるものとする。</p> <p>(1) 停止商品市場の停止日に当該商品市場に存在する建玉（受渡しに係る未決済建玉を除く。）は、開設商品市場の開設日（既に開設している商品市場にあつては、当該商品市場に追加する上場商品等の取引を開始する日（既に取引されている上場商品等について別建ての取引を開始する日を含む。）をいう。以下この章において同じ。）以降、当該商品市場の建玉として取り扱う。</p> <p>(2) 停止商品市場の停止日以前に当該商品市場で受け付けた注文で失効していないものは、開設商品市場の開設日以降当該商品市場において有効とし、当該商品市場の開設日において新たに受け付ける注文に対し時間的に優先する。ただし、開設商品取引所が取引の公正性の確保に支障があると認めるときは、この限りでない。</p> <p>(3) 停止商品取引所が停止商品市場の停止日以前に行つた行為のうち開設商品取引所が認めるものは、開設商品市場の開設日以降、開設商品取引所と開設商品市場の会員等との間で効力を有するものとする。</p>	<p>(新 設)</p>



24 先物振興発第 14 号

平成 24 年 7 月 19 日

株式会社東京穀物商品取引所
代表取締役社長 畑野 敬司 様

日本商品先物振興協会
会長 岡 地 和 道



農産物市場の円滑な移管と振興に向けた支援について

このたび、貴所農産物市場を株式会社東京工業品取引所及び関西商品取引所に移管することについて関係者間で取決めが締結され、平成 25 年 2 月 12 日をもって切れ目ない市場の承継が行われる運びとなりましたことは、真にご同慶の至りであります。

言うまでもなく、農産物の先物市場は今後も産業インフラとして重要な役割を果していかなくてはなりません。そのためには、今般、市場の承継の方向が定まったことを契機に商品市場の再活性化を図ることは、極めて重要な課題であり、商品先物業界に関わる者の共通の思いであると思料いたします。

つきましては、当協会といたしましても、建玉等の処理の移管について委託者に適切に周知され、その理解が得られ、円滑な移管が実現するよう協力してまいります。また、農産物先物取引の振興につきましてもできる限りの支援をいたしますので、貴所におかれましては引続き市場振興にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

東京コメ・大阪コメの価格調整表

○東京コメ（平成25年7～9月限適用、平成25年1月15日制定）

玄米60kgあたり

産地品種銘柄	平成24年産	
	1等	2等
関東コシヒカリ (茨城県産、栃木県産、千葉県産)	標準品	平成24年産1等の調整額から 600円減額
福島県産コシヒカリ(会津)	+500円	
福島県産コシヒカリ(中通り)	-500円	
福島県産コシヒカリ(浜通り)	-500円	
新潟県産コシヒカリ	+1,300円	
富山県産コシヒカリ	+600円	
石川県産コシヒカリ	+300円	
福井県産コシヒカリ	+300円	
長野県産コシヒカリ	+300円	
その他府県産コシヒカリ	-300円	
岩手県産ひとめぼれ	-200円	
宮城県産ひとめぼれ	-200円	
秋田県産あきたこまち	0円	
山形県産はえぬき	-200円	
北海道産ななつぼし	-500円	
北海道産きらら397	-500円	
青森県産つがるロマン	-500円	
青森県産まっしぐら	-500円	

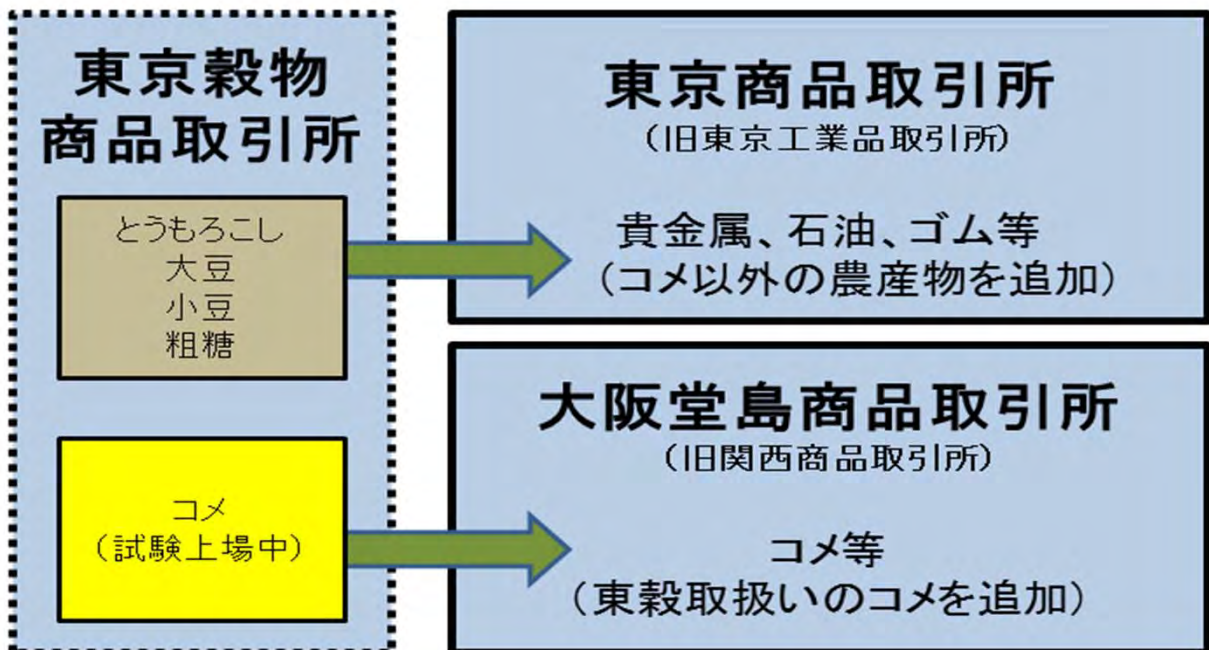
○大阪コメ（平成25年7～9月限適用、平成24年12月18日制定）

玄米60kgあたり

産地品種銘柄	平成24年産	
	1等	2等
北陸コシヒカリ(石川、福井)	標準品	平成24年産1等の調整額から 600円減額
新潟県産コシヒカリ	+800円	
福島県産コシヒカリ(会津)	+100円	
福島県産コシヒカリ(中通り)	-1,000円	
福島県産コシヒカリ(浜通り)	-1,000円	
茨城県産コシヒカリ	-800円	
栃木県産コシヒカリ	-800円	
千葉県産コシヒカリ	-800円	
長野県産コシヒカリ	-200円	
富山県産コシヒカリ	+100円	
三重県産コシヒカリ	-300円	
滋賀県産コシヒカリ	-300円	
京都府産コシヒカリ	-300円	
兵庫県産コシヒカリ	-300円	
鳥取県産コシヒカリ	-300円	
島根県産コシヒカリ	-300円	
岡山県産コシヒカリ	-300円	
山口県産コシヒカリ	-300円	
熊本県産コシヒカリ	0円	
その他府県産コシヒカリ	-900円	

東京穀物商品取引所の農産物市場の移管等について

2月12日、(株)東京穀物商品取引所の農産物市場は、(株)東京商品取引所及び大阪堂島商品取引所に移管され、国内の商品取引所は以下のように再編されています。



【本レポートの主な用語解説】

先物取引（さきものとりひき）	将来の一定の時期において、商品及びその対価の授受を約する売買取引であって、当該商品の現物の受渡し若しくは建玉の転売又は買い戻しによる差金の授受によって終了することのできる取引のこと。
限月（げんげつ）	先物取引において売買約定（やくじょう）を最終的に決済しなければならない月のこと。
発会（はっかい）	新しく取引される限月の最初の立会のこと、その日を新甫（しんぽ）発会日という。
納会（のうかい）	売買契約の決済期限となる取引の最後の立会のこと。納会までに反対売買によって取引を終了しなかった建玉は、受渡しにより決済することとなる。
期先（きさき）	先物取引において、現時点で決済期限を最も後に向かえる限月のことをいう。
期近（きちか）	先物取引において、現時点で決済期限を最も早くに向かえる限月のことをいう。
始値（はじまりね）	前場または後場の立会が始まった最初の値段のこと。
高値（たかね）	相場が高いこと。またはある期間内の一番高い値段のこと。
安値（やすね）	相場が安いこと。またある期間内の一番安い値段のこと。
終値（おわりね）	一日の最終約定値段のことをいう。
枚（まい）	取引所における取引の基本となる取引数量または受渡数量を表す最小取引単位の呼称のこと。
建玉（たてぎょく）	取引所において売買取引された売買約定によるもので、未決済のもの。
取組（とりぐみ）	売りと買いとが取り組むということから、成立した建玉を取組といい、この未決済売買契約の数量を「取組高」という。
売買高（ばいばいだか）	取引所における売りの数量と買いの数量の合計数量のこと。
出来高（できだか）	市場において売買約定の成立した数量のことをいう。
制限幅（せいげんはば）	相場が極端に上下し、市場が混乱することを避けるために、取引所が定めた一日に変動する最大の幅のこと。
早受渡し（はやうけわたし）	先物取引の受渡しは、当月限の一定日であって、それ以前は受渡しの必要はないが、受渡日到来前に受渡しを希望する者は取引所に申し出て、受渡日到来前でも受渡しを行うことのできる制度のことをいう。
商品先物取引法※（しょうひんさきものとりひきほう）	商品先物取引に関する法律。同法に基づき、商品取引所、商品取引清算機関、商品先物取引業者、商品先物取引協会（商品先物取引業者の自主規制組織）等に関する許認可・監督等を行っている。

出典：大阪堂島商品取引所HP「先物取引用語集」（※については、農林水産省が作成。）

【商品先物取引のリスクについて】

商品先物取引は、相場の変動幅が小さくても大きな額の利益又は損失が生ずるハイリスク・ハイリターンの取引であり、また、商品先物市場の価格変動が予測に反して推移した場合には損失が発生する可能性や預託した取引証拠金等の全額を上回る損失が発生するおそれがあります。

商品先物取引を行う場合には、これらの点を含め、取引の仕組みやリスクについて十分に理解した上で、許可を受けた商品先物取引業者又は登録を受けた商品先物取引仲介業者を通じて行っていただきますようご注意願います。

この他、商品先物取引に関する注意点等については、農林水産省のホームページなどをご覧ください。

【利用上の注意】

- 1 「米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート」は、特に記載がない限り、商品取引所における日々の取引データから得られた情報をもとに農林水産省において作成したものです。
- 2 本レポートの作成に当たり情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性及び完全性について保証するものではなく、また、将来の市場環境の変動、運用成果等を約束又は予想するものではありません。本レポートに記載された情報の使用又は使用不能により生じた結果については、当省は一切の責任を負いかねます。
- 3 本レポートの引用等を行う場合は、出所を明記してください。

【農林水産省 食料産業局 商品取引グループHP】（農産品関係）

<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/dealing/index.html>

【経済産業省 商務情報政策局商務流通保安グループ 商取引・消費経済政策課HP】
（工業品関係）

<http://www.meti.go.jp/policy/commerce/index.html>

【東京商品取引所HP】

<http://www.tocom.or.jp/jp/index.html>

【大阪堂島商品取引所HP】

<http://ode.or.jp/>

【日本商品先物取引協会HP】

<http://www.nisshokyo.or.jp/index.html>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

食料産業局 商品取引グループ

担当者：溝口、今井

代表：03-3502-8111（内4177）

ダイヤルイン：03-6744-1860

FAX：03-3502-6847